

木更津市の教育

平成 30 年度

木更津市教育委員会

は じ め に

市政の発展にともない、木更津市の教育が遅滞なく着実な歩みを続けておりますことは喜びに耐えないところであります。これもひとえに、教育関係各位ならびに市民の皆様のご理解とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

平成30年度は、4回目となる「ちばアクアラインマラソン」が開催され、今回も多く多くの市民や子どもたちに夢と感動を与える年となりました。また、本年度は、平成27年度から4年間の教育施策の基本的な方向を示した「木更津市教育振興基本計画」及び「木更津市教育大綱」の最終年にあたり、次期の計画策定に向けて着手いたしました。さらに、新たな事業として、中学校3年生を対象とした実用英語検定受験料の補助制度を開始するとともに、夏季の猛暑対策として、快適な学習環境を確保するための普通教室へのエアコン整備等にも取り組んでいます。

現在、木更津市では、全国的な少子化社会の中、定住促進による人口増加がみられ、児童生徒数もほぼ横ばいの状況にあります。このような中、木更津市の教育の基本理念である「子どもを育む環境づくり・まちを支える人づくり」は、この地域が活力ある豊かな社会として発展していく上で、欠くことのできない取組条件であり、教育の果たす役割は、ますます重要なものになってきています。

教育をめぐる社会環境が大きく変化している中、今後も「まちづくりの礎は人づくり」という強い思いをもって、様々な教育環境の整備、施策の推進にあたってまいりたいと考えています。

ここに、平成30年度の「木更津市の教育」を刊行し、本市の教育の現況をお知らせするとともに、木更津市教育の更なる進展に向けて、今後のご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成31年3月

教育長 高 澤 茂 夫

木更津市の教育目標

子どもを育む環境づくり

1. 子育て支援の充実
2. 学校教育の充実
3. 青少年の健全育成

まちを支える人づくり

1. 社会教育の推進
2. 市民文化の充実
3. 人権擁護の推進

目 次

は じ め に 木更津市の教育目標

1. 木更津市の概要

位置・地勢・市制施行・人口	3
沿革	4

2. 木更津市 教育振興基本計画

教育振興基本計画	9
----------	---

3. 木更津市 教育大綱

教育大綱	15
------	----

4. 教 育 行 財 政

教育委員	21
教育委員会会議	22
教育委員会表彰	23
教育委員会機構図	24
教育委員会職員数	26
教育財政	27

5. 学 校 教 育

重点目標	31
小・中学校一覧	36
教育相談・教職員研修・学校支援事業	38
幼児言語教室	39
特別支援教育	40
就学援助	42
学校保健	43
学校給食	45

6. 生 涯 学 習

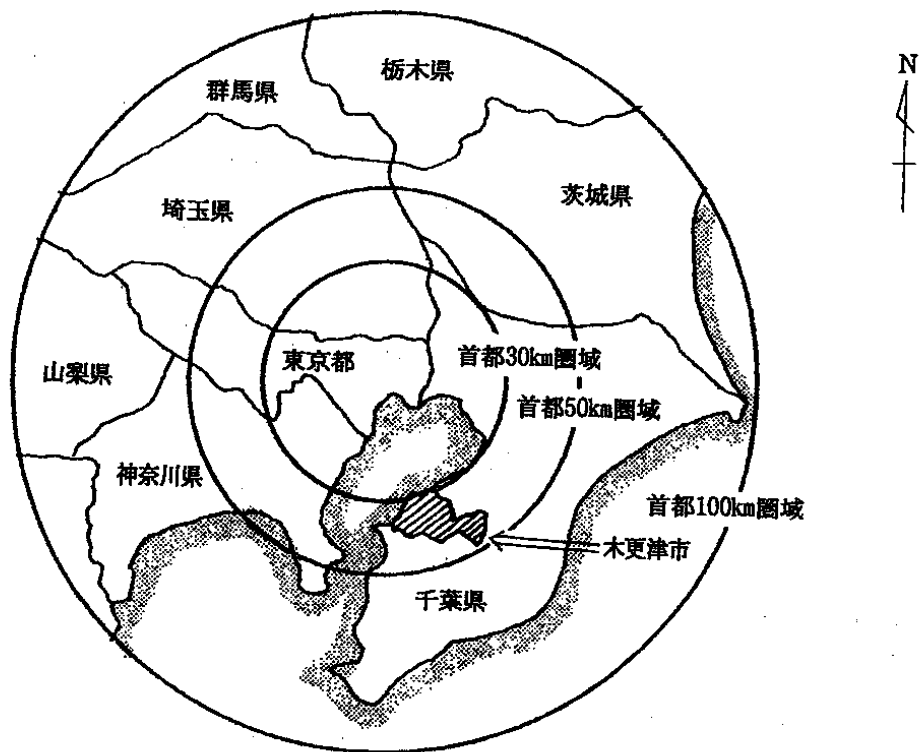
重点目標	49
社会教育事業	54
公民館	57
少年自然の家キャンプ場	70
図書館	71
郷土博物館金のすず	75
青少年指導関係	82

7. 資 料

歴代教育委員及び教育長	87
教育功勞被表彰者一覧	90
市内指定等文化財一覧	93
学 校 施 設 等	95
社会教育施設	97

1. 木更津市の概要

位 置



地 勢

平成 31 年 1 月 1 日現在

市役所の位置		広 ば う		標 高		面 積
東 経	北 緯	東 西	南 北	最 高	最 低	
139° 55′ 29″	35° 22′ 52″	21.98km	14.54 km	200.0m 真里谷	0.1m 畔戸	138.95 km ²

市制施行

昭和 1 7 年 1 1 月 3 日

人 口

1 3 5, 3 1 8 人（平成 31 年 1 月 1 日現在の住民基本台帳による）

沿 革

「きさらづ」の名が文献に現れてきたのは、鎌倉時代に入ってからであるが、日本武尊の東夷征討伝説として『相模の走水から上総へ渡ろうとしたとき、海上にわかには強風が起こり、船はいまにも転覆せんとした。尊の妃弟橘媛命は、身をもって尊の命を救わんと海中に身を投じ、海神を慰めたので、怒濤はたちまちにしておさまり、無事上総へ渡ることができた。尊は、媛の末路を哀れみ、その運命を悲しんで、しばしこの地を去らず、後年この地を「君不去」（きみさらず）と名づけ、更になまりが変って「きさらづ」になった』という話が語り継がれている。

菅生の弥生時代農耕遺跡や長須賀の金鈴塚古墳から発掘された金鈴や飾り大刀などから考えてみても、木更津の地が古代から豪族や庶民の一大集落地として栄えていたことが立証される。

古代から平安時代の末までは、馬来田国造の支配や上総氏一族の支配を経て、鎌倉時代に入った。中烏田には、今でも「かまくら道」と彫った当時の交通・文化の交流を物語る石ぶみが残っている。

室町・戦国時代には、真里谷武田氏・北条氏・里見氏の勢力がこの地の覇権を争った。天正18年(1590)、里見氏削封の後、徳川時代の末に一部請西藩の領地になったが、概ね徳川幕府直轄の地となり、代々代官の知行をうけ、明治維新に及んだ。

明治元年(1868)4月、木更津・貝渕・吾妻の3村は上総・安房監察兼知事柴山典の所轄となり、明治4年(1871)廃藩置県の改革によって桜井県の所轄に、更に同年11月には従来の諸県が廃されて木更津県となったものの、明治6年(1873)6月、木更津県は廃され千葉県を置くこととなった。

明治11年(1878)、県の官制改革によって郡制が設けられ、郡区町村編成法を定めて望陀・周准・天羽の3郡を一区画とし、郡役所を木更津村に置き、望陀周准天羽郡役所と称した。

その後は郡長の下に戸長制を敷いていたが、明治22年(1889)4月、市町村制が実施されて木更津・貝渕・吾妻の3村が合併し木更津町ができた。

明治30年(1897)4月に郡制が施行されて望陀・周准・天羽の3郡は君津郡と改称され、大正15年(1926)6月、郡役所廃止に至るまで、君津郡役所の所在地となった。

昭和7年(1932)、県営築港に着手、時を同じくして海面埋立工事が行われ、翌昭和8年(1933)4月には隣接の真舟村を合併して町勢は著しく進展した。

昭和11年(1936)、築港・埋立の両工事が完成し、海路による京浜方面への利便は一段と増す一方、同年4月、木更津海軍航空隊が設置され、更に昭和16年(1941)11月、隣接の岩根村に工員1万7千人を擁する海軍航空廠が設置されたことにより、一躍軍都としてのめざましい発展を見るに至り、隣接町村間との市制施行の盛り上りによって、昭和17年(1942)11月3日、木更津町、清川村・岩根村・波岡村による1町3村が合併し、市域54.23km²、人口33,817人、全国第197番、千葉県下6番目の市として木更津市が誕生した。

木更津市はそのまま軍都として繁栄するかと思われたが、市制施行後3年目にして太平洋戦争も終わり、一転して商業都市としての新しい第一歩を踏み出すことになった。

昭和28年(1953)、町村合併法の公布によって、木更津・鎌足・金田・中郷の1市3村の合併問題が討議され、翌昭和29年(1954)11月3日に鎌足村を、同30年(1955)2月11日に金田村を、同年3月1日に中郷村をそれぞれ合併し、一躍、人口も5万人を超える木更津市となった。

やがて一連の臨海部埋立による京葉臨海工業地帯の発展に伴い、昭和36年(1961)、隣接の君津町(現君津市)と本市の臨海部にまたがって八幡製鐵(現新日鐵住金株)の進出が決まり、同40年(1965)

の操業を契機として関連企業の進出による工業化も一段と進展するなか、内陸部での土地区画整理事業をはじめ民間宅地造成等の開発も急速に進み、首都圏内の近郊都市として発展、同43年(1968)4月、木更津港の重要港湾指定により著しい変貌を遂げてきた。

昭和46年(1971)9月に富来田町と合併し概ね現在の市域となり、昭和40年代～50年代にかけては、市民体育館、中央公民館、保健相談センター、市民総合福祉会館などの教育施設や福祉施設などの充実が進んだ。

時代が平成に変わってからは、平成4年(1992)、首都機能の一躍を担う業務核都市に位置づけられるとともに、県の千葉新産業三角構想(昭和58年)の一角に位置づけられたかずさアカデミアパークの整備が進展した。

平成9年(1997)には東京湾アクアラインが開通し、東関東自動車道館山線や首都圏中央連絡自動車道等の整備とあわせ、交通の結節点としての機能が強化された。

その後、東京・神奈川とを結ぶ東京湾アクアライン高速バス網の充実や平成21年(2009)から実施された東京湾アクアライン料金引下げ社会実験による地域経済への様々な波及効果等から、平成23年(2011)には人口が13万人を超えた。

平成24年(2012)には、かずさアクアシティの金田東地区まちびらきに伴い、大型集客施設が相次いで開業するとともに、第1回目のちばアクアラインマラソンが開催されるなど、交流人口の増加が顕著となる。

平成26年(2014)10月には、築地地区に大型集客施設が開業するとともに、平成29年(2017)10月には、道の駅「木更津 うまくたの里」が開業し、地域全体への活力や求心力が高まりをみせている。

2. 木更津市 教育振興基本計画

教育振興基本計画

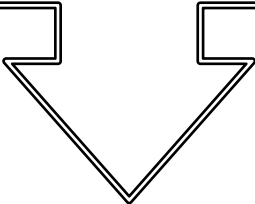
【教育の基本理念・指針と基本目標】

教育の基本理念

子どもを育む環境づくり・まちを支える人づくり

教育の基本指針

まなびあい、きらりかがやく「教育都市きさらづ」



基本目標

1

次代を担う子どもたちを地域の中で安心して産み育てることができる環境づくりをめざします。

2

児童・生徒の「生きる力」を育むため、家庭や地域社会から信頼される魅力ある学校づくりをめざします。

3

青少年の健やかな成長を社会全体で支える仕組みを整備し、ひとりの人間として自立した、こころ豊かな人間性と主体的な判断力をもつ青少年を育みます。

4

自然と文化を愛し、だれもが自ら学び、健康で生きがいのある生活を送ることができる生涯学習社会の実現をめざします。

5

健康の保持・増進や市民相互の交流を促進するために、市民が気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむことができ、運動習慣を身につけることができる生涯スポーツの環境づくりをめざします。

6

歴史・文化・芸術に触れる機会を市民に提供することで、市民による芸術文化活動を活性化するとともに、地域の文化遺産や伝統芸能を次世代に引き継ぐことをめざします。

7

人権問題に対する正しい認識を広めることにより、だれもがお互いを認めあい、自分らしい生き方ができる差別のない社会をめざします。

【計画の対象期間：平成27年度～平成30年度】

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
木更津市	基本構想			基本構想（目標年次：H42）				
	第4次総合3ヶ年プラン			第1次基本計画				
				教育振興基本計画				

【基本目標を実現するための政策・施策】

基本理念	基本目標	政 策	施 策
子どもを育む 環境づくり	1 次代を担う子ども たちを地域の中で 安心して産み育て ることができる環 境づくりをめざし ます。	<Ⅰ> 子育て支援の充実	子育て支援の充実 ①私立幼稚園の振興 ア) 私立幼稚園振興事業の推進 (学教)
	2 児童・生徒の「生 きる力」を育むた め、家庭や地域社 会から信頼される 魅力ある学校づく りをめざします。	<Ⅱ> 学校教育の充実	学校教育の充実 ①教育内容の充実 ア) 確かな学力の育成 (学教・まなび) イ) 心の教育の推進 (学教・まなび) ウ) 健康・体育・安全指導の充実 (学教) エ) 読書活動の推進 (学教・まなび) オ) 国際理解教育の推進 (学教・まなび) カ) 情報教育の推進 (学教・まなび) キ) キャリア教育の充実 (学教・まなび) ク) 環境学習の推進 (学教・まなび) ケ) 就学援助事業の推進 (学教) コ) 市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針の見直し (学教・教総) ②教育環境の整備 ア) 管理用備品の整備 (教総) イ) 学校施設の耐震対策の実施 (施設・学教・教総) ウ) 学校施設の適正な保全 (施設・学教・教総) エ) 中郷小学校の環境整備 (施設・学教・教総) オ) 金田小・中学校の環境整備 (教総・施設・学教) カ) 学校給食施設の整備 (学給・給セ・施設) キ) 学校給食費収納管理システムの改修 (学給) ク) 学校内の I C T 環境の整備 (まなび・教総) ③特別支援教育の推進 ア) 特別支援体制づくりの推進 (学教・まなび) イ) 学校における特別支援教育の充実 (学教・まなび) ウ) 就学時学校適応事業の推進 (学教・まなび) ④生徒指導等の充実 ア) 学校内の教育相談体制の整備 (学教・まなび) イ) 学校外の教育相談体制の整備 (学教・まなび) ウ) 学校適応指導教室の充実 (学教・まなび) ⑤開かれた学校づくりの推進 ア) 地域の教育力を活かす事業の推進 (学教・まなび) イ) 学校評価事業の推進 (学教・まなび)
	3 青少年の健やかな 成長を社会全体で 支える仕組みを整 備し、ひとりの人 間として自立し た、こころ豊かな 人間性と主体的な 判断力をもと青少 年を育みます。	<Ⅲ> 青少年の健全育成	青少年の健全育成 ①青少年育成推進体制の充実と地域の教育力の向上 ア) 青少年育成の総合的計画の策定 (生学) イ) 青少年育成支援施策の総合的な推進 (生学) ウ) 地域の教育力の向上 (生学) エ) 地域の青少年健全育成活動の支援 (生学) ②青少年育成事業の推進 ア) 青少年育成事業の実施 (生学) イ) 少年自然の家キャンプ場の利用促進 (生学・施設) ウ) ボランティアの活用と活性化 (生学) ③青少年を取り巻く環境浄化と非行防止 ア) 社会教育指導員等専門家による相談活動の実施 (まなび) イ) 青少年への愛の一声運動による非行防止活動 (まなび) ウ) 青少年非行防止啓発活動の実施 (まなび・生学) エ) 有害環境浄化活動の推進 (まなび・生学) オ) 連携・ネットワークによる青少年指導関係事業の実施 (まなび)

0	基本目標	政 策	施 策
まちを支える 人づくり	4 自然と文化を愛し、だれもが自ら学び、健康で生きがいのある生活を送ることができる生涯学習社会の実現をめざします。	<Ⅳ> 社会教育の推進	社会教育の充実 ①生涯学習・社会教育推進体制の充実 ア) 市民参画による社会教育行政の推進（生学） イ) 社会教育振興のための施策の充実（生学） ウ) 生涯学習の基盤整備と総合調整（生学） エ) 専門職員による学習支援体制の整備（生学） オ) 第2次生涯学習基本構想・生涯学習基本計画の策定（生学） ②生涯学習・社会教育活動の充実 ア) 子育て・家庭教育支援事業の充実（生学） イ) 女性の自立と社会参加の促進（生学） ウ) 生涯学習を通じたまちづくりの振興（生学） エ) 社会教育関係団体の育成と支援（生学） オ) 生涯学習成果の活用（生学） ③図書館サービスの充実 ア) 地域の実情に即した図書館運営（図書館） イ) 公民館図書室の充実（図書館・公民館） ウ) 学校との連携の強化（図書館・学教） エ) 魅力ある図書館事業の展開（図書館） ④公民館活動の充実 ア) 高度で多様化する市民の学習要求や現代的課題に対応した事業の展開（公民館・生学） イ) 家庭教育に関する各種学習機会の提供（公民館・生学） ウ) 地域ぐるみの青少年教育事業の展開（公民館・生学） エ) 高齢者の学習機会の提供と社会参加の促進（公民館・生学） オ) 市民とともに歩む公民館活動の推進（公民館・生学） ⑤生涯学習・社会教育施設の整備 ア) 公民館の総合的な整備計画の策定（生学・公民館） イ) 社会教育施設の耐震対策の実施（施設・生学・公民館） ウ) 社会教育施設の適正な保全（施設・生学・公民館） エ) 《（仮称）金田地域交流センター》の整備（生学・公民館）
	5 健康の保持・増進や市民相互の交流を促進するために、市民が気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむことができ、運動習慣を身につけることができる生涯スポーツの環境づくりをめざします。	<Ⅴ> スポーツ・レクリエーションの振興	スポーツ・レクリエーションの振興 ①スポーツ・レクリエーション活動の推進 ア) 社会体育の振興（ス振） イ) 各種スポーツ・レクリエーション大会等の開催（ス振） ウ) 市民スポーツ教室の開催（ス振） エ) 健康体力づくり増進事業の開催（ス振） オ) 総合型地域スポーツクラブの育成（ス振） カ) スポーツ推進計画の策定（ス振） ②スポーツ・レクリエーション施設の整備 ア) 市営体育施設の管理運営（ス振） イ) 市営体育施設の耐震診断の実施（施設・ス振） ウ) 市営体育施設の適正な保全（施設・ス振） エ) 江川総合運動場の整備（施設・ス振）
	6 歴史・文化・芸術に触れる機会を市民に提供することで、市民による芸術文化活動を活性化するとともに、地域の文化遺産や伝統芸能を次世代に引き継ぐことをめざします。	<Ⅵ> 市民文化の充実	市民文化の充実 ①芸術文化活動の推進 ア) 芸術文化活動の推進（文化） イ) 芸術文化団体への支援（文化） ②ふるさと文化の継承 ア) 文化財保護対策の推進（文化） イ) 埋蔵文化財保護対策の推進（文化） ウ) 木更津市史の編集・刊行（文化） エ) 協働による博物館事業の推進（博物館） オ) 金鈴塚古墳出土品の調査研究の推進（博物館） カ) 郷土に関する調査研究の推進と博物館事業の充実（博物館）
	7 人権問題に対する正しい認識を広めることにより、だれもお互いを認めあい、自分らしい生き方ができる差別のない社会をめざします。	<Ⅶ> 人権擁護の推進	人権擁護の推進 ①人権意識の高揚 ア) 人権教育研修会の開催（生学） イ) 人権啓発活動の実施（生学）

3. 木 更 津 市 教 育 大 綱

教育大綱

この教育大綱は、市長が、教育行政のうち、特に重点的に教育委員会と連携して進めるべき事項について、総合教育会議における協議を経て定めたものです。

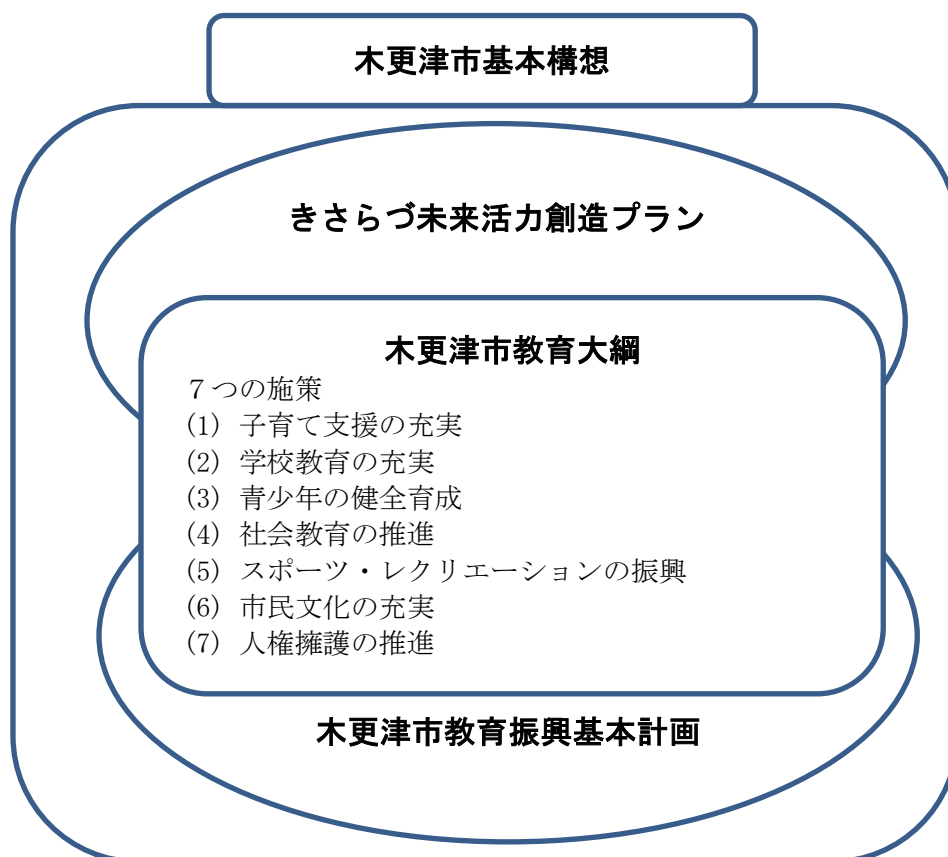
1 趣 旨

平成26年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、平成27年4月1日から施行されました。このなかでは、教育委員会制度の一部が変わり、市長が総合教育会議を主宰し、市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、教育委員会と協議・調整し、大綱を策定することとなりました。

今般、市長と教育委員会との協議・調整がまとまりましたので、ここに本市の教育大綱を定め、この大綱に則してそれぞれの施策を推進してまいります。

2 大綱の位置づけ

市長は、総合計画である「きさらづ未来活力創造プラン」を、教育委員会は、教育振興の基本計画である「木更津市教育振興基本計画」を所管し、施策を推進しています。この教育大綱は、市長が教育行政のうち、特に重点的に教育委員会と連携して進めるべき事項について、総合教育会議における協議を経て定めたもので、「きさらづ未来活力創造プラン」及び「木更津市教育振興基本計画」と同様に7つの施策から構成されます。



3 計画期間 平成27年12月から平成31年3月まで

4 基本目標

魅力あふれる 創造都市 きさらづ～東京湾岸の人とまちを結ぶ躍動するまち～（木更津市基本構想）

- ・木更津っ子を育む特長ある教育環境（きさらづ未来活力創造プラン）
- ・まなびあい、きらりかがやく「教育都市きさらづ」（木更津市教育振興基本計画）

5 基本施策

（1）子育て支援の充実

①放課後の児童育成を推進します。

放課後に子どもを安心して預けられる場所が必要です。このため、余裕教室など学校施設を活用しながら、放課後子ども総合プラン^{*1}の推進により児童の放課後対策を充実させ、子育ての支援を行います。

（2）学校教育の充実

①小中学校の統廃合の検討及び未利用財産の利活用を進めます。

本市では、将来的に人口減少による公共施設の需要や財政状況の変化等により、公共施設を効果的かつ効率的に運用・維持・管理する必要性が生じてくると考えられます。その手法である「ファシリティマネジメント^{*2}」の考え方にに基づき、小中学校の統廃合や複合利用化の検討及び未利用財産の利活用を進めていきます。

②子どもの体力の底上げを図る取り組みを推進します。

心身ともに健康であることは全ての基本ですが、生活様式や環境の変化から子どもが運動に費やす時間は減少傾向にあり、また生活習慣病と診断される子どもも見られます。このため、子どもの体力強化や生活習慣病予防に力を注いでいきます。

③顔の見える「地産地消」給食を推進します。

食育や環境教育の一環として、また学校の特色づけや子どもたちが地域に対する愛着を持てるように、学校給食に地元で採れた米、野菜等の素材を取り入れる地産地消給食を拡大していきます。

（3）青少年の健全育成

①地域社会における青少年の居場所づくりを進めます。

少子化、核家族化が進み、青少年が地域や家庭で異なる世代と交流する機会が減少しています。青少年が世代間交流を進めていくことができる居場所づくりを進めていきます。

（4）社会教育の推進

①社会教育施設とその機能の充実を図ります。

ファシリティマネジメントの考え方にに基づき、機能の維持を図りながら施設の統廃合や複合利用化等を検討していきます。

②自立に向けた地域住民への教育と協働による地域づくりの支援を推進します。

防災や福祉、青少年健全育成などについて、解決すべき地域の課題があります。このため、地域の人たちがこれらの課題を解決する力を養い、協働してまちづくりを進められる

ような公民館のあり方を検討していきます。

(5) スポーツ・レクリエーションの振興

①スポーツ施設の整備及び既存施設の有効活用を図ります。

本市では、市民が気軽にスポーツをするための運動施設が全般的に不足しています。このため、江川総合運動場などの環境整備を進めるとともに、学校の体育館や運動場など、既存施設のさらなる有効活用を進めていきます。

②スポーツ大会の開催及び誘致・支援を推進します。

市民のスポーツ意識を高め、地域間交流を促進し、活力のあるまちづくりを進めるため、各種スポーツ大会を開催するとともに、スポーツイベントの誘致を積極的に進めていきます。

(6) 市民文化の充実

①多彩な芸術文化活動を推進します。

市民が身近で多彩な芸術文化に触れる機会を提供するとともに、地域間交流を促進し、活力のあるまちづくりを進めるため、さまざまな芸術文化の活動やイベントの誘致、支援を進めていきます。

(7) 人権擁護の推進

①人権問題に係る教育や啓発等を推進します。

児童虐待やいじめ問題など身体的、精神的な暴力や差別、偏見などさまざまな人権問題に対して、教育や啓発を行っていきます。また、学校等でいじめ問題等の人権問題が発生した際には市長と教育委員会が連携して速やかに対応します。

*1 **放課後子ども総合プラン**：共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、すべての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、一体型を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子供教室の計画的な整備等を進めるもの。

放課後児童クラブ：保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生へ放課後の生活の場を提供し、保育を行う。保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生が対象。厚生労働省所管。（本市では福祉部子育て支援課が所管）

放課後子ども教室：安全・安心な子どもの活動拠点として、体験活動やスポーツ、地域住民との交流活動等を行う。すべての小学生が対象。文部科学省所管。（本市では教育部生涯学習課が所管）

*2 **ファシリティマネジメント**：土地や建物などの財産を市の経営資産として捉えて、経営的な視点に基づき、総合的・中長期的な観点からコストと便益の最適化を図りながら、財産を戦略的かつ適正に保有・処分・維持・利活用するための管理手法のこと。本市では、平成27年度から平成28年度にかけて、全ての市の施設についてファシリティマネジメントに基づく計画（総合管理計画・再配置計画）を策定する。

4. 教 育 行 財 政

教育委員



教 育 長
高 澤 茂 夫



教育長職務代理者
武 井 紀 夫



委 員
吉 田 一 雄



委 員
渡 部 佳 子



委 員
豊 田 雅 之

役 職	氏 名	就任年月日	職 業
教 育 長	高 澤 茂 夫	H 27. 4. 1	
教育長職務代理者	武 井 紀 夫	H 21. 10. 1	医 師
委 員	吉 田 一 雄	H 23. 10. 1	大学教授
委 員	渡 部 佳 子	H 28. 10. 1	
委 員	豊 田 雅 之	H 30. 10. 1	会社役員

教育委員会会議

○ 平成２９年及び平成３０年の会議開催数

区 分	回 数	
	H29	H30
定 例 会	12	12
臨 時 会	1	1
計	13	13

○ 平成２９年及び平成３０年に議決された案件

内 容	件 数	
	H29	H30
○教育行政の運営に関する基本方針の決定に関する事。	4	2
○教育委員会事務の点検評価に係る報告書の作成・議会への報告・公表	1	1
○教育機関の設置及び廃止に関する事。		
○教育財産の取得及び処分申し出に関する事。		
○職務の級が５級以上の職員等の任免に関する事。	1	2
○校長及び教頭の進退の内申に関する事。		
○職員及び教職員の分限及び懲戒の処分に関する事。		
○教育委員会規則の制定又は改廃に関する事。	5	6
○教育功労者の表彰に関する事。	4	1
○議会の議決を要する事件の議案の申し出に関する事。	5	10
○教育機関の敷地並びに建物の設定又は変更に関する事。		1
○附属機関の委員の任命又は委嘱に関する事。	8	8
○教育関係職員の研修の一般方針の決定に関する事。		
○教科書採択及び教科書等の取扱いの一般方針の決定に関する事。	2	2
○学校の通学区域の設定又は変更に関する事。		
○文化財の指定及び解除に関する事。		
○職員団体との重要な交渉に関する事。		
○請願及び陳情に関する事。		1
○その他	2	5
計	32	39

教育委員会表彰

昭和２８年「教育功績者表彰内規」が制定され、木更津市教育の向上に功績のあった個人及び団体について表彰していたが、昭和４４年「教育委員会表彰規程」に改正され、木更津市における教育・学術又は文化の振興に関し、特に顕著であった個人又は団体を表彰するもので、１１月に表彰式を行う。

○ 表 彰 基 準

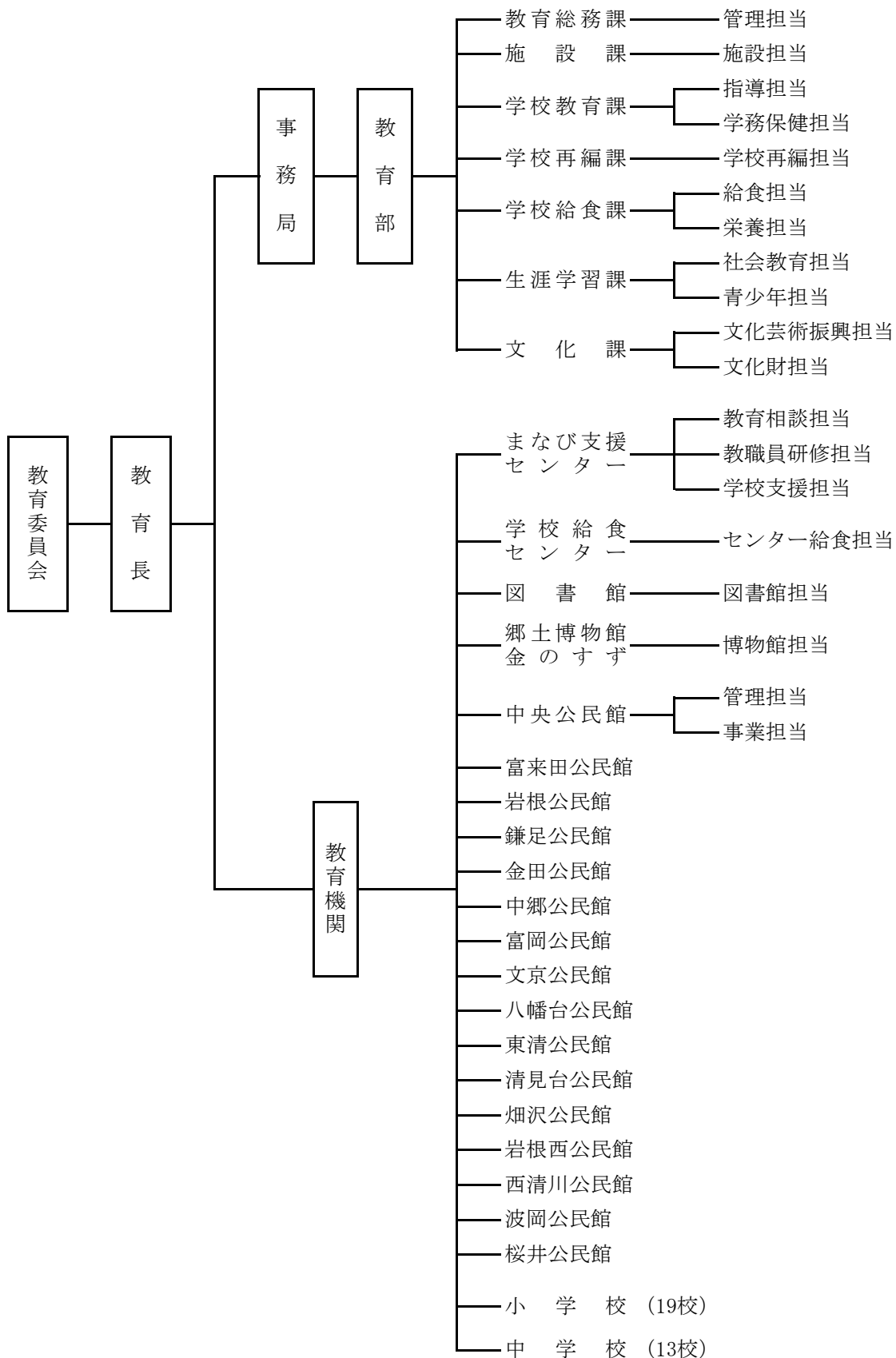
- １．職員にして教育向上のため尽力し、その功績が顕著なもの
- ２．有益な研究、考案又は発明をし、教育に貢献したもの
- ３．学校教育又は社会教育の振興について、その功績が顕著であったもの
- ４．学術又は文化の向上発展について、その功績が顕著であったもの
- ５．上記１～４以外で、表彰することが適当と認められる業績があったもの

○ 平成３０年度被表彰者

区分	所 属 等	氏 名	備 考
１号	木更津第一小学校 校長	米 澤 雅 史	
１号	西清小学校 校長	積 田 等	
１号	岩根小学校 校長	安 田 正 幸	
１号	畑沢小学校 校長	佐々木 洋 子	
１号	岩根西中学校 校長	桑 田 清 行	
１号	清川中学校 校長	縄 谷 尚 志	
１号	木更津第二小学校 教諭	宮 崎 眞 司	
１号	西清小学校 教諭	伊 藤 結実子	
１号	清見台小学校 教諭	小 尾 みどり	
１号	太田中学校 教諭	高 品 律 子	
３号	木更津市社会教育委員	吉 田 裕 子	
３号	木更津市社会教育委員	地 曳 昭 裕	
３号	木更津市スポーツ推進委員会	青 木 美津子	

教育委員会機構図

平成31年1月1日現在



○ 事務局（教育部）の業務内容

課 名	主 な 業 務 内 容
教育総務課	教育委員会会議、職員の任免・分限・服務及び身分、教育財産の取得又は処分・契約・登記及びその他管理、奨学基金
施 設 課	教育施設の整備、学校施設整備計画、学校施設整備に係る国庫補助金等、学校施設台帳の整備及び保存、学校教育施設整備基金
学校教育課	教育課程・学習指導その他学校教育の指導、教職員の研修、教職員の配置等・人事、通学区域、学校保健
学校再編課	学校再編の計画推進
学校給食課	学校給食の運営、学校給食費の賦課・徴収
生涯学習課	生涯学習事業の企画及び振興、社会教育関係団体の育成、生涯学習バスの管理運営、青少年健全育成、少年自然の家キャンプ場
文 化 課	芸術・文化の振興、芸術文化団体の育成、文化財の調査・保護及び活用、埋蔵文化財の保護対策、文化財の指定及び管理、木更津市史の編さん

○ 教育機関の業務内容

機関名	主 な 業 務 内 容
まなび支援センター	幼児及び保護者に対する指導・助言、教育相談教室・学校適応指導教室の運営、教職員研修の企画・運営、外国語指導助手の配置・指導等、青少年の非行防止・補導及び相談
学 校 給 食 センター	学校給食センターの管理運営、学校給食の献立作成・食材契約、配食校の食指導関係、食物アレルギー対応
図 書 館	図書館の管理運営、図書の管理・貸出、図書館協議会
郷土博物館金のすず	郷土博物館金のすずの管理運営、郷土博物館金のすず協議会、旧安西家住宅
公 民 館	公民館の管理運営、公民館の利用、定期講座、講習会等

教育委員会職員数

平成31年1月1日現在

○ 事 務 局

課	職 部 長 参事	次 長 参事	課 長 副課長 主 幹	副主幹	主 査	主任主事 主任技師	主 事 技 師 栄養士	事務員 技術員 嘱託員	計
教 育 部	1	3							4
教 育 総 務 課		1	1		1		2		5
施 設 課		1		1		3			5
学 校 教 育 課		1	2	1	7			1 非(1)	12 非(1)
学 校 再 編 課		1	1				2		4
学 校 給 食 課			1	2		1	2		6
生 涯 学 習 課			1	2		1	2	1	7
文 化 課		1	2	1	1	1	1		7
計	1	8	8	7	9	6	9	2 非(1)	50 非(1)

○ 教 育 機 関

機関	職 館 所 長	主 幹 副館長	副館長 副主幹	主 査	主任主事 主任技師	主 事 技 師	事務員 技術員 栄養士	指導員 相談員 指導助手 支援員 管理人	計
ま な び 支 援 セ ン タ ー	1	1	1	3	2			非(25)	8 非(25)
学校給食センター	1				1		1		3
図 書 館	1 兼(1)	1		5	3				10 兼(1)
郷 土 博 物 館 金 の す ず	非(1)	1	3		1				5 非(1)
公 民 館	4 非(12) 兼(1)	3	8	9	8		2	非(10)	34 非(22) 兼(1)
計	7 非(13) 兼(2)	6	12	17	15	0	3	非(35)	60 非(48) 兼(2)

○ 小 中 学 校

職 学校	主 査	主任技師	栄養士	総括：学校事務員 用務員・調理員	主任：学校事務員 用務員・調理員	学校事務員 用務員・調理員	計
小 学 校	1		5	4	4	非(15)	14 非(15)
中 学 校				1	6	非(11)	7 非(11)
計	1		5	5	10	非(26)	21 非(26)

教 育 財 政

○ 項目別教育費

単位：千円

款 項 目	平成30年度当初(A)		平成29年度当初(B)		比 較 ((A)-(B))	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
50 教育費	4,320,159	100.0%	4,389,542	100.0%	△ 69,383	△ 1.6%
5 教育総務費	458,691	10.6%	426,184	9.7%	32,507	7.6%
5 教育委員会費	17,501	0.4%	17,338	0.4%	163	0.9%
10 事務局費	356,249	8.2%	335,553	7.6%	20,696	6.2%
17 まなび支援センター費	84,941	2.0%	73,293	1.7%	11,648	15.9%
10 小学校費	1,180,406	27.3%	1,177,640	26.8%	2,766	0.2%
5 学校管理費	372,213	8.6%	613,937	14.0%	△ 241,724	△ 39.4%
10 教育振興費	111,313	2.6%	117,468	2.7%	△ 6,155	△ 5.2%
15 学校建設費	696,880	16.1%	446,235	10.2%	250,645	56.2%
15 中学校費	297,532	6.9%	380,338	8.7%	△ 82,806	△ 21.8%
5 学校管理費	203,062	4.7%	290,031	6.6%	△ 86,969	△ 30.0%
10 教育振興費	94,470	2.2%	90,307	2.1%	4,163	4.6%
15 学校建設費	0	0.0%	0	0.0%	0	—
20 幼稚園費	0	0.0%	244,196	5.6%	△ 244,196	△ 100.0%
5 教育振興費	0	0.0%	244,196	5.6%	△ 244,196	△ 100.0%
25 社会教育費	992,236	23.0%	798,209	18.2%	194,027	24.3%
5 社会教育総務費	164,195	3.8%	179,819	4.1%	△ 15,624	△ 8.7%
10 青少年育成費	13,918	0.3%	11,935	0.3%	1,983	16.6%
15 公民館費	590,127	13.7%	382,128	8.7%	207,999	54.4%
20 図書館費	123,067	2.8%	124,614	2.8%	△ 1,547	△ 1.2%
25 少年自然の家費	8,764	0.2%	13,347	0.3%	△ 4,583	△ 34.3%
27 博物館費	86,167	2.0%	80,126	1.8%	6,041	7.5%
30 生涯学習まちづくり推進事業費	5,998	0.1%	6,240	0.1%	△ 242	△ 3.9%
30 保健体育費	1,391,294	32.2%	1,362,975	31.1%	28,319	2.1%
5 保健体育総務費	0	0.0%	0	0.0%	0	—
10 体育施設費	0	0.0%	0	0.0%	0	—
20 学校給食費	1,391,294	32.2%	1,362,975	31.1%	28,319	2.1%

* 市民1人あたり教育費予算 31,926 円 (平成31年1月1日現在住民基本台帳人口135,318人)

5. 学 校 教 育

「確かな学力」を備え、心身共に健康で、「生きる力」を身につけた児童生徒の育成

家庭・地域社会から信頼され、魅力ある学校づくり

学校教育の重点目標

1. 学習習慣の形成

- ① 基礎的・基本的学力の定着
- ② 学習意欲を高める授業改善の推進
- ③ 学習に前向きな集団づくり
- ④ 読書活動の推進
- ⑤ 特別支援教育の充実
- ⑥ 家庭学習の習慣化
- ⑦ キャリア教育の推進
- ⑧ 外国語教育・活動の充実
- ⑨ 情報教育の充実



2. 心の教育の推進

- ① 人権意識の高揚と道德教育の充実
- ② 3つの心「やさしい心」、「ルールを守る心」、「一生懸命取り組む心」の育成
- ③ いじめのない集団づくり
- ④ 自己評価を高める生徒指導の推進
- ⑤ 校内教育相談体制の確立
- ⑥ 長欠児童生徒対策の取組の強化

3. 健康・体育・安全指導の充実

- ① 健康的な生活習慣の定着
- ② 「食」に関する指導の推進
- ③ 学校安全指導体制の確立
- ④ 地域の安全ネットワークの整備・充実
- ⑤ 運動意欲の高揚と体力増進
- ⑥ 保健・体育授業の工夫・改善



各学校における具体的取組

① ★年間1回は、算数数学検定を受検するように働きかける。 ※算数・数学ドリルの活用 ② ★授業改善研究協力員や層別教員の相互授業参観を設定する。 ③ ★県標準学力検査において、各学年の教科平均の半数以上が県平均点を上回る。 ④ ★月1冊以上読書をする児童生徒を90%以上にする。 ★県標準学力検査の国語「読むこと」の領域で、全学年、県平均点を上回る。 ※木更津読書プランの活用 ⑤ ★校内委員会を定例化し、個別的教育支援計画、個別の指導計画の作成、活用を図る。 (通常学級含む) ※特別支援教育木更津システムの活用 ⑥ ★家庭学習啓発資料を作成し、家庭に配布する等、家庭学習の定着を目指した取組を行う。 ⑦ ★(小) 6年生の就業密着観察学習を推進する。 (中) 2年生の職場体験学習を充実させる。 ⑧ ★(小) A L T配置時は、T Tによる外国語活動を実施する。 (中) 県標準学力検査の英語「聞くこと」の領域で、全学年県平均点を上回る。 ⑨ ★コンピュータ室の稼働率を60%以上にする。	① ★「考え、議論する道德」を意識した道德科・道德の時間の学習を、年35時間確実に実施する。 ★地域行事に積極的に参加させる。 (地域との交流・ボランティア活動) ★「木更津市いじめ防止対策基本方針」に則した各学校の基本計画を改訂し、いじめ防止、いじめ対応の体制強化を図る。 ★学級経営、いじめ対策(生徒指導・教育相談・望ましい集団作り)に関する校内研修を行う。 ★年間3回、いじめ実態調査を行う。 ★児童生徒の自治的活動による「いじめ防止」を推進する。 ★生徒指導部会を組織し、関係機関との連携ネットワークを明確にする。 ★生徒指導の機能を生かした学級経営、授業づくりを推進する。 ★情報モラルに関する指導の強化を図る。 ★定期教育相談を、年間2回以上実施する。 ★スクールカウンセラー、心の教室相談員等の役割を明確にし、効果的に活用する。 ★市教育相談教室を効果的に活用する。 ★長欠対策会議を組織し、会議を定例化し、長欠者の年間総欠席数の減少を図る。 ★(小) 長欠率を1%以内ににする。 (中) 長欠率を4%以内ににする。	① ★望ましい食生活に関する指導を、全学級で年間1回実施する。 ★保健の授業で、生活習慣病の予防及びがん教育に関する授業の実施に努める。 ★「早寝早起き朝ご飯」運動を推進する。 ★保健指導の充実を目指し、学校保健委員会を年間1回行う。 ★「学校危機管理対策ガイドライン」「学校大災害対応ガイドライン」に基づき、学校安全指導マニュアルの改訂を行い、機能的な学校安全指導体制を確立する。 ★実践的避難訓練(予告無し等)を、年間1回実施する。 ★遊具を含めた、学校施設の安全点検を日常化する。 ★児童生徒の安全意識の高揚を図り、特に自転車の乗り方指導の強化を図る。 ★A E Dの使用法を含め、緊急時の対応に関する研修を定期的に行う。 ④ ★登下校の安全確保のための安全パトロール組織の充実を図る。 ★(小・中) 運動能力証合格率を40%以上にする。 ★(小・中) 千葉県体力・運動能力調査の結果を分析し、体育授業の工夫・改善を通して、運動意欲の高揚を図る。
--	---	---

基盤となる教育委員会の重点施策

1. 学習習慣の形成

- A 市算数数学検定を年間2回実施
- B 読書相談員を全小中学校32校に配置
- C 市スクールサポートティーチャー20人を小学校に配置
- D A L Tを全小中学校32校に配置
- E 体験学習推進事業の実施
- F 授業改善フェスティバルの開催
- G 特別支援教育体制整備推進事業の実施
- H 授業改善研究協力員の登録
- I 清和大学との連携(S A S)

2. 心の教育の推進

- A 心の教育推進協議会の年間3回開催
- B 心の教室相談員の配置
- C 市教育相談教室の実施
- D 「心の教育ポスター」の活用
- E 「いじめ根絶リーフレット」「いじめゼロポスター」の活用
- F 「生活意識(規範)調査」結果の活用
- G 「木更津市いじめ防止対策基本方針」の活用
- H 生徒指導担当者会議の年間3回開催
- I 長欠目標値、具体的取組の設定

3. 健康・体育・安全指導の充実

- A 「学校危機管理対策ガイドライン」「学校大災害対応ガイドライン」の活用
- B 武道指導資料を活用した安全指導の徹底
- C 木更津高専と連携した指導者研修、陸上教室の実施
- D 防犯ブザー配付(小・新入生全員)
- E 安心・安全メールの配信



☆研修による指導力の向上☆

- ① 学習指導要領の趣旨・内容の理解
- ② 授業改善プログラムの推進
- ③ 夏季教職員研修会の充実

☆家庭・地域社会との協働☆

- ① 学校支援ボランティア活動推進事業の一層の推進
- ② 学校評議員制度の一層の充実

☆組織マネジメントの活用☆

- ① 学校事務の共同実施の推進
- ② 働き方改革に向けた業務改善の促進

①学校による自己評価(統一20項目)

学校評価木更津システム

②学校評議員による学校関係者評価

PRDCAサイクル: Plan → Research → Do → Check → Action

家庭、地域社会、学校・行政によるトライアングル子育て運動

平成30年度 学校教育の重点目標及び推進方策

I 学校教育の重点目標

「確かな学力」を備え、心身共に健康で、 「生きる力」を身につけた児童生徒の育成

—— 家庭・地域社会から信頼され、魅力ある学校づくり ——

II 推進方策

1. 基盤となる方策

- (1) 「家庭、地域社会、学校・行政によるトライアングル子育て運動」を更に推進し、「地域に開かれた学校」、「地域に信頼される、魅力ある学校」をつくる。
 - ① 学校支援ボランティア活動推進事業の一層の推進を図る。
 - ・ 校内交流会の定例化
 - ・ 担当教職員とボランティアコーディネーターの連携の複線化
 - ・ 地域と学校の相互支援サイクルの確立
 - ② 学校評議員制度推進事業の充実を図る。
 - ・ 学校の教育活動の積極的公開
 - ・ 外部評価委員としての活動の充実
 - ③ 家庭との連携の重要性を認識し、教師と保護者の信頼関係を構築する。
 - ・ 「保護者に信頼される学校の対応リーフレット」の活用
 - ・ 各種たよりの工夫
 - ・ 家庭訪問、三者面談、オープンスクール等の工夫
 - ④ 学校種間、研究機関、社会教育機関、清和大学、木更津工業高等専門学校等と連携した取組の充実を図る。
- (2) P（計画）・R（調査）・D（実施）・C（評価）・A（改善）のマネジメント・サイクルを柱に、教育施策を推進し、学校教育の活性化に努める。
 - ① 学校評価「木更津システム」に基づいた学校評価及び教育施策評価を行う。
 - ② 人事評価制度を効果的に活用し、教職員の資質力量を高める。
- (3) 教職員の年齢層やニーズに応じた教職員研修を企画運営するとともに、授業改善プログラムを生かし、教職員の資質力量の向上を図る。
 - ① 初任者、3年目、ミドルリーダー研修を有効に活用する。
 - ② 夏季教職員研修に積極的に参加し、資質力量の向上のための研鑽に努める。
 - ・ 若年教員が主体的に研修できる体制を整備する。

2. 学習習慣の形成

- (1) 改訂学習指導要領の趣旨・内容を理解し、教育計画、教育活動に反映する。
- (2) 「授業改善」、「学習に前向きな学級集団づくり」のための、校内研究・教職員研修を計画的、継続的に推進する。
 - ① 授業改善研究協力員や層別教員の相互授業参観を推進し、校内における授業研究を充実する。
 - ② 授業改善フェスティバルを効果的に活用し、初任者、3年目、ミドルリーダーの資質力量の向上に努めるとともに、校内授業研究に生かす。

- ③全国学力学習状況調査の分析ツールを活用するとともに、県標準学力検査の結果を分析し、課題解決のための具体的取組を実践する。
- (3) 算数数学検定を積極的に活用し、基礎・基本の定着と学習意欲の喚起を図る。
- (4) 「第3次木更津市子ども読書活動推進計画」に基づき、**読書活動の一層の充実**を図る。
 - ①読書相談員や学校支援ボランティアと連携し、読み聞かせの充実や学校図書館の整備に努める。
 - ②「読書の日」の有効活用や市立図書館との連携に努め、読書に対する意欲の喚起を図る。
- (5) **特別支援教育の意義を理解**し、特別な支援が必要な児童生徒の指導の充実^①に努める。
 - ①保護者との連絡を密にしながら、関係機関との連携に努め、**適切な就学支援**を行う。
 - ②「特別支援教育木更津システム」に基づき、**校内の特別支援教育体制の確立**を図る。
 - ③児童生徒の実態に応じて個別の教育支援計画、**個別の指導計画**を作成し、**校内委員会**を定例化する。
 - ④**スクールサポートティーチャー（SST）**配置校は、特別支援教育に関する実践研究を行い、成果を広める。
 - ⑤若年層教職員に向けて、「特別支援スタートブック」を活用した研修を進める。
- (6) 勤労意欲や正しい職業観を育成するための**キャリア教育の充実**を図る。
 - ①小学校では、第6学年で半日間以上の就業密着観察学習を実施する。
 - ②中学校では、第2学年で3日間以上の職場体験学習を実施する。
- (7) 外国語教育及び活動の充実と国際理解教育の推進に努める。
 - ①小学校においては、新教材に対応した授業づくりの研究を進め、教職員の指導力の向上を図るとともに、外国語指導助手（ALT）を効果的に活用することによって「話す」「聞く」の領域の指導を充実させる。
 - ②中学校においては、ALTとのチームティーチングを有効に活用し、コミュニケーション能力の育成に努める。
- (8) 情報社会に適切に対応するための、**情報教育の充実**に努める。
 - ①コンピュータ等の教育機器の効果的活用を通し、**児童生徒の情報活用能力の育成**に努めるとともに、**個人情報保護及び情報モラルの高揚（SNSに関する指導含む）**に努める。
 - ②教職員の情報活用能力やコンピュータ等を活用した授業づくり等の指導力を向上するための研修の充実^①に努める。
- (9) **家庭学習の定着**を目指し、児童生徒一人一人の学習意欲や学習スタイル等に応じた**個別支援の充実**を図る。

3. 心の教育の推進

- (1) 教職員の意識啓発と「いじめの予防」、「いじめが起きた場合の連絡指導体制づくり」を柱とし、**いじめのない学校づくり**を推進する。
 - ①「木更津市いじめ防止対策基本方針」に則し、各学校の実情に応じた「学校いじめ防止対策基本方針」を改訂し、いじめ防止、いじめ対応の体制強化を図る。
 - ②**学級経営、いじめ対策に関する校内研修等**を行い、全教職員が、「いじめはどこにでも存在する」という意識を持つ。
 - ③児童会活動や生徒会活動等、児童生徒の**自治的活動**による「いじめ防止」を推進する。
 - ④**定期的にいじめの実態を把握**し、いじめが起きた場合には、迅速かつ組織的な対応ができるような体制を確立する。
- (2) 教育活動全体を通じ、人権教育、道徳教育を推進し、児童生徒の人権意識の高揚に努める。
 - ①木更津市心の教育推進協議会が提唱する**3つの心「やさしい心」、「ルールを守る心」、「一生懸命取り組む心」**を養い、豊かな人間性や社会性の育成に努める。

- ②「考え、議論する道徳」を意識した、道徳科・道徳の時間の学習を推進する。
- ③地域の行事や学校支援ボランティア活動の様子を紹介し、地域の行事に児童生徒が積極的に参加できるようにする。
- (3) 機能的な生徒指導体制づくりに努め、自己肯定感を高める生徒指導の一層の充実を図る。
 - ①生徒指導に関する教職員研修を充実し、生徒指導の機能を生かした学級経営、授業づくりを推進する。
 - ②生徒指導部会を定例化し、生徒指導体制を的確に機能させる推進組織とする。
 - ③生徒指導上の諸課題に対しては、生徒指導体制の下、全教職員で連携し、組織的に対応する。
 - ④「豊かな人間関係づくりの実践プログラム」等を活用し、豊かな人間関係づくりやコミュニケーション能力の育成を図る。
- (4) 教育相談体制を整備し、長欠、不登校児童生徒の予防的指導を強化するとともに、長欠、不登校状態の改善・解消に努める。
 - ①的確な児童生徒理解を推進するため、定期的に教育相談期間を設置するとともに、日常的に教育相談が行われるような教職員の意識啓発に努める。
 - ②長欠児童生徒対策部会を定例化し、長欠、不登校児童生徒に組織的に対応する。
 - ③児童生徒、保護者からの相談窓口を明確にするとともに、スクールカウンセラー等、心の教室相談員、市教育相談教室などの学校外の相談機関との連携を図り、教育相談ネットワークを構築する。

4. 健康・体育・安全指導の充実

- (1) 保健体育に関する授業の工夫改善を行い、児童生徒の健康維持、体力向上に努める。
 - ①運動課題を明確にし、達成感を味わえる授業づくりに心がける。
 - ②保健の授業を計画的に実施するとともに、生活習慣病の予防及びがん教育に関する授業の実施に努める。
 - ③児童生徒の健康づくりを推進するため、保健室経営の充実と年間計画に基づいた、計画的な保健指導の推進に努める。
 - ④学校保健委員会を定例化し、家庭、地域社会、学校の三者の協力により、組織的に児童生徒の健康づくりを推進する。
- (2) 「食」に関する指導の充実を図り、児童生徒の健康管理能力を高め、健康的な生活習慣の定着を推進する。
 - ①望ましい食生活に関する指導を、児童生徒の発達段階に応じ、意図的・計画的に行う。
 - ②毎日の給食指導の中で、「食」に関する指導の日常化を図る。
 - ③「早寝・早起き・朝ご飯」運動を推進する。
- (3) 学校安全指導マニュアルを改訂し、「学校危機管理対策ガイドライン」「学校大災害対応ガイドライン」に基づいた機能的な学校安全指導体制を確立し、児童生徒の安全指導の充実を図る。
 - ①地震・火災・不審者対応に関する避難訓練を実施し、児童生徒の安全意識及び危険回避能力を高める。
 - ②AEDの使用方法を含め、緊急時の対応に関する研修を定期的に行う。
 - ③遊具を含めた学校施設の安全点検の日常化を図り、学校事故を未然に防止するシステムを確立する。
- (4) 地域の安全ネットワークの整備に努め、児童生徒の安全対策の強化を図る。
 - ①学校支援ボランティア、PTA等と連携し、児童生徒の登下校の安全確保のための安全パトロール組織を構築する。
 - ②学校安全、交通安全等、安全に関する授業や行事等を取り入れ、児童生徒の安全意識の高揚を図り、特に自転車の乗り方指導の強化を図る。

市內小學・中學定校等實績一覽

[illegible][illegible]

※平成13、14年度、全中学校で社会体験学習モデル事業（県指定）を実施。CSW：キャリア・スタート・ウィーク

小・中学校一覧

木更津市立小学校一覧

平成30年5月1日現在

区分	学 校 名	電話番号	所 在 地	校 長 名	児童数 (人)	学 級 数				
						学級数	特別支援学級			
							知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由	通級指導教室
1	木更津第一	23-1051	中央一丁目11番1号	米澤 雅史	411	13	2	1	0	2 (言語)
2	木更津第二	23-2216	文京五丁目6番24号	大木 昌代	455	16	1	1	0	
3	東 清	98-0424	菅生114番地	前田 達哉	54	6	1	0	0	
4	西 清	22-2818	長須賀2445番地	積田 等	265	10	2	1	0	
5	南 清	98-3193	ほたる野三丁目5番地	小倉 敏幸	530	17	1	1	1	
6	清見台	98-2351	清見台南一丁目15番1号	今井 克彦	542	18	2	1	0	
7	祇 園	98-3158	清川一丁目1番1号	齋藤 雄一	582	18	3	1	0	2 (言語) (難聴)
8	岩 根	41-1303	西岩根8番1号	安田 正幸	317	12	2	1	0	
9	高 柳	41-2085	高柳5932番地	臼井 弘子	401	13	1	2	0	1 (言語)
10	波 岡	36-2820	畑沢1270番地	百瀬 正洋	230	9	1	1	0	2 (言語)
11	鎌 足	52-2004	矢那609番地	榎本 聡	80	6	1	1	0	
12	金 田	41-0009	中島2931番地1	高野 芳一	182	7	1	1	0	
13	中 郷	98-0824	井尻978番地	増田 一秀	68	6	1	1	0	
14	馬來田	53-2004	真里谷518番地	相場 明彦	163	6	1	1	0	
15	富 岡	53-2017	下郡1886番地	佐藤 千明	28	4	1	1	0	
16	畑 沢	36-3003	畑沢南二丁目16番1号	佐々木洋子	564	19	2	1	0	2 (言語)
17	請 西	36-9331	請西二丁目8番1号	稲村 由則	488	16	2	1	0	
18	八幡台	36-6696	八幡台四丁目5番1号	田村 淳也	895	27	3	1	0	
19	真 舟	36-0058	真舟二丁目6番1号	中澤 泰藏	941	29	2	1	0	
合 計					7,196	252	30	19	1	9

木更津市立中学校一覧

平成30年5月1日現在

区分	学 校 名	電話番号	所 在 地	校 長 名	生徒数 (人)	学 級 数				
						学級数	特別支援学級			
							知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由	通級指導教室
1	木更津第一	22-5321	中央一丁目10番1号	廣部 昌弘	304	10	1	1	0	—
2	木更津第二	36-2280	請西941番地	矢野 直明	557	15	2	1	0	—
3	木更津第三	23-2645	永井作一丁目1番1号	齊藤 毅人	242	9	1	1	1	—
4	岩 根	41-2096	高柳三丁目7番49号	高橋 達之	198	6	1	1	0	—
5	鎌 足	52-2092	矢那2797番地	藤寄 保	46	3	1	0	0	—
6	金 田	41-0032	中島2820番地	西 克夫	72	3	1	0	0	—
7	中 郷	98-0809	有吉932番地	鶴岡 敦	12	2	1	0	0	—
8	富来田	53-2020	真里谷275番地	小峯 清茂	120	5	1	1	0	—
9	太 田	98-7001	東太田一丁目2番1号	市原 浩	534	16	2	1	0	—
10	畑 沢	36-5021	畑沢1053番地1	平 一晶	432	13	1	1	0	—
11	岩根西	41-3681	久津間373番地	桑田 清行	195	6	1	1	0	—
12	波 岡	36-0911	大久保三丁目9番1号	矢田 博幸	396	11	1	1	0	—
13	清 川	98-0188	中尾1096番地	縄谷 尚志	381	12	1	1	0	—
合 計					3,489	111	15	10	1	—

児 童 ・ 生 徒 数 の 推 移

各年5月1日現在

(単位：人)

区 分		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
小学校	児童数	7,075(154)	7,048(164)	7,009(183)	6,922(215)	6,916(214)	6,960(236)
	学級数	249(38)	246(43)	247(45)	246(50)	249(48)	252(50)
中学校	生徒数	3,361(64)	3,370(76)	3,364(74)	3,414(79)	3,422(85)	3,392(97)
	学級数	107(21)	111(26)	110(24)	116(24)	114(26)	111(26)
小中計	児童・生徒数	10,436(218)	10,418(240)	10,373(257)	10,336(294)	10,338(299)	10,352(333)
	学級数	356(59)	357(69)	357(69)	362(74)	363(74)	363(76)

() は特別支援学級

教育相談・教職員研修・学校支援事業

1. 目的

教育相談事業活動の充実を図るとともに、教職員研修・学校支援活動を推進し、子どもたちの健やかな成長と教職員の指導力向上を支援する。

2. 業務内容

(1) 教育相談

- ① 教育相談教室：精神科医、臨床心理士等による、発達障害や不登校等、問題を抱えた子どもたちの教育相談活動を充実する。

平成29年度実施回数及び人数：165回 114人（人数は実人数、対象児童生徒数）

- ② 学校適応指導教室「あさひ学級」の運営：不登校児童生徒の学校復帰を目指し、学校以外の場合に集め積極的な適応指導を行う。

・開設場所：まなび支援センター内

・開設日時：月曜日～金曜日（学期は小中学校と同じ） 10：00～15：00

・通級者数（＊平成30年度は、1月1日現在 仮通級含む）

年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
人数	16	16	16	17	15	16	14	15	25	20	22	28

(2) 学校教育関係職員の研修

- ① 研究指定校：木更津市研究指定校の研修会の取組を支援する。

- ② 夏季教職員研修講座：児童生徒理解・特別支援教育、授業改善等現場のニーズや今日的課題に即した研修を実施する。 平成30年度実績：10回 参加者395名

- ③ 授業改善フェスティバル等、授業改善に関わる研修や、初任者研修、3年目経験者研修、ミドルリーダー研修等教職員層別研修を実施する。

- ④ 小学校外国語活動実践研修：小学校の外国語活動を充実させるため、主任ALTおよび指導主事が学校を訪問し、授業参観後、協議会実施。（H30年度：19校中5校で実施）

新教材対応外国語活動研修：移行期に使用する新教材の特色や活用の仕方を学び、学級担任が主導する外国語活動の授業ができるよう研修する。指導主事および主任ALTが学校を訪問し指導。（H30年度：19校中18校で実施）

- ⑤ 情報教育の充実：コンピュータを含めた教育機器を活用した授業のあり方についての研修を実施する。

(3) 学校支援

- ① 小・中学校に外国語指導助手（ALT）の配置：児童生徒のリスニング技能向上と国際理解教育推進のために配置し、効果的な活用方法について研究する。

- ② 算数数学検定：児童生徒の学習意欲の喚起を支援するため年2回実施する。

- ③ 優れた指導案の収集と提供：授業改善協力員と連携を図り優れた指導案を収集し、誰でも閲覧できるシステムを構築する。

- ④ 学校イントラネットの活用促進および小・中学校のホームページの充実支援、センターホームページの充実を図る。

イ 幼児言語教室の活動

I 業務目的

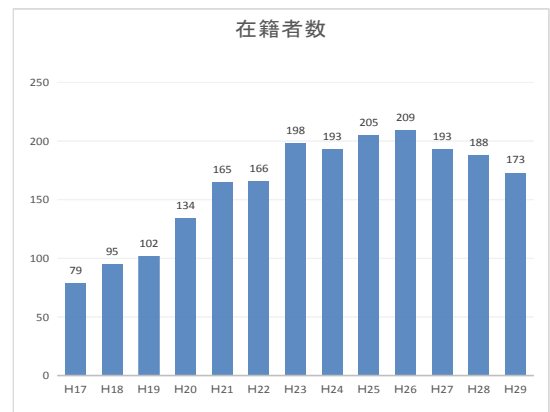
ことばに課題を持つ就学前の幼児に対し、その問題を早期に発見し、個別の言語指導・保護者との面談等を通して、スムーズな小学校就学に向けてのよりよい支援を目指す。

II 業務内容

- 1 相談・個別指導・保護者面談（年齢やケースによって週1回～月1回の指導）
ケースの種類
 - ・発音の誤り……………置き換え音・歪み音等の構音障害
 - ・言語発達の遅れ……多動傾向・コミュニケーションがとれない等を含む
 - ・吃音……………ことばのつまりや繰り返し
 - ・難聴……………聞こえが悪いためのことばの遅れ
- 2 年長児の言語検査
4月13日～6月14日 市内27園年長児対象 1151名実施
6月11日～6月22日 検査日欠席児・市外園通園児対象 17名実施
- 3 入学後のことばの検査対象児の名簿作成・小学校への伝達
- 4 小学校への引き継ぎ・個別の引き継ぎシート作成・配付
- 5 講演会開催（11月20日 講師：千葉県発達障害者支援センター 副センター長 田熊立氏 参加者66名）
- 6 就学支援委員会調査員
- 7 特別支援教育連携協議会参加
- 8 幼児言語教室便り「ひまわり」発行
- 9 特別支援教育啓発リーフレット・ポスター「にっこり」作成
- 10 事例研修会（年間3回 講師：君津中央病院 言語聴覚士 金子義信氏）

III 利用状況

平成17年度以降、在籍者が急増し、平成23年度以降は高水準で推移している。年中児以下の相談は、緊急性の高い特別な配慮を要する場合を除いては、年長児を最優先している。年中児以下でより高い専門性を必要とするケースについては、「子育て世代包括支援センター（きさらづネウボラ）」との連携を密にしながら対応している。ケース別では、「言語発達の遅れ」が「発音の誤り」より多い状況は、例年同様にあまり変化が見られない。



IV 成果と課題

- 低年齢児の相談場所として4月より新設された育児相談・発達相談を担う「子育て世代包括支援センター（きさらづネウボラ）」を紹介できるようになったので、年長児の案内を優先することができるようになり、年長児がより早い時期から多くの回数通所できるようになった。
- 園と小学校をつなげる役割を教育という視点から重視して、言語教室の特徴や現状を各方面に説明したことにより、保護者や園の理解が得られ年長児の割合が増えた。そのため、より多くの年長児を小学校へつなげることができた。
- 園での配慮を要する幼児の相談を受けることが多いが、個別指導を基本としているため、集団での関わりに課題がある幼児について効果的な指導をすることは難しい。
- 本市に在住しており、他市の園などから入学を予定している幼児の言語検査は、広報や就学時健康診断等でお知らせしているが、入学予定者全員を検査することはできていない。

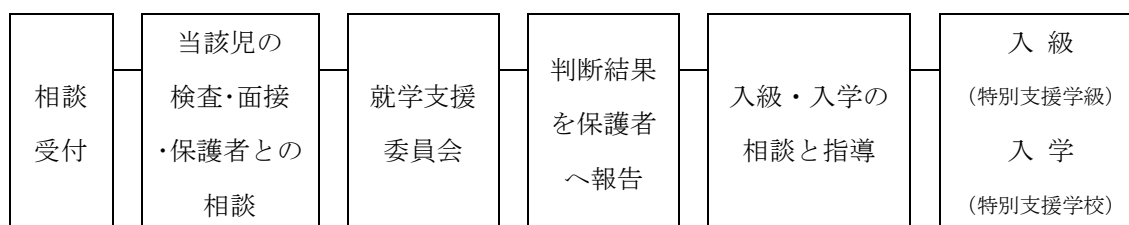
特別支援教育

『特別支援教育』とは、これまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、その対象でなかった通常学級に在籍するLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）等を含む、障害のある児童生徒に対してその一人一人の教育的ニーズを把握し、当該児童生徒の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うものです。

○ 就学支援委員会

就学支援委員会では、特別な支援が必要な児童生徒に対し、ニーズに合った教育的支援を医学的・心理的・教育的見地から総合的に審議検討し、適切な就学措置を判断して指導している。

・入級（入学）の手順



○ 知的障害特別支援学級

知的な遅れの児童・生徒に対して、その子にとって最もふさわしい教育の場で、その可能性を最大限に伸ばし、できる限り積極的に社会参加できるようにするために、特別な教育課程によって指導する。

近年、就学支援委員会の対象となる児童・生徒が増えており、その重要性からも一層の充実を図っていかなければならない。

○ 自閉症・情緒障害特別支援学級

情緒障害とは、情緒の現れ方が偏っていたり、その現れ方が激しかったりする状態を、自分の意志ではコントロールできないことが継続し、学校生活や社会生活に支障となる状態であるといえる。自閉症・情緒障害特別支援学級では、このような不適応の改善を図り、より充実した生活が送れるように指導を行っている。

○ 肢体不自由特別支援学級

日常生活動作に困難さのある児童・生徒に対して、障害に基づく困難を改善、克服するための指導を行なっている。特に、自立活動の指導において、身体の動きの改善を図ることやコミュニケーションの力を育てることに重点を置いている。

○ 言語障害通級指導教室（ことばの教室）、難聴通級指導教室（きこえの教室）

ことばの教室では、話しことばの障害・問題のある児童に対し、その要因をできるだけ的確に把握し、コミュニケーション上の困難を改善または軽減する教育を行っている。

きこえの教室では、聴覚障害が比較的軽度な児童生徒に対し、補聴器の適切な装用の指導、聴く態度の育成、聞き取りの練習、音声の聴取及び分別の指導等を行っている。

いずれも、児童の自己表現の援助をし、社会生活への適応力を高めることなどを目標としている。

就 学 援 助

○ 奨学金制度

本市奨学金制度は、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学基金により入学資金の支給及び奨学資金の貸し付けを行う。

・ 入学資金

学 校 種 別	支 給 額
高 等 学 校 高 等 専 門 学 校	25,000 円
大 学	50,000 円

・ 奨学資金（限度額）

学 校 種 別	貸 付 額
高 等 学 校 高 等 専 門 学 校	月 10,000 円
大 学 短 期 大 学 高等専門学校(4・5 年)	国・公立 月 40,000 円 私立 月 50,000 円

・ 年度別奨学資金新規貸付者数

年度	高校生	大学生	計
H21		2	2
22	2	1	3
23		2	2
24	1	2	3
25		2	2

年度	高校生	大学生	計
H26		2	2
27		2	2
28	1	1	2
29	1	1	2
30		2	2

○ 就学援助制度

経済的に困難な児童、生徒の保護者に対し、就学に要する経費の補助を行うもので、平成 29 年度において 48,995,164 円の援助を行った。

○ 特別支援教育就学奨励制度

特別支援学級へ就学する児童、生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に要する経費の補助を行うもので、平成 29 年度において 8,047,270 円の補助を行った。

平成30年度児童生徒定期健康診断集計表

区分	小学校	男 6歳	男 7歳	男 8歳	男 9歳	男 10歳	男 11歳	男 計	男 %	女 6歳	女 7歳	女 8歳	女 9歳	女 10歳	女 11歳	女 計	女 %	男女 合計	男女 %
	在籍者総数	661	621	622	598	559	650	3,711		573	565	564	611	591	579	3,483		7,194	
裸眼視力検査	受検者数	642	609	603	572	522	584	3,532	95.2%	552	553	546	565	541	507	3,264	93.7%	6,796	94.5%
	1.0未満0.7以上の者	71	44	60	55	70	55	355	10.1%	76	57	64	81	67	47	392	12.0%	747	11.0%
	0.7未満0.3以上の者	34	38	42	47	60	60	281	8.0%	34	37	44	69	69	72	325	10.0%	606	8.9%
	0.3未満の者	2	7	19	9	22	17	76	2.2%	4	5	17	23	33	35	117	3.6%	193	2.8%
	※裸眼視力省略の者	22	17	33	40	53	92	257	6.9%	20	23	29	61	87	94	314	9.0%	571	7.9%
眼の検査	受検者数	646	0	0	592	0	0	1,238	33.4%	559	0	0	600	0	0	1,159	33.3%	2,397	33.3%
	感染性眼疾患の者	5	0	0	1	0	0	6	0.5%	2	0	0	0	0	0	2	0.2%	8	0.3%
	その他の眼疾患・異常の者	37	0	0	43	0	0	80	6.5%	38	0	0	34	0	0	72	6.2%	152	6.3%
聴力検査	受検者数	660	621	622		558		2,461	99.9%	573	565	562		588		2,288	99.8%	4,749	99.9%
	難聴の者	7	4	0		5		16	0.7%	4	4	6		3		17	0.7%	33	0.7%
耳鼻咽喉頭の検査	受検者数	651	0	0	0	542	0	1,193	32.1%	558	0	0	0	575	0	1,133	32.5%	2,326	32.3%
	耳疾患の者	68	0	0	0	48	0	116	9.7%	50	0	0	0	29	0	79	7.0%	195	8.4%
	鼻・副鼻腔疾患の者	66	0	0	0	63	0	129	10.8%	42	0	0	0	27	0	69	6.1%	198	8.5%
	口腔咽喉疾患の者	13	0	0	0	6	0	19	1.6%	9	0	0	0	4	0	13	1.1%	32	1.4%
歯の検査	受検者数	634	613	613	589	553	645	3,647	98.3%	559	558	547	604	586	571	3,425	98.3%	7,072	98.3%
	処置完了の者	111	115	154	155	135	135	805	22.1%	72	102	130	109	121	118	652	19.0%	1,457	20.6%
	未処置歯のある者	141	140	133	127	121	105	767	21.0%	116	112	104	118	108	93	651	19.0%	1,418	20.1%
	COのある者	41	61	40	62	41	75	320	8.8%	29	70	37	80	30	80	326	9.5%	646	9.1%
	歯列・咬合 1の者	51	56	90	55	68	75	395	10.8%	42	71	78	86	62	76	415	12.1%	810	11.5%
	歯列・咬合 2の者	6	14	24	23	20	12	99	2.7%	5	11	13	7	16	19	71	2.1%	170	2.4%
	顎関節 1の者	0	1	1	1	1	0	4	0.1%	0	0	2	2	0	2	6	0.2%	10	0.1%
	顎関節 2の者	0	0	0	0	0	1	1	0.0%	0	0	0	0	1	0	1	0.0%	2	0.0%
	歯垢の状態 1の者	31	51	70	46	86	82	366	10.0%	26	43	50	39	49	61	268	7.8%	634	9.0%
	歯垢の状態 2の者	11	7	9	14	23	7	71	1.9%	24	7	5	5	6	11	58	1.7%	129	1.8%
	歯肉の状態 1の者	10	23	31	41	44	42	191	5.2%	12	21	16	33	26	29	137	4.0%	328	4.6%
	歯肉の状態 2の者	2	6	6	14	7	7	42	1.2%	0	0	5	4	1	14	24	0.7%	66	0.9%
	その他の疾病の者	38	29	23	21	41	35	187	5.1%	31	18	16	22	41	21	149	4.4%	336	4.8%
DMF歯数	D(永久歯の未処置歯数)						100	100							131	131		231	
	M(永久歯の喪失歯数)						0	0							1	1		1	
	F(永久歯の処置歯数)						157	157							207	207		364	
尿検査	受検者数	661	619	622	597	559	618	3,676	99.1%	573	563	562	610	588	577	3,473	99.7%	7,149	99.4%
	蛋白陽性の者	2	0	3	2	1	6	14	0.4%	1	2	2	7	8	10	30	0.9%	44	0.6%
	潜血陽性の者	5	4	1	4	5	3	22	0.6%	4	5	4	6	14	16	49	1.4%	71	1.0%
	糖陽性の者	1	0	0	1	0	0	2	0.1%	1	1	0	0	0	0	2	0.1%	4	0.1%
寄生虫卵	受検者数	659	0	0	0	0	0	659	17.8%	567	0	0	0	0	0	567	16.3%	1,226	17.0%
	寄生虫卵保有の者	9	0	0	0	0	0	9	1.4%	4	0	0	0	0	0	4	0.7%	13	1.1%
その他の疾病等の検査	受検者数	660	618	617	596	558	648	3,697	99.6%	572	564	557	611	588	576	3,468	99.6%	7,165	99.6%
	栄養不良の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	肥満傾向の者	2	2	10	5	9	12	40	1.1%	1	4	5	5	5	5	25	0.7%	65	0.9%
	脊柱側湾の者	1	0	1	6	2	3	13	0.4%	3	2	1	3	5	13	27	0.8%	40	0.6%
	その他の脊柱・胸郭・四肢の異常の者	1	4	4	4	8	3	24	0.6%	2	1	2	0	2	2	9	0.3%	33	0.5%
	感染性皮膚疾患の者	1	0	0	0	0	0	1	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	1	0.0%
	アトピー性皮膚炎の者	19	12	18	4	6	14	73	2.0%	5	8	21	13	6	7	60	1.7%	133	1.9%
	心臓疾患・異常の者	4	6	7	3	5	1	26	0.7%	4	3	3	2	4	2	18	0.5%	44	0.6%
	ぜん息の者	34	37	39	30	27	45	212	5.7%	20	18	21	14	21	19	113	3.3%	325	4.5%
結核検査	腎臓疾患の者	5	2	0	2	1	0	10	0.3%	0	1	1	0	2	1	5	0.1%	15	0.2%
	問診実施者数	661	621	622	597	559	650	3,710	100.0%	573	565	563	611	591	579	3,482	100.0%	7,192	100.0%
	・問診票から 要検討者数	3	3	3	0	1	1	11	0.3%	7	2	1	0	1	0	11	0.3%	22	0.3%
	学校医による診察実施者数	433	403	408	389	349	412	2,394	64.5%	394	357	369	378	375	365	2,238	64.3%	4,632	64.4%
	要精密検査者数	3	2	2	0	0	1	8	0.2%	3	2	1	0	0	0	6	0.2%	14	0.2%
	X線撮影を受けた者																		
	精密検査を受けた者	3	2	1	0	0	1	7	0.2%	2	2	1	0	0	0	5	0.1%	12	0.2%
	・X線撮影実施者数	3	2	1	0	0	1	7	0.2%	2	2	1	0	0	0	5	0.1%	12	0.2%
	・ツベルクリン実施者数	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	・その他の検査実施者数	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	予防内服の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	結核の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
肥満の状況 (村田式による)	受検者数	614	573	571	549	498	591	3,396	91.5%	537	531	527	550	537	527	3,209	92.1%	6,605	91.8%
	高度肥満(肥満度 $\geq 50\%$)	1	2	6	8	6	13	36	1.1%	0	2	5	6	2	4	19	0.6%	55	0.8%
	中等度肥満(50% $>$ 肥満度 $\geq 30\%$)	10	11	21	14	32	36	124	3.7%	9	16	9	23	13	15	85	2.6%	209	3.2%
	軽度肥満(30% $>$ 肥満度 $\geq 20\%$)	18	22	32	26	27	37	162	4.8%	16	12	20	20	22	24	114	3.6%	276	4.2%
	やせ(-20% $\geq$ 肥満度 $>$ -30%)	1	5	2	5	5	14	32	0.9%	4	0	2	9	5	12	32	1.0%	64	1.0%
	高度のやせ(-30% $\geq$ 肥満度)	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%

平成30年度児童生徒定期健康診断集計表

区分	中学校	男 12歳	男 13歳	男 14歳	男 計	男 %	女 12歳	女 13歳	女 14歳	女 計	女 %	男女 合計	男女 %
	在籍者総数	584	553	632	1,769		571	586	562	1,719		3,488	
裸眼視力検査	受検者数	506	467	526	1,499	84.7%	470	461	390	1,321	76.8%	2,820	80.8%
	1.0未満0.7以上の者	68	57	61	186	12.4%	59	56	42	157	11.9%	343	12.2%
	0.7未満0.3以上の者	57	70	61	188	12.5%	93	54	64	211	16.0%	399	14.1%
	0.3未満の者	33	36	34	103	6.9%	44	44	38	126	9.5%	229	8.1%
	※裸眼視力省略の者	118	124	154	396	22.4%	156	189	232	577	33.6%	973	27.9%
眼の検査	受検者数	575	0	0	575	32.5%	559	0	0	559	32.5%	1,134	32.5%
	感染性眼疾患の者	1	0	0	1	0.2%	1	0	0	1	0.2%	2	0.2%
	その他の眼疾患・異常の者	58	0	0	58	10.1%	43	0	0	43	7.7%	101	8.9%
聴力検査	受検者数	583		621	1,204	99.0%	569		556	1,125	99.3%	2,329	99.1%
	難聴の者	0		1	1	0.1%	2		2	4	0.4%	5	0.2%
耳鼻咽喉頭の検査	受検者数	0	529	0	529	29.9%	0	565	0	565	32.9%	1,094	31.4%
	耳疾患の者	0	44	0	44	8.3%	0	28	0	28	5.0%	72	6.6%
	鼻・副鼻腔疾患の者	0	52	0	52	9.8%	0	43	0	43	7.6%	95	8.7%
	口腔咽喉頭疾患の者	0	4	0	4	0.8%	0	3	0	3	0.5%	7	0.6%
歯の検査	受検者数	572	527	601	1,700	96.1%	561	562	539	1,662	96.7%	3,362	96.4%
	処置完了の者	78	65	83	226	13.3%	69	79	89	237	14.3%	463	13.8%
	未処置歯のある者	65	66	78	209	12.3%	87	94	108	289	17.4%	498	14.8%
	COのある者	79	63	89	231	13.6%	99	108	121	328	19.7%	559	16.6%
	歯列・咬合 1の者	117	101	116	334	19.6%	107	110	95	312	18.8%	646	19.2%
	歯列・咬合 2の者	41	36	41	118	6.9%	58	48	47	153	9.2%	271	8.1%
	顎関節 1の者	9	3	10	22	1.3%	4	6	4	14	0.8%	36	1.1%
	顎関節 2の者	0	0	2	2	0.1%	1	0	2	3	0.2%	5	0.1%
	歯垢の状態 1の者	101	85	98	284	16.7%	98	61	73	232	14.0%	516	15.3%
	歯垢の状態 2の者	31	28	46	105	6.2%	25	19	15	59	3.5%	164	4.9%
	歯肉の状態 1の者	85	74	106	265	15.6%	98	73	88	259	15.6%	524	15.6%
	歯肉の状態 2の者	37	32	43	112	6.6%	34	27	18	79	4.8%	191	5.7%
	その他の疾病の者	28	21	17	66	3.9%	29	26	9	64	3.9%	130	3.9%
DMF歯数	D(永久歯の未処置歯数)	102			102		202			202		304	
	M(永久歯の喪失歯数)	2			2		7			7		9	
	F(永久歯の処置歯数)	153			153		178			178		331	
尿検査	受検者数	584	542	616	1,742	98.5%	560	573	550	1,683	97.9%	3,425	98.2%
	蛋白陽性の者	6	6	12	24	1.4%	12	14	12	38	2.3%	62	1.8%
	潜血陽性の者	0	1	1	2	0.1%	14	9	11	34	2.0%	36	1.1%
	糖陽性の者	0	2	0	2	0.1%	1	2	2	5	0.3%	7	0.2%
寄生虫卵	受検者数												
	寄生虫卵保有の者												
その他の疾病等の検査	受検者数	579	536	619	1,734	98.0%	561	567	551	1,679	97.7%	3,413	97.8%
	栄養不良の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	肥満傾向の者	2	0	3	5	0.3%	0	0	0	0	0.0%	5	0.1%
	脊柱側弯の者	8	5	17	30	1.7%	20	15	39	74	4.4%	104	3.0%
	その他の脊柱・胸郭・四肢の異常の者	0	4	1	5	0.3%	0	2	3	5	0.3%	10	0.3%
	感染性皮膚疾患の者	0	1	0	1	0.1%	1	0	0	1	0.1%	2	0.1%
	アトピー性皮膚炎の者	9	8	12	29	1.7%	10	3	12	25	1.5%	54	1.6%
	心臓疾患・異常の者	3	4	3	10	0.6%	4	8	10	22	1.3%	32	0.9%
	ぜん息の者	30	19	28	77	4.4%	15	13	13	41	2.4%	118	3.5%
	腎臓疾患の者	0	0	1	1	0.1%	1	4	4	9	0.5%	10	0.3%
結核検査	問診実施者数	584	552	627	1,763	99.7%	570	585	562	1,717	99.9%	3,480	99.8%
	・問診票から 要検討者数	1	1	0	2	0.1%	2	1	1	4	0.2%	6	0.2%
	学校医による診察実施者数	427	405	472	1,304	74.0%	421	420	404	1,245	72.5%	2,549	73.2%
	要精密検査者数	1	1	0	2	0.1%	2	1	1	4	0.2%	6	0.2%
	X線撮影を受けた者												
	精密検査を受けた者	1	1	0	2	0.1%	2	1	1	4	0.2%	6	0.2%
	・X線撮影実施者数	1	1	0	2	0.1%	2	1	1	4	0.2%	6	0.2%
	・ツベルクリン実施者数	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	・その他の検査実施者数	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	予防内服の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
	結核の者	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
肥満の状況 (村田式による)	受検者数	521	505	573	1,599	90.4%	510	530	521	1,561	90.8%	3,160	90.6%
	高度肥満(肥満度 $\geq 50\%$)	8	11	12	31	1.9%	5	5	3	13	0.8%	44	1.4%
	中等度肥満($50\% > \text{肥満度} \geq 30\%$)	22	17	17	56	3.5%	19	25	9	53	3.4%	109	3.4%
	軽度肥満($30\% > \text{肥満度} \geq 20\%$)	20	19	15	54	3.4%	22	26	25	73	4.7%	127	4.0%
	やせ($-20\% \geq \text{肥満度} > -30\%$)	16	11	16	43	2.7%	30	17	19	66	4.2%	109	3.4%
	高度のやせ($-30\% \geq \text{肥満度}$)	1	0	0	1	0.1%	2	1	1	4	0.3%	5	0.2%

学校給食について

1. 給食の実施方式

(1) 給食センター方式(10校)

木更津第一小学校、木更津第二小学校、清見台小学校、畑沢小学校、請西小学校、真舟小学校
木更津第一中学校、木更津第二中学校、太田中学校、畑沢中学校

(2) 自校親子方式(20校)

(東清小学校・南清小学校)、(祇園小学校・清川中学校)、(岩根小学校・岩根西中学校)
(高柳小学校・岩根中学校)、(波岡小学校・波岡中学校)、(鎌足小学校・鎌足中学校)
(金田小学校・金田中学校)、(中郷小学校・西清小学校)、(馬来田小学校・富来田中学校)
(八幡台小学校・木更津第三中学校)

※左に記載されている学校で2校分を調理し、右に記載されている学校へ配送します。

(3) 自校単独方式(2校)

富岡小学校、中郷中学校

2. 給食費の額

給食費の1食単価は、小学校265円、中学校320円です。

3. 学校給食センター

木更津市学校給食センターの建設・稼動に関して、PFI方式を採用し「木更津教育サービスPFI株式会社」によるHACCPの概念とするドライシステムでの衛生管理を実施し、最新式調理機器を活用した調理を行っています。

○ 施設概要

所在地	木更津市潮見二丁目13番地1
敷地面積	5,474.00㎡
建築面積	1,912.55㎡
延床面積	2,524.08㎡
構造	鉄骨造2階建
開設年月日	平成21年4月1日

○ 事業概要

施設稼働日	年間199日以内
給食数	6,000食/日(最大提供可能食数)
配食校	給食センター方式による10校

4. 学校給食における地産地消及び循環による食育の推進

給食食材の選定にあたって、地産地消を推進しております。

特に、鎌足小・中学校においては、地元産野菜を積極的に給食に使用するとともに、生ごみ処理機を鎌足小学校内に設置し、給食から発生する残渣を肥料化したものを地元農家等へ還元する循環を通して、食育に取り組んでおります。今後、実施校を増やし、地元産品の取り入れ拡大を推進していきます。

6. 生涯學習

1 青少年の健全育成

青少年の健やかな成長と自立を実現するために、家庭、地域、学校・行政をはじめ、社会全体で青少年を育み、支える環境づくりを推進し、地域の教育力の向上を図ります。あわせて青少年育成事業や教育環境の整備に取り組みます。

（１）青少年育成推進体制の充実と地域の教育力の向上

- ・ 青少年の指導育成、保護、矯正に関する総合的施策や自立支援方策等について必要な事項を調査・審議するとともに、関係機関との連絡調整を図るため、青少年問題協議会を開催します。
- ・ 子どもたちの居場所づくりや、家庭、地域、学校・行政が連携して地域の教育力の向上を図るため、「放課後子ども教室」の拡充や、「生き生き子ども地域活動促進事業」を推進し、地域の参画による世代間交流や様々な体験活動を提供し、子どもたちの主体性、協調性、自立心の育成を図ります。
- ・ 青少年の健全育成を推進するため、県と連携し青少年相談員を委嘱し、制度の活性化と活動の充実を図ります。
- ・ 地域での青少年健全育成活動を推進するため、子ども会育成連絡協議会、青少年育成木更津市民会議等の関係団体を支援するとともに、担い手となるボランティアの育成に努めてまいります。

（２）青少年育成事業の推進

- ・ 青少年の豊かな人間性を育み、自立と社会参加を促すため、生き生き体験キャンプ事業や野外体験促進事業、成人式事業など、青少年育成に関する各種事業を実施します。
- ・ 少年自然の家キャンプ場が、自然体験活動の拠点として一層活用されるよう、積極的な広報や運営方法の改善等による利用促進を図ります。
- ・ 老朽化した施設の計画的な整備に努めるとともに、中長期的な施設の改修・整備計画の策定に向けた検討を行います。
- ・ 青少年のさまざまな活動を支援するため、アフタースクールボランティアやユースボランティアなど各種ボランティアを活用するとともに、各ボランティアの活性化を図ります。

（３）青少年を取り巻く環境浄化と非行防止

- ・ さまざまな問題に悩む幼児から青少年及びその保護者への支援を行うため社会教育指導員による相談活動（電話相談・来所相談・メール相談）を実施します。
- ・ 青少年の非行防止と健全育成を図るため、青少年補導員による地区街頭補導、列車乗車マナー指導、喫煙・飲酒防止キャンペーンなどの「青少年への愛の一声運動」を関係機関・団体との連携のもと行います。
- ・ 青少年の非行防止と健全育成に関する啓発のため、青少年健全育成だより「News Letter」や青少年指導関係活動報告「青少年に愛の一声を」を発行するとともに、関係機関や学校、また地区住民会議や地域の各種団体と連携し、地域ぐるみの非行防止啓発活動に取り組みます。
- ・ 青少年の非行防止と健全育成を図るため、関係機関や青少年補導員・相談員・PTAな

ど地域の関係団体とともに、青少年を取り巻く有害環境浄化活動を行います。

- ・青少年育成、非行防止に関わる関係機関・団体・有識者との連携を図り、まなび支援センターの青少年指導関係事業を効果的に運営するために、青少年指導関係運営協議会を開催します。

2 社会教育の推進

さまざまな暮らしの課題に対し、市民がいつでも、だれでも学習できる環境を整えるとともに、広く市民の声を聞きながら、生涯学習のまちづくりを推進するために、必要な学習機会を提供し、その活動を奨励します。また、生涯学習を通じて人をつなぎ、学んだ知識を地域づくりに活かすことができる環境を整備します。

また、社会教育を推進する体制の充実や社会教育施設の整備を図ります。

(1) 生涯学習・社会教育推進体制の充実

- ・広く民意を反映し、社会教育行政の推進を図るため、社会教育委員会に社会教育推進施策等を諮問し、答申や意見を求めます。
- ・総合的な生涯学習の推進にあたり、広く市民の意見や要望を取り入れるため、生涯学習推進協議会を開催します。
- ・社会教育振興施策の充実を図るため、各種研修会を開催するとともに、近隣3市や県内の社会教育に関係する団体の活動等にも参加し、関係職員、関係委員等の資質の向上に努めます。
- ・視聴覚教育の充実を図るため、君津地方視聴覚教材センターに負担金を支出し、視聴覚教材の充実と研修機会の拡充を支援します。
- ・生涯学習事業の財源確保を図るため、生涯学習事業基金の運用益や寄附金を基金に繰り入れます。
- ・効果的な生涯学習の振興を図るため、必要に応じて生涯学習関係機関等の意見交換の場を設けます。
- ・市民に多様な学習ニーズに応え、さまざまな学習機会を提供し、学習活動を側面から支援するため、専門職員による学習支援体制の整備に努めます。
- ・いつでも、どこでも、だれでも自由に学べる「生涯学習都市きさらづ」をめざして、新たな推進施策の展開を図るため、「第2次生涯学習基本構想」・「生涯学習基本計画」の策定に向けた調査・研究を進めます。

(2) 生涯学習・社会教育活動の充実

- ・家庭教育の不安や悩みを解消するため、家庭、地域、学校・行政が一体となって家庭の教育力向上を図ります。
- ・家庭教育支援として、子育てについての学習機会の拡充に努め、親が互いに子育てについて学びあい、親として育ち合うことを応援する学びの環境を充実します。
- ・女性の社会参加の促進や地域社会・まちづくりへの積極的な関わりを推進するための学習機会の提供に努めます。
- ・学習意欲の高揚と高度で専門的な学習ニーズに対応するため、市内高等教育機関と連携した公開講座の開催や「動く教室」として生涯学習バスの運行を行います。
- ・市民による生涯学習活動の一層の拡充と生涯学習を通じたまちづくりの振興を図るため、生涯学習フェスティバルや生涯学習に関するさまざまな啓発事業を実施します。

- ・社会教育関係団体との協働の事業を推進するため、また、団体が自主的に行う社会教育活動の円滑な運営や一層の充実を図るため、求めに応じて助言・指導するとともに、実施する事業に補助金を交付し活動を支援します。
- ・生涯学習活動により培ってきた知識や経験など、市民の生涯学習の成果をそれぞれの社会生活や地域社会に活かすため、生涯学習ボランティアの仕組みづくりを進めます。

（３）図書館サービスの充実

- ・利用者の要望及び社会の要請に対応するため、基本的運営方針、資料の収集方針、各年度ごとの事業計画の策定及び公表について検討します。また、運営の状況、目標の達成状況等に関して自らの点検及び評価を行うよう努めます。また、市民の生活や仕事に関する課題及び地域に関する課題の解決に向けた活動を支援するため、本市の実情に即した情報や資料を収集・整備・提供します。また、県内外の公共図書館、大学図書館や他機関との連携を図り、豊富な情報資産を活用して、司書によるレファレンス機能を充実させ、的確な情報提供を行います。さらに、利用者の安全・安心を図るため、社会情勢を踏まえ想定される事態に対応した危機管理体制の見直しを検討します。
- ・図書館遠隔地の市民の読書環境を整備するため、公民館図書室との連携を強化し、整備・充実を図ります。
- ・子どもの読書活動の推進を支援するため、児童図書の整備、学校及び教諭、読書相談員との連携を強化します。
- ・地域住民の学びを支える図書館づくりを図るため、図書館ホームページ・図書館報等により情報を発信するとともに、利用者・地域・他機関との協働・連携を推進し、魅力ある講演会・講座・展示会等の事業展開に努め、利用者の一層の拡大を図ります。

（４）公民館活動の充実

- ・市民の学習要求に応えるため、各種学級・講座を実施します。また、安心して暮らせる地域社会の構築を図るため、現代的課題や地域課題の解決に向けた学級講座を実施します。
- ・家庭教育の充実を図るため、小中学校や地域の教育機関との連携を進めます。また、子育てに関する不安や悩みを解消するため、乳幼児期、児童期、思春期の各成長段階に応じた家庭教育学級や子育て講座を実施します。さらに、地域において乳幼児と親が孤立しないため、気軽に集える場を提供し、子育てを支援します。
- ・未来を担う青少年の健全な育成を図るため、サタデースクール事業等の青少年教育事業を実施します。また、地域ぐるみの青少年健全育成を促進するため、生き生き子ども地域活動促進事業を支援します。さらに、効果的な事業の推進を図るため、地域や学校、各種関係機関との連携・協働を進めるとともに、青少年教育事業の充実を図るため、地域の多様な人材を活用します。
- ・高齢者の生きがいや健康づくりを促進するため、高齢者教室を実施します。また、豊かで活力のある長寿社会の実現のため、自身の持つ豊富な知識や経験を講座等で活用し、高齢者の社会参加を促進します。
- ・民意を反映した公民館運営の推進を図るため、公民館運営審議会を開催し、各種の事業の企画・実施につき調査審議します。また、地域住民の自主的な社会教育活動を推進するため、市民参画による事業を進めます。さらに、地域の絆づくりと新たなコミュニティ形成を図るため、地域の特色を生かした公民館文化祭を実施するとともに、地域住民や各種関係機関との協力支援体制を構築します。合わせて、まちづくりの担い手となる市民の

自主的な社会教育活動を支援するため、施設を広く市民の利用に供します。

・これまでの公民館活動を、今後もよりよく維持・運営するため、平成30年4月より公民館の使用を原則有料化します。

(5) 生涯学習・社会教育施設の整備

・今後の公民館の整備や老朽化した施設の改修を含めた公民館の総合的な整備計画の策定に向け、「木更津市公共施設再配置計画」を踏まえ、関係部等と協議を進めます。

・快適に学習できる環境を維持するため、日常的に発生する建物や設備の不具合を適時補修することにより、施設の適正な維持・保全に努めます。

・八幡台公民館の耐震補強工事及び西清川公民館の空調改修工事を実施します。

・耐震性能が不足している現在の中央公民館を閉館するとともに、スパークルシティ木更津への仮移転準備を進め、7月の開館をめざします。

・社会教育施設の使用料・手数料の改定に伴い、条例等の適正な運用による利用者間の公平性の確保と利用者の理解を図ることに努めます。

・市長部局と連携・協力し、金田地区の生涯学習・社会教育活動の拠点となる金田地域交流センターの整備に努めます。

3 市民文化の充実

市民がふるさとの歴史や文化に誇りと愛着を持つために、地域の芸術文化を育む環境づくりを図りながら多彩な芸術文化活動の高揚をめざします。また、歴史的な文化遺産と豊かな自然を後世に伝えていくため、埋蔵文化財、古文書、民具、伝統行事等を保存し、継承するとともに、自然の保護や記録に努めます。

(1) 芸術文化活動の推進

・児童生徒の芸術文化に触れる機会を充実させるため、学校音楽鑑賞教室等の事業を拡充します。また、市民を対象に一流の芸術団体を招いたコンサートを開催するとともに、美術展覧会の観覧などを実施し、優れた芸術文化に触れる機会を提供します。さらに、芸術文化の向上を図るため、収蔵作品の適正な保存、管理及び活用に努めます。

・各種芸術文化団体との協働の事業を推進するため、情報の提供や助言・指導するとともに、各種団体が実施する自主的な事業に補助金を交付し活動を支援します。

(2) ふるさと文化の継承

・市内に所在する有形・無形の文化財、史跡、天然記念物など、文化遺産の保護を図るため、本市の歴史、文化、自然の保存・活用・周知に努めます。また、市内の文化財を保存するため、伝承する団体の求めに応じた助言・指導とともに、実施する事業に補助金を交付し活動を支援します。

・埋蔵文化財保護のため、開発事業に対応した調整を迅速かつ円滑に図り、必要な発掘調査を実施します。また、発掘調査で出土した資料の記録保存や博物館における展示への活用を図るため、埋蔵文化財の整理作業を実施し、調査報告書等を刊行します。

・本市の歴史や文化、また豊かな自然への関心を高めるため、新たな「木更津市史」の編さんに取り組み、調査研究成果を活用した公開講座の実施や編さん物の刊行に努めるとともに、作業効率の向上を図るため、「(仮称)木更津市史編さん室」の設置に向けた検討を進めます。また、市民協働による新たな「木更津市史」編さん事業を推進します。

- ・博物館事業の充実を図るため、学校の受入れ等を積極的に行う博学連携事業及び市民が博物館事業の運営に参画する市民との連携事業をさらに推進し、利用者の増大に努めます。
- ・金鈴塚古墳出土品の国宝化をめざして推進事業に取り組むとともに、国の機関等との共同研究及び資料整理を行い、研究報告書を刊行します。
- ・博物館事業の充実を図るため郷土に関する調査研究を、市民、研究者及び研究協力機関と協力して推進し、その成果を企画展事業や講座、体験教室等に反映させます。

4 人権擁護の推進

さまざまな差別意識を解消し、相互に基本的人権を尊重し、すべての人が自分らしい生き方のできる社会を実現するために、学校教育・社会教育における人権教育の充実を図ります。

(1) 人権意識の高揚

- ・差別のない人権が尊重される社会の実現のため、人権の理念を普及し、その理解を深めるための研修を行います。
- ・さまざまな人権侵害など、人権問題に対する市民の理解を深め、人権に対する意識を高めるため、啓発活動を推進します。

社会教育事業

○ 生涯学習課事業

事業名	概要
社会教育委員会議	広く民意を反映した社会教育行政の推進を図るため、教育委員会から社会教育推進施策等を諮問し、答申や意見を求める。
人権教育研修会	差別のない人権が尊重される社会を実現するために、人権問題への理解を深め、社会人権教育の一層の推進と充実を図る。
社会教育関係職員研修会	社会教育関係職員に対して、生涯学習・社会教育施策の理解を図るとともに、職務等に応じた研修を実施し、職員としての専門的な知識、技能、資質の向上を図る。
家庭教育推進協議会	関係部局や機関・団体等との連携により、家庭教育（子育て）支援の推進及び家庭の教育力の向上を図る。
家庭教育支援事業	困難を抱えた子どもを持つ保護者のための家庭教育支援事業を実施し、子育てについての学習機会の拡充を図る。
家庭教育学級交流集会	家庭教育学級生・担当職員相互の交流を深めながら、学級をより充実したものにするための運営方法等を実践的に学ぶことを目的として実施する。
家庭教育学級軽スポーツ交流会	軽スポーツを通して各公民館で実施されている家庭教育学級の学級生相互の交流と親睦を図る。
家庭教育学級研究集会	各学級での取り組みの成果と課題を踏まえた事例発表を行い、学習内容や運営方法等について研究・協議するとともに、家庭教育学級の意義やあり方について考える。
生涯学習推進協議会	総合的な生涯学習の推進にあたり、広く市民の意見や要望を取り入れ、生涯学習の推進施策に資する。
生涯学習フェスティバル	講演会等をはじめ、市民の生涯学習活動の成果発表などを中心としたフェスティバルを開催し、生涯学習の啓発と一層の拡充を図る。
市民公開講座	高等教育機関のスタッフによる高度な学習機会を提供し、市民の多様な学習要求に応えるとともに生涯学習の振興を図る。
生涯学習バス「まなび」	生涯学習の「動く教室」としてバスを運行し、公民館事業等をはじめ、市民の生涯学習活動における体験的学習の機会拡充を図る。
保育ボランティア入門講座	幼児を持つ親の学習機会を確保し子育て世代を支援するために、保育ボランティアの養成を行うとともに、ボランティア活動の拡充を図る。
少年自然の家キャンプ場利用促進事業	キャンプ場をより広く周知するとともに、ボランティア団体等との連携によりキャンプ場の利用促進と活性化を図る。
野外体験活動促進事業	子どもたちの体験活動を促進するためのモデルとなるような事業や、事業を計画するための参考となるようなプログラム等の資料作成事業を創意工夫して展開する。

青少年問題協議会	青少年の指導育成、保護、矯正に関する総合的施策や自立支援方策等について必要な事項を調査・審議するとともに、関係機関との連絡調整を図る。
アフタースクールボランティア養成事業	子どもたちが放課後や週末に自由に集い、遊び、学べる場をつくり、活動を手助けするためのボランティアを養成、組織化し、子どもたちの地域での活動を支援する。
生き生き体験キャンプ事業	中学生及び小学6年生を対象に、ふるさとの自然環境を生かした自然体験活動の中で子どもたちの豊かな感性を養い「生きる力」を育むとともに、地域のリーダーを養成する。
生き生き子ども地域活動促進事業	学校・家庭・地域社会の連携の下で、子どもたちの体験活動機会を意図的に作り出し、児童・生徒が積極的に地域活動に参加するような事業の展開を図る。
成人式	成人としての自覚を持ち、「自らが作る成人式」という意識を高めるため、実行委員会方式による企画・運営を行う。
放課後子ども教室推進事業	家庭、地域、学校・行政が連携し、子どもたちが放課後に安全で安心して過ごせる居場所づくりを推進する。市内6小学校区に設置。
子ども会新インリーダー・新役員講習会	子ども会の運営上必要な仕事を明らかにし、リーダーの具体的な役割を理解させる。
ユースボランティア登録制度	地域での小中学生の活動支援、及び青少年の奉仕活動・体験活動の機会を提供するため、高校生・大学生等のボランティアを登録する。

○ 文化課事業

事業名	概要
芸術文化振興事業	市内小中学校で学校音楽鑑賞教室等を行い、芸術鑑賞の素地を醸成し、また、市民を対象として一流の音楽・芸術団体等を招いたコンサートの開催や首都圏に所在する美術館での美術展覧会見学会を実施して芸術文化の振興を図る。市所蔵の美術品を市民一般へ展示・公開に供するため、適切な管理を図る。
芸術文化活動補助金事業	「木更津市文化協会」等の社会教育団体が行う教育振興事業に要する経費に対し、補助金を交付し芸術文化活動の支援を図る。
文化財保護審議会	木更津市文化財保護条例の規定に基づき設置され、市内に所在する文化財の保存・活用に関して意見を具申し、必要な調査を実施して、本市文化財行政の円滑な推進と文化財の保存・活用に寄与する。
文化財保護事業	文化財全般の保護と活用を図るため、「金鈴塚古墳」「貝渕木更津県史蹟」等の市内に所在する、指定文化財及びその他の文化財の管理、出土した金属製品・木製品などを対象とした文化財保存処理を行う。
文化財保護事業補助金事業	「県指定無形文化財木更津ばやし保存会」等の社会教育団体が行う、教育振興事業に要する経費に対し、補助金を交付し有形無形文化財の継承・保存の支援を図る。
市内遺跡発掘調査事業	市内の中小規模開発や個人住宅建設等に対応して、試掘、確認調査を実施して開発事業と埋蔵文化財保護との調整を図るとともに、土地区画整理事業に伴い発掘調査を行った請西遺跡群等について整理作業及び調査報告書の刊行を行い、文化財の保護活用を図る。
市内遺跡発掘調査（民間）事業	市内の民間開発事業に対応した確認調査と本調査を実施して、その調査成果をまとめた報告書を刊行して、民間開発事業と埋蔵文化財保護との調整を図る。
木更津市史編集委員会	附属機関設置条例の規定に基づき設置され、新たな「木更津市史」の編さん・刊行に関し、市史編集計画の審議と調査を行い、事業遂行に必要な事項を市長に答申又は建議することにより、木更津市史編さん事業の推進に寄与する。
木更津市史編さん事業	市史基本構想及び基本方針や刊行計画に基づき市史編集部会を組織し、史・資料の調査、研究を実施する。「通史編」「史料編」「民俗編（総論・資料編）」「自然編（総論・資料編）」の編さんに向けて各部会が分担して取り組む。調査・研究成果を市民に提供するための公開講座を開催する。

公 民 館

○ 中央公民館

事業名	実施回数	事業概要
中央KIDSクラブ30 (サタデースクール事業)	12	様々な物作りや軽スポーツなどの体験を通して、地域の大人や公民館サークルとの交流を図るとともに、異学年同士による仲間作りをする。
子どもふれあい広場 (れんこんクラブ・サークルおはなし ぼんぼこと共催)	12	読み聞かせを通して豊かな物語の世界を体験することで、情操を育むとともに子どもたちへ読書の楽しさを伝え読書普及活動の一助とする。また、長期休業中は、名作映画の上映等もあわせて行う。
わがまちたんけんぼんぼラリー (住民会議主催)	1	地域内の諸団体の協力の下、地域内の史跡等を巡るスタンプラリーを行い、地域ぐるみで青少年健全育成を進める一助とする。
ポランの広場	8	ハンディキャップのある人に対し、様々な体験活動や学習機会を提供することにより、仲間との交流や余暇充実の一助とする。
中央ぼんぼこ学級 (家庭教育)	10	乳幼児期の子育てに関する学習や親子活動を通して、同じ世代の子どもを持つ親同士の交流・仲間づくりに寄与する。
おしゃべりたぬき学級 (家庭教育)	11	小中学生期の子育てや家庭教育のあり方について考えるとともに、子育てを通じて地域の母親の交流と仲間づくりをすすめる。
中央コミュニティカフェ (地域課題)	22	高齢者の健康寿命の延伸のため、地域で気軽に立ち寄り話ができる「コミュニティカフェ」の開催とボランティア運営会議を行う。
中央市民講座 (地域課題)	4	一中学区の成人を対象に、今後起こりうるさまざまな災害を想定して、地域での防災力を高めるために地域の現状と今後の課題を考える。
中央郷土史講座	10	第一中学校区を中心とした郷土の歴史と、それに関連した歴史事項について学習し、郷土愛を育む機会を提供する。
ふれあい学級 (高齢者学級)	11	高齢者を取り巻く課題についての学習や地域の方々との交流・仲間づくりを通して楽しく健康で生き甲斐のある人生を過ごすための一助とする。
中央公民館42年間ありがとうイベント	4	42年間お世話になった建物に感謝の気持ちをこめて、イベント行事を行う。
中央公民館仮移転オープニングセレモニー	1	建物の耐震性能の不足により平成30年6月30日にいったん閉館し、木更津駅西口前スパークルシティ木更津A館6階とアクア木更津B館3階に平成30年7月21日から仮移転開館するにあたり、オープニングセレモニーを行う。
夜のヨガ講座	8	働きざかりの成人に公民館の利用を促進するため、仕事帰りに気軽に参加し身体の調子を整えることの出来るヨガ講座を開催する。
利用者救命救急講習会	1	公民館利用者を対象に、日常生活において、不測の事態に対応できるよう普通救命講習を実施する。
利用者懇談会	4	公民館の目的や役割、利用方法等について理解を深めるとともに、利用団体相互の交流・情報交換の場とする。
学社連携会議	1	公民館と小中学校が連携することにより、地域の青少年健全育成を推進する。
中央公民館だより発行事業 (公民館HP含む)	10	公民館事業を中心に生涯学習情報を提供するとともに、身近な地域の話題等を取り上げ、地域に対して広く情報を発信する。
図書貸出事業	通年	地域住民にとっての身近な“図書館”として、利用の促進及び読書活動の普及を図る。
ロビーミニサークル展	1	公民館利用サークル・団体等の活動紹介や制作作品の展示をロビーで行い、各サークル・団体等のPRや情報提供や、交流を図る場とする。
中央生活学校(支援)	12	安全で豊かな暮らしを保つために必要な衣食住に関わる日常生活の問題について、生活改善に向けた学習や情報発信を行う。
木更津第一中学区住民会議 (事務局)	6	地域の青少年育成関係団体や教育機関相互の情報交換やわがまちたんけんぼんぼラリーの開催を通じて、青少年の健全育成を推進する。
第42回中央公民館まつり (事務局)	1	公民館利用サークル等各種団体を中心に、活動成果の発表や様々なイベント等を通じて、利用者相互や地域との交流を広げ深める場とする。

○ 木更津市立公民館(全体事業)

事業名	実施回数	事業概要
ハッピーメーカー必ず実行委員会	3	公民館研究集会から生まれた実行委員会により、青少年対象の事業を実施する。田んぼリンピック、公民館カードコレクション、サカサマ学級を企画、実施する。

○ 富来田公民館

事業名	実施回数	事業概要
ワクワク子どもものづくり教室※ (サタデースクール事業)	2	クリスマスリース・お飾りづくりを体験しながら世代間の絆を深める。
ワクワク子ども自然観察・体験教室※ (サタデースクール事業)	4	自然観察や天体観測などを通して、地域の自然との共生やその大切さについて学ぶ。
ワクワク子ども陶芸教室※ (サタデースクール事業)	6	陶芸に関する基礎知識を習得し、玉づくり、板作り、ひも作りによる作品作りを行う。
子どもクッキング教室※ (サタデースクール事業)	3	料理を通して、自ら作る喜びを体験学習するとともに子ども同士の交流を深める。
花いっぱい運動 (生き生き子ども地域活動促進事業)	2	地元の小中学生と公民館利用者（サークル等）の共同による公民館の花壇の植替え及び除草作業。
きしゃぼっぽ広場 (子育て支援事業)	24	紙芝居や絵本の読み聞かせ、手遊び、簡単工作などによる親子同士の交流。育児に関する情報交換や相談等。
いちご学級 (富来田家庭教育学級)	8	家庭教育や学校教育、地域を知るための学習や生活を豊かにするための体験等。
富来田ふるさと講座	8	学習成果を地域に還元、次世代に継承していくことを目的とした、主として地域の歴史、郷土文化に関する学習。
ワンデイハイク	5	地域住民の健康に関する要求に応えるため、軽度なウォーキングを中心としている。又、公民館活動を地域に積極的にPRすること。
富来田芸術鑑賞教室	3	各種美術館が主催する特別展を中心に、優れた芸術鑑賞の機会を年間を通して提供する。
富来田みどり学級 (高齢者学級)※	10	健康・福祉・医療など、高齢社会の課題をテーマにした学習と学級生同士の交流を深めるための軽スポーツやものづくり。
生き生きクッキング講座	5	料理経験が浅い男性（主に高齢者）の健康や栄養面を考えながら、1人でも簡単に作れる料理を楽しく学び、会食を通して交流を深める。
ふくた健康教室	4	発酵食品を摂取する効用について学習する。また、人間の持つ免疫力に注目し、発酵食品との関係などに注目し実施する。
富来田市民講座 「終活について」	2	日常生活ではなかなか考えにくい“終活行動”の知識を学び元気なうちに事前に備え、繋げる機会とする。
オトナの料理教室	2	季節料理にちなんだ料理の創作を通し、地域の異年齢の交流を深める。
オトナのガーデニング教室	3	植物の癒しを感じながら、地域内の幅広い世代の交流を推進する。
利用者懇談会	1	公民館活動と使用上の留意点などの説明と有料化の説明及び意見交流。
公民館だより発行事業	12	富来田公民館だよりの各地区全戸配布による公民館情報等の提供（富来田公民館だより）その他に、小中学校等へも配布。
図書貸出事業	通年	図書の貸出・整理、リクエストの受付、各種資料の提供。月1回の図書館職員による受付業務。
地域活動支援事業	通年	区長会、地区社会福祉協議会（敬老のつどい）、富来田ふれあいの会、フレンドスポーツ倶楽部、武田川コスモスロードの会、元旦マラソン大会実行委員会など、地域で活動する団体・組織の求めや必要に応じた助言・援助。
富来田地区市民文化祭	1	実行委員会主催による第39回富来田地区市民文化祭の開催。反省会を含めた実行委員会を3回開催。
富来田地区青少年健全育成会議	4	地域ぐるみによる青少年健全育成のための取組。理事会、総会、全体会（研修会）、馬来田・富岡地区花いっぱい運動の実施。
富来田地区まちづくり協議会	28	平成27年度に発足した富来田地区まちづくり協議会の事務局として、活動を支援。住民会議や第16回富来田納涼大会、第23回武田川コスモスフェスティバルの実施のほか、富来田・富岡両地区に防犯カメラを設置。

※富岡公民館と共催事業

○ 岩根公民館

事業名	実施回数	事業概要
YOU 遊 イングリッシュ (サタデースクール事業)	4	小学3年から6年の子どもたちが、会話を通して英語に親しむとともに、異年代間の交流を図る。
子どもサイエンス教室 (サタデースクール事業)	1	身のまわりにあるものを利用した簡単な実験を通して、科学の楽しさを知る機会を提供する。
子どもなんでも体験教室 (サタデースクール事業)	5	多様な体験（凧づくり・工芸・料理）を通して、物ごとへの関心を高める。

岩根つくし家庭教育学級	13	小中学生を子どもに持つ親を対象に、家庭教育の役割等、子どもの心と身体について学習し、子育てを支えあう仲間づくりの機会とする。
岩根すぎな家庭教育学級	16	高校生以上の思春期の子どもを持つ親を対象に、子どもとの関わり方を学びながら、子育てを支えあう仲間づくりを目指す。
岩根公民館ハイキング事業	1	岩根東地区住民の健康増進と、住民同士の交流を図る。
上生菓子作り体験教室	1	和菓子作りの基礎を学ぶとともに地域住民同士の交流を図る。
いわねうたごえ喫茶	10	入れたての珈琲を飲みながら歌を歌うことで地域住民の交流を図る。
岩根パソコン教室	6	パソコン入門者を対象に、パソコンの基本的な使い方を学び、実生活に役立つ技術を習得することで、趣味を広げ生活を豊かにするの一助とする。
岩根健康学習会	10	健康と病気予防の大切さを学び元気に過ごす知恵を体得する。話し合い学習を通して、健康を支え合う仲間づくりを進める。健康推進課と共催事業。
岩根市民講座	2	福祉や防犯、防災等、身近な地域課題を取り上げ、話し合い学習を中心に地域コミュニティのあり方を考える。あわせて地域住民のつながりを図る。
岩根郷土史講座	10	郷土の歴史を学び、ふるさとの再発見を通して、郷土を愛する心を育てる。
岩根陶芸教室	4	陶芸の基礎を学ぶとともに、地域内の住民同士で交流を行い親睦を深める。
岩根ほがらか高齢者教室	10	高齢者の生きがいづくり、仲間づくりを図るとともに、現代社会の理解を促進し、自分自身が為すべき事柄を考える。
利用者懇談会	2	公民館活動への理解を深めるとともに、利用者相互の交流を図り、もって公民館活動の推進を図る。
公民館報発行事業	12	地域の生涯学習、公民館活動、地域情報を発信し、地域内の社会教育及び公民館活動の振興を図る。毎月1回の定期発行、全戸配布を行う。
サークル連絡協議会研修会 (共催：岩根公民館サークル連絡協議会)	1	公民館を利用するサークルで組織された連絡協議会の研修を、公民館と協働事業として実施。
第61回岩根東地区文化祭 (共催：同実行委員会)	1	実行委員会や各種部会活動を通し、日頃の公民館活動の成果を発表するとともに、地域文化の振興と地域住民の交流を図る。
青少年育成岩根東地区住民会議 (事務局)	5	青少年健全育成に関わる団体相互の連絡調整を図るため定期的に会議を開催し、地区内の青少年健全育成の機運を高める。中学生を対象に「地域の先輩に学ぶ」を開催。
いきいき子ども地域促進事業 (事務局)	1	青少年育成岩根東地区住民会議とともに、岩根中学校生徒全員による、夏の夜に20kmを歩く「ナイトウォーク」を実施し、地域の人たちと交流を図る。
岩根公民館運営協力委員会 (事務局)	4	効果的な事業運営と住民主体の公民館活動を図るため、地域住民からの助言、協力を得る。
岩根東地区まちづくり協議会 (事務局)	8	地域における諸課題に対し、地域各団体が連携を取り解決していく。今年度はいわねEASTふれあい祭り・防災対策事業・あいさつ運動・コミュニティカフェ事業を実施。
図書貸出事業	通年	市立図書館の協力支援のもとに、地区住民の読書活動の普及促進を図る。

○ 鎌足公民館

事業名	実施回数	事業概要
子ども体験事業 (サタデースクール事業)	6	夏・冬休みを利用して、親子の交流と地域文化の継承を目的に実施する。
鎌足体験隊	9	鎌足の豊かな自然を生かした外遊びを地域のボランティアの協力で、多くの子どもたちと共にする機会を作る。
どんぐり山の親子くらぶ	22	親としての心構えや子供への接し方、しつけ等子育てに関する幅広い知識や知恵を学びながら、母親同士の交流、情報交換を図る。
P T Aサマーキャンプ (共催)	1	地域・家庭・学校が協力し、子どもの自主性を育むキャンプを実施する。
鎌足むかし発見講座	22	地区住民が中心となって地区内の歴史・民俗資料を発掘・記録し、調査する。
身近なものから環境を考える講座	8	普段から接している身近なものから、住環境や世界的な環境を考える。
伝統ほうき作り研究	12	原材料を栽培し、千葉県唯一のほうき職人から、途絶えつつある伝統技術を学び、地域の活性化につなげる。
東洋医学から読み解く私たちの健康	5	健康を維持するための様々な視点を学ぶ。
野山歩き隊	3	木更津市内外の里山を歩き、歴史・自然に親しみ、野外活動のノウハウを身に付けるとともに自然保護精神を養う。

鎌足ふるさとたずね歩き (共催：鎌足ふるさとかるた会)	1	鎌足内外の方に、鎌足地区の歴史を紹介し、郷土愛を深める。
鎌足桜学級	11	健康増進や趣味の充実の為に学び生きがいづくりに資するとともに、地域の高齢者・多世代の交流の機会とする。
鎌足公民館利用者懇談会	1	鎌足公民館を利用する地域団体関係者・利用サークル代表者の情報交換、交流を図る。
鎌足地区凧作り・凧揚げ大会	1	鎌足地域で凧づくり・凧揚げ大会を通じて、世代を超えた地域住民の交流の場とする。
鎌足公民館運営協力委員会	1	公民館活動への理解を深めると共に、助言・協力を得る。
第39回鎌足地区文化祭 (事務局)	1	地域諸団体・サークル等の発表・交流を通し豊かな地域づくりの一助とする。
館報発行事業	12	公民館と地域住民を結び公民館活動への理解を深め、生涯学習機会の情報を提供する。
図書貸与事業	通年	地域住民の読書活動の推進を図る。
鎌足地区青少年育成住民会議 (事務局)	2	地域ぐるみで青少年の健全育成・地域の子育て環境の醸成に寄与する。
鎌足地区まちづくり協議会 (事務局)	通年	地域における諸課題に対し、地域住民及び各団体が連携を取り解決していく。

○ 金田公民館

事業名	実施回数	事業概要
金田むつみ教室	11	高齢者の学習と生きがい・仲間づくり（文化財めぐりなどの移動教室、自立支援体操、新春寄席他）
なかよし倶楽部	23	幼児期の子どもの持つ母親と子どもの交流と情報交換。（本の読み聞かせ、消防署見学、リトミック、健康学習会、ベビーマッサージ他）
浜っ子なかよしクラブ	5	小中学生の子どもの持つ母親の子育てに関する学習と相互交流。
やすらぎの珈琲講座	4	珈琲の知識や魅力をととして学習意欲を高め、人的交流を広める。
金田ガッツリ歩き隊	4	千葉県内の林道や遊歩道を中心に歩き健康増進と仲間づくりを促す。
金田ヘルシークラブ	1	太巻き寿司
さよなら金田公民館ミニイベント	1	今年度廃館となる公民館へのお別れイベント。
家庭教育推進講演会	1	金田小学校就学前の全保護者を対象に家庭教育についての認識を高める。
親子生け花教室	8	親子で「いけばな」体験をととして、日本伝統文化への意識を促進させる。
かねだネイチャースクール	9	児童の「生きる力」を育むために各種体験事業を実施。
金田マザーズカフェ	通年	子育て中の保護者の悩みなどを公民館職員と雑談をしながら解決策を探る。
男性エクササイズ	4	相続についての基礎知識を身につけ、豊かな家庭環境づくりの一助にする。
お飾りづくり講座	1	お飾りづくりを通して、地域の伝統文化を学ぶ。
第2回金田地区通学合宿	1	公民館に宿泊（2泊3日）し、共同生活をしながら学校へ通うことにより、子どもたちの自主性と協調性、社会性を育むとともに、地域住民とのふれあいを通して、世代間の絆を深める機会とする。
第42回金田地区文化祭	1	公民館で活動するサークルや子どもたち等の作品展示、各種団体による模擬店・イベントを通じた地域の交流。
公民館だより「かねだ」	12	公民館活動や地域情報の提供、地域とのコミュニケーション手段。
公民館運営協力委員会	2	住民の声を公民館運営に反映し、公民館活動への理解と協力を得るための地域の諸団体やサークルの代表等による会議。
利用者交流会	2	公民館の使用・活動等に関する利用サークル・団体との意見交換を実施。
金田地区住民会議 (事務局)	5	青少年の健全育成に資する関係団体等の研修、いきいき子ども地域活動促進事業（通学合宿）
金田まちづくり協議会 (事務局)	13	地域の様々な課題を検討し、その対策を講じる（コミュニティーカフェの運営、防災訓練の実施）
図書貸出事業	通年	図書の利用促進と育児中の母親に対する読み聞かせの勧め。

○ 中郷公民館

事業名	実施回数	事業概要
みのり学級（高齢者教室）	9	健康増進や趣味の充実の為に学び生きがいづくりに資するとともに、地域の交流の機会とする。
中郷思春期家庭教育学級 （中郷けやき思春期学級）	8	思春期の子どもを持つ親を対象として、家庭教育のあり方を学習し、子育てを通して子どもの理解や親のあり方について考える。
中郷幼児家庭教育学級 （中郷どれみふあキッズ）	9	乳幼児期の子育てに関する学習や親子活動を通して、同じ世代の子どもを持つ親同士の交流・仲間づくりに寄与する。
中郷親おやcafé	8	子どもの自己肯定感を高めるべく家庭教育のあり方を学習し、こどもの気持ちに寄り添う言葉かけについて学びあう。
中郷ウォーキング教室	4	住民の健康増進に寄与するとともに、生涯スポーツの普及・推進を図る。
中郷梨っ子くらぶ	13	学校を会場に、地域のこどもの居場所作りに寄与すべく様々な体験学習を行う。
中郷こども教室	7	物作り等さまざまな体験を通して、地域の大人や公民館サークルとの交流を図るとともに、異学年同士による仲間作りをする。
公民館だより発行	12	公民館事業を中心に生涯学習情報を提供するとともに、身近な地域の話題等を取り上げ、地域に対して広く情報を発信する。
中郷地区文化祭 （文化祭実行委員会・公民館共催）	1	公民館利用サークル等各種団体を中心に、活動成果の発表や様々なイベント等を通じて、利用者相互や地域との交流を広げ深める場とする。
中GO!探検オリエンテーリング大会 主催：中郷青少年育成会議（事務局）	1	地域内の諸団体の協力の下、地域内の史跡等を巡るスタンプラリーを行い、地域ぐるみで青少年健全育成を進める一助とする。
中郷ふれあい夏まつり 主催：中郷青少年育成会議（事務局）	1	中郷地区全体の住民がともにふれあい、楽しめるイベントを実施、地域住民の世代間交流を推進する。（今年度は台風のため急遽中止となった）
中郷公民館運営協力委員会 （事務局）	2	住民の声を公民館運営に反映し、公民館活動への理解と協力を得るための地域の諸団体やサークルの代表等による会議。
中郷地区振興対策協議会 （事務局）	5	中郷地区の地域振興及び地域の活性化に寄与するため、地域諸団体等で構成されている組織。
中郷青少年育成会議（事務局）	通年	地域の青少年育成関係団体や教育機関相互の情報交換や中GO!探検オリエンテーリング大会等の開催を通じて、青少年の健全育成を推進する。
中郷中学校閉校記念事業実行委員会 （事務局）	通年	今年度末の中郷中学校閉校にむけて、地域諸団体及び学校関係団体にて組織された組織。記念式典、記念誌、記念碑等作成に取組み、歴史に残すものとする。
中郷地区小櫃川さくら祭り実行委員会 （事務局）	6	中郷の地域振興のために開催している、春の風物詩ともなっている中郷地区さくらまつりを支えていくための地域諸団体等で構成された組織。
ロビー展示事業	6	定期利用サークルの活動の様子を展示し、情報交換と相互理解を図る場とする。
図書の貸し出し	通年	図書の利用促進。

○ 富岡公民館

事業名	実施回数	事業概要
ワクワク子どもものづくり教室※ （サタデースクール事業）	2	クリスマスリース・お飾りづくりを体験しながら世代間の絆を深める。
ワクワク子ども自然観察・体験教室※ （サタデースクール事業）	4	自然観察や天体観測などを通して、地域の自然との共生やその大切さについて学ぶ。
ワクワク子ども陶芸教室※ （サタデースクール事業）	6	陶芸に関する基礎知識を習得し、玉づくり、板作り、ひも作りによる作品作りを行う。
子どもクッキング教室※ （サタデースクール事業）	3	料理を通して、自ら作る喜びを体験学習するとともに子ども同士の交流を深める。
生き生き子ども地域活動促進事業	1	地域ぐるみで青少年健全育成に関する事業を展開し、もって地域住民の親睦及び連携を深める。
陶芸教室	9	陶芸の知識や技術の習得並びに作陶を通し、地域文化の向上を図るとともに、参加者の親睦を図る。
富来田みどり学級※ （高齢者学級）	10	健康・福祉・医療など、高齢社会の課題をテーマにした学習と学級生同士の交流を深めるための軽スポーツやものづくり。
公民館利用者合同移動研修会	1	地区外での研修活動を通して、地域文化を再認識するとともに、地域の持つ諸課題について、その解決の手段と方法を皆で考える。
利用団体代表者会議	1	公民館の利用方法やマナーに対する共通認識を再確認し、より円滑な公民館利用と利用者相互の連携を図る。
富岡地区文化祭	1	公民館を利用する各団体の作品展示や郷土芸能・文化の発表を通して、地域住民の交流を図る。

富岡公民館運営協力委員会	1	公民館活動への理解と助言及び協力を得ながら、公民館事業の発展を図る。
公民館だより発行事業	1	文化祭のイベント及び展示等の内容周知に特化して発行。

※富来田公民館と共催事業

○ 文京公民館

事業名	実施回数	事業概要
にこにこルーム	18	乳児を持つ保護者を対象に、親子遊びや保育士の話聞く等の活動を通して、参加者同士の交流を図るとともに、子育て支援や仲間作りを促進する。
家庭教育学級カモミール	10	木更津第二小学校・請西小学校通学の児童を持つ保護者を対象に、家庭教育の役割について学び、親同士の交流を図りながら、子育てに関する諸問題をともに考える。
文京ふれあい学級	10	65歳以上の高齢者を対象に、講義や体操、移動教室等を通して、健康維持を中心とした学習等を行う。
ふるさと知ろう人語隊	8	郷土に関心をもっている方々が、様々な座談会を通して学び、今までの講義を聴講するスタイルから定説にこだわらず自由に意見を交換できる座談会運営により、自ら学んだことや考えを友人、地域、家族等に気軽に語れるようになることを促し、雑学を通して家族や地域等の絆づくりに役立つ機会を提供する。
古文書講座	23	江戸時代の地方文書（じかたもんじょ）を中心に、古文書（こもんじょ）について学習し、先人が築いた文化を学ぶ。サークル化を視野に入れた活動を行う。
初心者のためのワンデイハイク	3	ハイキングを通じて地域住民のコミュニケーションの向上、健康増進を図る。
健康「インボディ講座」	7	健康増進のための施設生き生き館を利用し、インボディチェック結果を参考に必要な運動を考え、また栄養士による食事学び、運動と食事の習慣付けのため週間メニューを作成し10年後も現状維持の健康を保つ習慣を考える。
チャイルドと野山歩き隊 (地域事業・サタデースクール事業)	4	地域の子どもと地域の大人が出会い、懇親や協力、様々な事象をともに学び、地域の絆を深めることによって、地域の安全安心も高められる環境づくりの一助となるよう努め、また子ども達には、自分自身で地域の人と関わりながらチャレンジする精神を培う機会とする。
文京公民館チャイルドボランティア (サタデースクール事業)	6	子どもたちが様々なボランティア活動することによって、地域や社会にはボランティア活動によって支えられている現状を学ぶとともに、私たち自身、安心安全に暮らせる社会もボランティア活動がいかに必要であるかを学ぶ機会とする。
文京公民館体験教室 (サタデースクール事業)	6	様々な工作などの体験活動を通して、文化や技量の創作力を高めるとともに、子ども同士、家庭や地域における親睦を深める機会を提供する。
地域づくり講座「未来思考船」2 君に伝えたい夢がある	6	話し合う場「座談会」を提供し、夢のあるふるさとを語りながら、わたしたちのできること、未来に向けてわたしたちが行うべきことなど話し合う機会を提供する。
第17回文京公民館まつり	1	公民館を利用するサークル・団体・地域住民が一堂に集い、日頃の学習成果等を発表し、地域文化の交流を図る。
木更津市立木更津第二中学校区 青少年健全育成住民会議	4	地域内の青少年健全育成を促進する。第14回木更津第二中学校区通学合宿・ごみ拾い活動・青少年に関する講和等を開催し、かつ青少年懇談会を実施し、地区内の情報交換と交流を深める。
木二中学区学社連携会議	2	学校と公民館との連携を深める為、年2回ほどの会議を実施し、共通理解を図り、行事等の調整を行う。
利用者懇談会	3	公民館に対する理解や有料化に伴う理解を深め、公民館利用の円滑化とサークル活動の活性化を図る。
公民館だより発行事業	6	公民館事業の案内、地域情報の発信。

○ 八幡台公民館

事業名	実施回数	事業概要
八幡台かえで学級	10	社会の変化や健康等についての学習を通して、高齢者の生きがいの増進と健康の維持、仲間づくり、地域づくりを図る。
めばえ家庭教育学級及びひばりキッズ	12	親子遊び、母親同士の交流を通して、仲間づくりを行うとともに、育児に関する知識を学ぶことにより、より良い子育ての手助けを行う。
ひばり家庭教育学級	11	主に小学生期の児童を持つ親を対象として、家庭教育のあり方を学習し、子育てを通して子どもの理解や親のあり方について考える。

思春期家庭教育学級 (波岡公民館共催事業)	10	思春期の子どもを持つ親を対象として、家庭教育のあり方を学習し、子育てを通して子どもの理解や親のあり方について考える。
八幡台郷土史講座	10	郷土の歴史・民俗・文化を学習し、郷土への理解と愛着を深め、郷土愛を育てる。
波岡・八幡台歴史探訪ハイキング	1	波岡地区に墜落したB29の乗組員を地元住民が慰霊した場所を訪問し、地域の歴史を学ぶ。
ワンデイハイキング	2	身近な自然にふれる機会を提供し、環境保全の意識を高めるとともに、健康の増進と地域住民の交流・親睦を図る。
いつまでも元気！ 健康講座	5	現代的課題の一つである「健康」について、高血圧を観点に取り上げ、学習し、市民の健康増進を図る。
ほたる鑑賞のタベ (サタデースクール事業)	1	地元上烏田に発生するほたるの鑑賞を通して地域の自然環境を理解する機会とする。また、併せて世代間の交流を図る。
お飾りづくり教室 (サタデースクール事業)	1	地元上烏田に伝わる正月のおかざりづくりを通じて、地域の伝統文化を理解するとともに世代間の交流を図る場とする。
八幡台サタデースクール夏休み 体験事業(サタデースクール事業)	3	夏休みを利用して、子どもの体験機会の拡充を図るとともに、青少年の健全な育成に資する。また、地域で活動する団体等を講師にすることにより、異世代交流を図る。
親子ハゼ釣り教室 (サタデースクール事業)	1	地元の自然資源である木更津港を活用して、子どもの体験機会の拡充を図るとともに、地域の大人と子どもたちとの交流を図る。
きつずシアター (サタデースクール事業)	1	夏休みを利用して映画会を開催し、子どもの豊かな情操を培い、青少年の健全育成に資する。
遊び塾なみ・はち (サタデースクール事業)	5	波岡小学校の児童と一緒に、自然体験や制作体験を地元講師に教わりながら行うことにより、異学年交流、異年齢交流を図る。
親子で防災教室！（共催事業）	2	小学生とその保護者世帯が多い地域であることに着目し、地域と協力し合いながら防災について考える。
八幡台公民館リニューアル記念 第37回上烏田・八幡台・羽鳥野 地区ミニ文化祭(共催事業)	1	地域の団体と公民館利用サークルが、活動の成果を発表することにより、地域の文化と教育力の向上を行う。
波岡中学校区青少年育成連絡会議	5	地域の青少年育成に関わる団体の連絡調整と啓蒙活動を行うことにより、青少年健全育成活動を推進する。
図書貸出事業	随時	図書のリクエストや貸し出し業務を行い、読書活動の普及と推進を行う。
八幡台公民館だより発行	11	公民館活動を広く周知するとともに、地域の情報紙として機能するよう活用を図る。
生き生き子ども地域活動促進事業 (共催事業)	2	地域の子どもたちの体験機会の拡充と地域の交流を深める。
波岡地区学校・公民館連絡会	1	波岡中学校区の児童、生徒にかかわる情報の交換。
サークル支援事業	随時	主に館を利用する団体・サークルが八幡台公民館の休館中も別会場等で円滑な運営をするために、活動の調整等で支援する。
八幡台小ひばりチャレンジ広場 (協力事業)	随時	八幡台小児童の放課後の居場所づくり事業として保護者や地域が主体となる運営委員会により実施。
八幡台小学校区まちづくり協議会	7	地域の身近な課題に、自主的かつ主体的に対処し、安全で安心することができる豊かで住みよい魅力ある地域づくりの推進に寄与する。

※八幡台公民館は耐震補強改修工事に伴い、平成30年7月1日～平成31年2月4日まで全館休館となっている。

○ 東清公民館

事業名	実施回数	事業概要
夏のこどもワクワク教室 (サタデースクール事業)	10	夏休み前後に、創作活動やさまざまな体験的な学習を実施し、異年齢児童や地域の大人との交流を図り、豊かな情操を育む一助とする。（親とこどものための歌舞伎鑑賞講座、ポスター教室・映画上映会・折り紙教室・クッキング教室・将棋教室）
冬のこどもワクワク教室 (サタデースクール事業)	2	冬休みに、創作活動や体験的な学習を実施し、異年齢児童や地域の大人との交流を図り、豊かな情操を育む一助とする。（書初め教室・おかざりづくり教室）
春のこどもワクワク教室 (サタデースクール事業)	2	春休みに、創作活動や体験的な学習を実施し、異年齢児童や地域の大人との交流を図り、豊かな情操を育む一助とする。（クッキング教室・春のたんけん遠足）
小中学生のママ講座	10	小中学生の子どもを持つ親の子育てに関する学習や情報交換及び、地域での母親ネットワークづくりを図る。
野菜作りであそぼ (乳幼児の親のための家庭教育学級)	9	野菜作りを通じて、乳幼児期の子どもを持つ親の子育てに関する学習を行い、情報交換及び子育てネットワークづくりを図る。

ふるさと歴史講座	9	東清川地区および、広くふるさと千葉の歴史を学ぶことにより、郷土愛を深め、新旧住民相互の交流の機会とする。
とうせい認知症予防教室 (脳若編・運動編・拡大講演会)	8	地域課題のひとつとして、「認知症の予防」についてスポットをあてている。頭の体操に重点をおいた「脳若編」、体の運動機能を維持することに重点を置いた「運動編」、さらに、すべての年代に参加の呼びかけを行う「拡大後援会」を企画し、さまざまな角度から認知症予防について取り上げている。
ワンデーハイク	3	地域住民の健康増進、及び自然・環境への理解を深めるとともに、住民同士の交流を図る。
東清さわやか学級 (高齢者学級)	9	高齢者の生きがいづくりと健康づくりを促進するとともに、地域の高齢者相互の仲間づくりの機会とする。
芸術鑑賞講座	3	すぐれた芸術を鑑賞する機会を通じて、住民の交流の機会とする。 1回目 芸能(落語)鑑賞、2回目 改組新日展鑑賞、3回目 絵画鑑賞
利用者懇談会	1	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とする。
公民館だより「かけはし」発行	12	地域の情報や公民館活動・生活情報などを幅広く住民に発信し、住民と公民館との「かけはし」となることを目指す。
図書貸出事業	通年	市立図書館と連携し、地域における読書活動の普及を図る。
第37回東清川地区文化祭	1	地域文化活動の発表の機会として、また地域住民のふれあい・交流の場として、展示・芸能発表・各種イベント・模擬店等を開催する。
清川中学区青少年育成住民会議 (事務局)	6	地域ぐるみで青少年の健全育成を推進するため会員相互の連絡調整を図る。「生き生き子ども地域活動促進事業」および、「教育フォーラム」、「全体会議」、「環境浄化作業」、「夜間パトロール」を実施。
生き生き子ども地域活動促進事業 (事務局)	6	地域青少年育成団体の力を結集し「こどもチャレンジ大会」を実施するとともに、小中学校での「花いっぱい運動」を通じて、地域の大人と子どもとの世代間交流を促進する。
東清公民館運営協力委員会 (事務局)	2	住民主体の公民館活動を進めるための、市政協力員やサークル代表者からなる組織で、文化祭実行委員会の母体となる。会議を通じて公民館活動への理解を促進する。

○ 清見台公民館

事業名	実施回数	事業概要
キッズわくわくチャレンジ教室	7	子どもたちや親子によるお飾り作りやクッキング、科学工作や日本文化の体験を通して、異年齢どうしの交流や家族のふれあい・絆を深める。
ふれあいボードゲーム倶楽部	2	家族など多人数で遊べるボードゲームを体験することで、世代を超えた交流を図り、絆を深める。
子育て広場「このゆびとまれ」	22	乳幼児を持つ保護者が集い、子ども同士、親同士が交流する機会とする。
たんぽぽ家庭教育学級	13	子育てに関する情報交換や各種体験活動を通して、家庭教育について学び、母親どうしの仲間作りを促す。
ふるさと講座	9	郷土の歴史に関する知識や見聞を深め、学習成果を次世代に伝える。
いきいき血管講座	5	血管の働きや動脈硬化の仕組みと予防(手軽にできる運動など)について学習し、健康に対する意識を高める。
ぶらり地域再発見ウォーキング	3	ウォーキングを通して、普段は気づかない地域の魅力を再発見する機会とする。併せて新たな利用者層を開拓するための一助とする。
防災講座	4	いつ起きるか予想のできない大災害に備え、自分や家族の命を守るために、日ごろから実践すべき内容について学習し、行動を促すとともに、町内会や自主防災組織を基盤とした取組の推進に向けて、地域全体の防災意識を高める。
清見台わいわい広場～地域のボランティアを囲んでの楽しいひととき～	3	住み慣れた地域等でボランティア活動している方々の生の声を聴きながら、誰でもが気軽に参加してふれあえる場を設け、自分にもできることを考えたり、地域でボランティア活動の一步を踏み出すためのきっかけづくりとする。
はつらつ学級	9	高齢者を取り巻く課題について理解を深めるとともに、健康づくりや仲間づくりを図り、生きがいを高めるための一助とする。併せて、地域活動への参加を促す。
第25回清見台音楽祭(事務局)	1	清見台公民館を利用している音楽団体の年に一度の発表・交流の場として、相互の親睦を図るとともに、地域文化の振興に資する。
第18回通学合宿 「公民館から学校へ通おうよ!」	1	公民館に宿泊(3泊4日)し、共同生活をしながら学校へ通うことにより、子どもたちの自主性と協調性、社会性を育むとともに、ボランティアや住民とのふれあいを通して、世代間の絆を深める機会とする。
スマイルフェスタ2018	1	太田中学生徒が中心となり、サークル等地域の大人も協力して子どもイベントに取り組むことで、世代を超えた交流の場とする。

清見台地区第2・3回房総かるた大会	1	日本の伝統文化のカルタに触れながら、地域の子どもの交流と健全育成を図る。また、各子ども会等が連携して取り組むことにより、子ども会活動の活性化を促す。
第3・5回清見台地区文化祭（事務局）	1	公民館及び体育館で活動するサークル・団体や地域で活動する個人の発表・交流の機会とし、清見台地区の文化の向上と住民相互の交流を図る。
第2回清川地区なわとび大会	1	なわとび競技を通じて、青少年の健全育成を図る。また、清川地区（6小学校区）の青少年相談員が連携して取り組むことにより、地域を超えた連帯意識を高める機会とする。
公民館だより発行事業	9	公民館事業や、地域の情報等を住民に広く提供することにより、公民館活動をPRし、公民館と地域とのコミュニケーションを深める。
図書ロービーミニギャラリー展	通年	清見台公民館を利用している団体の作品や活動紹介の場を提供することにより、利用者どうしのコミュニケーションや地域に対するPRを促す。
太田中学校区学社連携担当者会議（事務局）	3	太田中学校区内の小中学校・公民館が情報・意見交換を行うことにより、相互の連絡・調整と交流を図る。
清見台公民館関係団体連絡協議会（事務局）	8	清見台公民館・附属体育館利用団体及び地域関係団体相互の連絡・連携を密に図りながら、公民館に対する理解と協力を促し、公民館活動の充実を図る。
青少年育成太田中学区住民会議（事務局）	5	地域の青少年に関係する諸団体相互の連絡・調整を図るとともに、環境浄化活動や生き生き子ども地域活動等を通して、青少年の健全育成に資する。
図書貸与事業	通年	図書館から配本された本の貸し出しや閲覧を通して、地域住民の読書活動を推進する。
ホームページ	通年	ホームページを通じて、公民館事業や地域の情報等を広く市民に提供することにより、公民館活動をPRする。

○ 畑沢公民館

事業名	実施回数	事業概要
はたざわこども公民館（サタデースクール事業）	10	畑沢公民館サークル連絡協議会の協力を仰ぎ、子どもたちが体験活動を通して、地域の大人と交流を図ることを目的に実施。30年度はこどもチャレンジ教室（全4回）・こども卓球クラブ（全6回）を実施。
夏休み子ども映画会（サタデースクール事業）	2	映画鑑賞を通じて、子どもたちに芸術に親しむ場を与える。
子育てフリースペース	12	0～2歳の子どもとその保護者のためのサロン。自由参加。情報交換、ネットワークづくりの機会とする。
そよかぜ家庭教育学級	10	小中学生の子どもを持つ母親同士のネットワークづくりと、子育て、家庭教育に関する学習。
おやじ専科	11	地域の男性同士のネットワークづくりと生活課題、地域課題等の学習。
地域ボランティア入門講座（新規）	7	住みよい地域を住民自らつくるためのボランティアについて、さまざまな視点から学ぶ講座。
はたざわ歴史講座	11	郷土の歴史を学ぶとともに、地域住民の交流の機会とする。
野山歩きのつどい	3	野山歩きを通じて身近な自然に親しむと共に地域住民の交流を図る。
地域まるごと健康カレッジ	11	健康学習や実技・実習を通じて、受講生自身の健康増進に留まらず、将来的に地域ぐるみで健康長寿を促進するための方策を考える講座。
畑沢むつみ学級	11	高齢者を取り巻く様々な課題を学習するとともに、高齢者の生きがい・仲間づくり・健康づくりを図る。
利用者懇談会	2	定期利用サークルに向けて、公民館利用についての共通理解を図る。
公民館先行予約調整会議	1	自治会・地区社協・民児協を対象とした、公民館使用の先行予約の調整会議。一般のサークル活動に先立ち、公益性の高い自治会活動等の使用を優先的に予約し、自治会間の競合が発生した場合、話し合いで調整する。
第3・5回畑沢公民館地区文化祭	1	公民館の利用団体をはじめ地域の文化活動の発表と交流を通じて豊かな地域づくりの一助とする。
公民館だより発行事業	11	公民館事業や地域の情報を提供する。
生き生き子ども地域活動促進事業（事務局）	会議4回 行事1回	小中学生で組織する畑沢ハートフル王国実行委員会が子どもたちのイベントを企画・運営。30年度は、「クリーン作戦&ハタナミキッズニア」を実施。
畑沢中学校区青少年健全育成連絡会議（事務局）	会議4回 行事1回	地域の青少年健全育成のための情報交換を行うと共に、生き生き子ども地域活動促進事業を推進する。また「子どもたちのための地域フォーラム」を実施。
畑沢公民館運営協力委員会（事務局）	2	公民館と地区住民とのパイプ役として公民館運営への助言や協力を得る。

図書貸出事業	通年	地域の子どもからお年寄りまでを対象に読書活動の普及を図る。
--------	----	-------------------------------

○ 岩根西公民館

事業名	実施回数	事業概要
レッツピンポン！子ども卓球教室	6	卓球を通じて、両親や先生以外の大人との接触機会・交流体験を増加させるとともに、卓球の魅力を伝え、青少年の健全育成を図る。
いきいき子どもクッキング	4	料理体験を通じて、栄養・健康に対する知識や男女共同参画意識を高めるとともに青少年の健全育成を図る。
めばえ学級	16	親子あそびを中心に幼児と母親のふれあいの場を提供することで、子育て支援の一助とするとともに地域の母親の交流を図る。
なのはな家庭教育学級	13	小中学生期の子どもの子育てや家庭教育について学習するとともに、子育てを通じた地域の母親の交流を図る。（保育）
健康講座	5	生活習慣病をはじめ、ジャンルを問わず様々なテーマから取り組む。
コーヒブレイク&ふまねっと運動講座	6	来たる高齢化社会に向け、主に中高年の世代を対象に、足腰の鍛錬や認知機能の向上を目的として取り組むとともに、地域交流の場を目指す。
誰でも簡単！？3B体操体験講座	4	来たる高齢化社会に向け、主に中高年の世代を対象に、足腰の鍛錬や認知機能の向上を目的として取り組むとともに、地域交流の場を目指す。
違いのわかる大人の珈琲講座 ～カフェ運営編～	5	珈琲に関する知識や技術の向上と、岩根西地区のコミュニティカフェの運営のノウハウまで学び、地域交流を図る。
大人の手工芸講座	7	働き盛りの成人層・普段公民館にあまり足の向かない層に向けて実施する。サークル化を目指し、利用サークルの減少傾向に歯止めをかける。
親子いけばな教室	12	日本の伝統文化芸術を若い世代に伝え、親子の交流を促進させる。
野山ハイキング&ウォーキング	3	初級レベルのコースを選択し、房総のハイキングを通じて身近な自然にふれる機会を提供するとともに、健康の増進と地域住民の交流を図る。
ふれあい学級	10	健康増進や現代社会を理解するための学習を通して、生きがいつくりの一助とするとともに社会参加の促進を図る。
岩根西地区まちづくり協議会	22	地域課題を取上げて課題解決について取り組みを推進していく。今年度は、岩根西地区津波避難訓練を実施した。
利用者懇談会	2	公民館の目的や役割、利用方法等について理解を深める場とするとともに、利用団体相互の交流・情報交換の場とする。
岩根西地区文化祭	1	地域の諸団体や公民館利用サークルが連携して取り組むことで、地域のふれあいの場・文化活動の発表と交流の場とする。
公民館だよりの発行	11	主催事業やサークル活動等の生涯学習情報を提供するとともに、地域の話題や情報を取り上げることで地域づくりの一助とする。
図書貸与事業	通年	より身近な“図書館”として地域住民の読書活動の普及促進を図る。
岩根西公民館運営協力委員会	3	地区文化祭の実施に当たって中核的な活動を担うほか、公民館事業全般に対して助言・支援・協力する。
青少年育成岩根西地区住民会議	3	地域の青少年育成関係団体や教育機関相互の情報交換や環境浄化活動等を通じて地域ぐるみで青少年の健全育成を推進する。
生き生き子ども地域活動促進活動	4	岩根西地区通学合宿を実施。地域住民と青少年の交流を促進し、地域の教育力を高める。
学社連携連絡会議	2	学区内の小学校、中学校との定期的な情報交換・連絡調整を通じて学校と公民館の連携を強める。

○ 西清川公民館

事業名	実施回数	事業概要
にしきよサタデースクール キッズわくわく体験隊	9	地域の自然を活用した体験学習を行うことで、地域の大人と子どもの交流を図る。
なんでも体験教室	1	有識者の方に協力をいただき、ダンスレッスンをを行い子どもたちの体験学習の機会とする。
正月お飾り作り教室	1	地域の伝統文化の伝承。地域の高齢者の方から「お飾り」作りを学ぶ。
人形劇鑑賞教室～人形劇ウラから ウォッチング～	1	人形劇を通して子どもの情緒的発達を促し、文化的教養を高め、将来の職業を考える一助とする。（共催：祇園小学区青少年育成連絡協議会・三中学区社会福祉協議会・青少年相談員・育成会連合会）
子育ておしゃべりサロン (家庭教育学級)	9	小中学生期の子どものを持つ親を対象として、子どもたちの心身の発達や親子関係について学ぶとともに、親同士の交流を図る機会とする。
西清川歴史学級	7	主に県内の歴史を学び、郷土の歴史への理解と知識を深め、地域住民どうしの交流を図る。
金のすず10周年特別展観覧	1	郷土の歴史への理解と知識を深め、地域住民どうしの交流を図るため金のすず特別展を観覧する。

男の料理教室～基本編～	1	料理の基礎を学び、地域の男性同士の交流を図る。
おとなの学び舎遊歩道	8	中高年を対象に暮らしに根付いた身近な課題や興味を深め、地域での仲間づくりを図る。
ワンデイハイキング	3	身近な自然に触れる機会を提供し、健康の増進と地域住民の交流・親睦を図るとともに、環境保全の意識を高める。
サンデーコンサート～団塊世代に贈る	1	定期利用サークル（ハーモニカ塾・ブルース塾・ウエストピュアシングアウトクラブ・レッドサウンズ）の協力で音楽を楽しみながら、地域住民の交流を図る機会とする。
にしきよ健康講座 血圧なんでも相談室！	4	血圧について学び、健康の増進、健康を維持する為の実技（ウォーキングやランチミーティング）を実践し、地域住民相互の交流を図る。
AED講習会 （西清川まちづくり協議会 共催）	1	AEDの使用手法など、不測の事態への対応の仕方について学ぶ。
防災学習会 高めよう！にしきよ地域の防災行動力！（西清川まちづくり協議会共催）（地域課題）	1	地域住民の防災意識の向上を図るために、災害時にとるべき行動や、日常行っておくべき備えについて学ぶ機会とする。
西清川福寿学級 （高齢者教室）	8	高齢者を取り巻く課題等の学習をするとともに、参加者相互の交流を図り、生きがいがづくりの一助とする。
西清川公民館だより発行	10	公民館活動を広く周知するとともに、地域の情報を提供するべく月1回発行し地域に配布する。
利用者懇談会	1	館を利用する団体・サークルが一堂に会し、公民館利用についての意見交換をし、館の今後の円滑な運営について協議を行う。
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の普及と推進を図る。
第29回西清川地区文化祭 （事務局）	1	学習成果の発表と地域文化活動の発表と地域住民の交流を図る。（三中学区社会福祉協議会 第17回ふれあい会と共催）
スクールアドベンチャーキャンプ 2018（生き生き子ども）	1	デイキャンプを通じて子どもたちの体験学習の拡充と地域の大人たちの連帯を図る。（青少年育成会議と共催）
たこ作り教室 （生き生き子ども）	1	風づくりを通して親子、地域の大人と子どもの交流の機会とする。郷土の民俗文化への理解を深める。（青少年育成会議と共催）
昔遊びのつどい （生き生き子ども）	1	昔遊びを通して地域の子ども同士、大人と子どもの交流、郷土の民俗文化への理解を深める。（青少年育成会議と共催）
西清川地区学社連携会議 （事務局）	1	木更津第三中学校区の祇園小・西清小・木更津第三中・西清川公民館の4機関の職員による情報交換により、事業の円滑な運営を図る。
三中学区青少年育成会議 （事務局）	12	地域の青少年育成に関わる団体の連絡調整と啓発活動を行うことにより、青少年健全育成活動を推進する。
西清川まちづくり協議会 （事務局）	通年	地区における身近な課題に自主的主体的に対処し、安全で安心な地域づくりを推進する。防災に関する施設見学や学習会を開催し、防災に関する意識を高める。防犯パトロールの実施・防犯交通安全のぼり旗・看板等の設置を実施。

※空調設備改修工事のため平成30年7月～平成31年1月休館。

○ 波岡公民館

事業名	実施回数	事業概要
夏休み子ども体験教室 （サタデースクール事業）	3	夏休みを利用して子どもたちの体験学習の機会の拡充を図る。
第13回波岡ホテルウォーク （サタデースクール事業）	1	地域ボランティアの協力によりホテルの観察会を実施し、親子及び地域住民の交流を促進する。
三世代交流お飾り作り教室 （サタデースクール事業）	1	地域の伝統文化を理解し、世代間交流を促進する。
遊び塾「なみはち」 （サタデースクール事業）	5	八幡台公民館との共催事業。野外活動を主とした子どもたちの「遊び」の中から「生きる力」を育むことを目的とする。
波岡子育て学級	18	地区内の乳幼児親子の交流を図るとともに、育児に関する学習や情報交換の場として月2回開催する。
思春期家庭教育学級	10	思春期の子どもの発達や親子のかかわりを学ぶことで、家庭教育の充実を図る。八幡台公民館との共催事業。
波岡郷土史講座	8	郷土の歴史・民俗・文化を学習し、郷土の理解を深める。身近な歴史への興味関心をひく内容とする。
大人のための英会話講座	6	英会話の習得を通して、コミュニケーション能力の向上を図る。
波岡健康講座～血圧は健康のバロメータ	6	血圧について、その仕組みや留意点などを学ぶ。
波岡市民講座～備え人養成講座	5	地域の防災について学習を深め、特に自助、共助の精神を涵養する。

菜の花教室 (高齢者学級)	12	健康や趣味等の学習会を通して、高齢者の生きがいがづくりや地域のコミュニティづくりを推進する。
波岡公民館運営協力委員会 (事務局)	4	公民館と地区住民とのパイプ役として公民館運営への助言や協力を得る。
サークル支援事業	随時	主に公民館を利用する団体・サークルが円滑な運営をする為に共催事業の実施等求めに応じて支援する。
波岡地区学校公民館連絡会	1	波岡中学校区の児童・生徒にかかわる情報の交換。
波岡中学区青少年育成連絡会議 (事務局)	5	地域の青少年育成に関わる団体の連絡調整と啓蒙活動を行うことにより、青少年健全育成活動を推進する。
生き生き子ども地域活動促進事業	2	子どもたちに体験や地域活動の場を提供し、青少年の健全育成を図る。
第26回波岡地区文化祭	1	地域の団体と公民館利用サークルが、活動の成果を発表することにより、地域の文化と教育力の向上を図る。
波岡公民館利用者懇談会	1	公民館の効果的利用の促進と相互の交流を図る。
波岡公民館だより発行	12	地域の情報や公民館活動等の情報を提供する。
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の普及と推進を図る。

○ 桜井公民館

事業名	実施回数	事業概要
桜井PBR工房	1	子ども達の理科学的な関心を高めるために、子どもたちが理科に遊びの要素を見いだせる内容を取り上げる。
桜井将棋倶楽部	7	地域における世代間交流を推進するために、幅広い層の住民にとって親しみやすい題材で交流できる機会を設ける。
星空観察会	8	青少年を中心に広く地区住民にも募集をかけ、気軽に参加できるイベント型の事業として、公民館事業参加へのきっかけ作りとして実施する。
お飾り作り教室	1	青少年とその保護者を対象とした伝統文化の体験事業であり、地域の希望者を同時に参加させることで世代間交流の機会とする。
ファミリーキッチン@桜井	1	子どもの食育と親子活動の推進のために親子料理体験として実施する。
日本伝統文化にふれよう！ 茶道体験教室 (サタデースクール事業)	7	日本の伝統文化である「茶道」の体験学習を通じ、豊かな情操教育を育むとともに異年齢の子ども同士の交流を図る。
こどもまつり実行委員会	14	地域の子どものまちが自ら企画運営するイベントを開催。こどもまつり(文化祭と同時開催)とクリスマス会を実施。会議は12回実施。
夏休み親子映画会	1	人権教育に即した内容を選択した親子の映画会として実施する。
桜井親子家庭教育学級	11	2歳から就学前の子どもとその保護者を対象に、交流と情報交換を図りながら学び合う機会。
思春期家庭教育学級	10	思春期の子どもの子育てに関する様々な課題について学習するとともに、参加者相互の交流・情報交換を図る。
真舟小学校家庭教育学級	10	真舟小学校児童の保護者を対象に、子育てに関する様々な課題について学習するとともに、参加者相互の情報交換・交流を図る。
気になる子どもを持つ親のための講座	2	発達障がいについての正しい知識を得ることで、その発達の困難さへどのような対応ができるかを学習し、参加者相互の情報交換・交流を図る。
桜井公民館コミュニティカフェ	10	発達障がい(気になる)の子どもを持つ保護者や支援者の交流の場。
桜井よもやま話・特別編 オリンピック準備会	1	地域出身の元オリンピック選手を招き、ふるさとに関する話などを交えながら自身がオリンピックに出場するまでを振り返って貰う。
いきいき健康づくりハイキング	3	ハイキングを通じて健康づくりへの意識醸成を図る機会。主に県内の山を歩く。
さくらい健康ウォーキング倶楽部	8	効果的なウォーキングの方法を学ぶとともに桜井公民館を基点とするウォーキングコースマップづくりを実施。
人とつながりものづくり講座	5	「環境と健康な生活について考える」ことを目的に手仕事やリサイクルなど「ecoな暮らし方」を学ぶ。
桜井あしたば学級	10	中高年を取り巻く課題等の学習と生きがいがづくりの機会。
第17回桜井地区文化祭	1	日頃のサークル・団体活動や地域活動の成果を発表するとともに、地域住民相互の交流を図る。
桜井海苔祭り	1	青少年を軸とした事業として実施する。地域住民に親しみ深い題材を呼び水として世代間交流を図るとともに、地域の歴史を体験的に学習する。
二中学区学校・公民館連絡会	2	学校と公民館との連絡・連携を深め、地域の教育力の向上を図る。
木更津第二中学校区 青少年健全育成住民会議	4	関係機関・団体等と連携し、青少年健全育成を推進する。

通学合宿	1	住民会議との共催により「通学合宿」を実施。世代間の交流、地域の教育力の向上を図る。
利用者懇談会	1	サークル・団体等のあり方や利用方法等を協議するとともに、利用者相互の交流を図る。
公民館報「さくら公民館だより」発行	6	学習情報等の提供により公民館活動への理解と推進を図り、地域づくりを促進する。
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の推進と普及を図る。
桜井公民館協力委員会	1	委員会の助言・協力を得、公民館の効果的な管理・運営を図る。

少年自然の家キャンプ場

生活体験・自然体験の機会が乏しくなっている青少年が、豊かな自然の中で心身を鍛錬し、生き生きとした野外活動を体験することによって、集団の中の規律・協働・友愛・奉仕の精神を身につけ、豊かな人間性を育むとともに、市民相互の交流を図る。

○ 施設の概要

1 北キャンプ場

- (1) キャビン 3 (各 8 人程度)
- (2) 炊事場 1 (かまど 10 基・流し)
- (3) 水洗トイレ 1 (男 7・女 4)

※平成 30 年度から一般利用再開

2 西キャンプ場

- (1) テント 7 (各 10 人程度)
- (2) キャビン 3 (各 8 人程度)
- (3) 炊事場 1 (かまど 10 基・流し)
- (4) 水洗トイレ 1 (男 7・女 4)



3 南キャンプ場

- (1) テント持ち込み (100 人程度)
- (2) 水道栓 1

4 その他の施設

- (1) 屋根付き広場 (広さ 138 m² テーブル・長いす 10 卓設置)
- (2) 自由広場 (広さ 1,260 m²、キャンプファイヤー場等)
- (3) シャワー室 (男女別各 3 温水シャワー)
- (4) 管理棟 (事務室・倉庫)
- (5) 駐車場 (普通自動車 48 台・大型バス 2 台)

○ 利用状況 (平成 29 年度)

種 別		件 数	人 数
市 内	子 ども 会	3	4 1 4
	青少年育成団体等	1 0	4 8 5
	青少年相談員	4	1 7 7
	学校	2	3 8
	ボーイ・ガールスカウト	8	1 1 8
	各種団体等	1	8 6
	行政・公民館	8	2 9 4
	個 人	5 4	3 5 2
市 外	青少年育成団体等	0	0
	各種団体等	0	0
	行政・公民館	0	0
	個 人	1 8	1 8 1
合 計		1 0 8	2, 1 4 5

※ 延べ件数・延べ人数による集計 (1 人が 2 泊した場合には 2 人とカウントする)

図 書 館

○ 施設の環境整備

図書館は現在の場所に新館が設置され45年目を迎えた。その間、施設の増築、駐車場の拡張、書庫の電動化、空調設備工事を実施してきた。環境整備にあたり、利用者にとって適正な環境を維持できるよう努めている。

○ 図書館サービス

生涯学習の拠点施設として、図書館資料の収集・保存・整備を行い、閲覧・貸出をはじめ、レファレンスサービス等により市民の図書館利用の増進を図っている。また、図書館ホームページの公開、インターネットを活用した図書の予約・延長サービスの実施、各種データベースの導入など、情報化社会に対応したサービスを行っている。

市内各地域の14公民館に週1回図書を配本し、図書館遠隔地の市民の読書環境の整備・充実に努めるとともに、大活字本の収集やマルチメディアデージー図書の活用により、読書の格差解消に努めている。

○ 読書の普及と支援

学校との連携による総合学習、調べ学習の支援は、学校教諭、読書相談員との連携を密に行い団体貸出を行うほか、子どもの本、学習支援の資料収集を積極的に行っている。また、学校のおはなし会への職員派遣や、教職員研修、中学生の職場体験等の受け入れを行っている。

乳幼児、児童には「おはなし会」を開催し、主催事業である各種講座・講演会を通して読書の普及に努めている。

市内の清和大学図書館、県内市町村図書館、県外図書館、国立国会図書館等と連携して協力体制をとり、資料提供を行っている。

○ 主 催 事 業 (平成29年度)

事 業 名	事 業 内 容	実 施 回 数	参 加 者 数
児 童 文 学 講 座	児童文学関係者による講演	1回	76人
ボランティア講座	音訳教室	1回	15人
図 書 館 お は な し 会	児童の読書習慣の育成・指導	147回	1,673人
保 育 園 お は な し 会	保育園児の読書習慣の育成・指導	144回	3,364人
大人のためのおはなし会	大人を対象とするおはなし会	2回	64人
雑誌リサイクルフェア	雑誌（保存期限切れ）の無償配布	1回	392人
絵 本 講 座	絵本の選び方、おすすめ絵本の紹介	1回	81人
夏 休 み 企 画 工作教室・こわいおはなし会 ・1日図書館員体験	夏休み子ども向け工作教室、季節のおはなし会、図書館の仕事体験	工作教室 2回 おはなし会 2回 図書館員体験 2回	60人 37人 21人
れきおんミニコンサート	国立国会図書館の提供する歴史的音源(れきおん)を利用したコンサート	4回	59人

○ 図書館利用状況の推移

年 度	開館日数	入館者数	館外貸出登録者数		館外貸出 利用者数	館外貸出冊数	
			12歳未満	12歳以上・施設等		児童書	一般書
平成25年度	286	129,530	39,870		96,879	454,227	
			3,477	36,393		138,695	315,532
平成26年度	288	130,617	42,103		93,015	440,956	
			3,415	38,688		147,331	293,625
平成27年度	289	124,747	44,099		91,857	438,303	
			3,401	40,698		136,378	301,925
平成28年度	286	119,082	45,849		88,516	421,437	
			3,240	42,609		131,881	289,556
平成29年度	284	120,666	47,668		87,976	416,427	
			3,178	44,490		132,006	284,421

○ 館外貸出登録者 性別・年齢別内訳 (平成30年3月31日現在)

性別・年齢別	性 別			年 齢 別										
	男 性	女 性	計	0 ～ 6 歳	7 ～ 12 歳	13 ～ 15 歳	16 ～ 18 歳	19 ～ 22 歳	23 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 歳 ～	計
登録者数 (人)	19,004	28,188	47,192	543	2,635	1,853	2,136	3,173	4,534	7,842	8,664	5,029	10,783	47,192
比率(%)	40.3	59.7	100.0	1.2	5.6	3.9	4.5	6.7	9.6	16.6	18.4	10.7	22.8	100.0

※ その他団体登録等(他市町村図書館等含む) : 476 を除く

○ 蔵書冊数の推移

年 度	総 数
平成25年度	338,991
平成26年度	347,256
平成27年度	352,355
平成28年度	356,000
平成29年度	359,519

○ 分類別蔵書冊数 (平成30年3月31日現在)

種別	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 絵解	4 絵解	5 技術	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	E 絵本	P 紙芝居	その他	うち 公民館 蔵本	計
冊数	12,052	10,160	36,679	42,655	22,571	23,883	10,470	25,003	4,353	131,769	26,278	803	12,843	50,588	339,519
比率	3.4%	2.8%	10.2%	11.9%	6.3%	6.6%	2.9%	7.0%	1.2%	36.6%	7.3%	0.2%	3.6%	14.1%	100.0%

○ 資料郵送貸出 (障害者サービス)

年 度	登 録 者	貸出利用者	貸 出 冊 数	
			点 字 図 書	録 音 図 書
平成25年度	27	53	218	
			218	0
平成26年度	32	51	293	
			253	40
平成27年度	27	85	485	
			410	75
平成28年度	29	86	489	
			412	77
平成29年度	30	206	1,256	
			1,037	219

○ 団体貸出 (保育園・学校・その他施設)

年 度	登 録 者	貸 出 冊 数
平成25年度	52	9,627
平成26年度	59	9,626
平成27年度	59	8,171
平成28年度	60	8,336
平成29年度	61	8,092

○ 公民館配本

年 度	配本施設（公民館）	配 本 冊 数
平成２５年度	１４	５２，７４７
平成２６年度	１４	５２，９１０
平成２７年度	１４	５２，１４２
平成２８年度	１４	５１，２３６
平成２９年度	１４	５０，５８８

○ レファレンス及び資料複写サービス

年 度	調 査 ・ 回 答			資 料 複 写	
	電 話	口 頭	文書・メール	件 数	枚 数
平成２５年度	２９９			１，９６５	１８，２１６
	３９	２５７	３		
平成２６年度	４５０			１，９０１	１５，２２７
	７０	３７３	７		
平成２７年度	５２６			１，８７９	１３，３７０
	６８	４５５	３		
平成２８年度	５６３			１，７９６	１７，１４２
	８７	４７３	３		
平成２９年度	６４４			１，７５４	１７，６３０
	９６	５４２	６		

木更津市郷土博物館 金のすず

○ 経営の重点

【展示活動】国指定重要文化財「上総木更津金鈴塚古墳出土品」、国指定重要有形民俗文化財「上総掘りの用具」を中心に、市所蔵資料による郷土に関する常設展示の充実を図る。また、所蔵資料等を活用して企画展等を実施し、市民に郷土の歴史や文化を理解する機会を提供する。

【調査活動】国立歴史民俗博物館と学術研究交流に関する協定を締結し、金鈴塚古墳出土品の共同研究を実施する。また、市内外に存在する郷土資料の調査を適宜実施し、情報の蓄積を図る。

【教育普及活動】体験教室や講座等の実施を通して学習内容の深化と施設利用の促進を図る。「博物館友の会」「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」との連携により、講演会、昔のくらしに関する体験学習、団体見学に対応した旧安西家住宅の展示解説等を実施する。また、市内小中学校等に資料の貸出および講師派遣を実施する。

【施設の環境整備】定期的に施設の環境適正・環境美化に努める。

主要事業の概要

1. 職員体制

H29 年度：館長 1 名（非常勤特別職員）・副館長 1 名（学芸員）・副主幹 2 名（学芸員）・主任主事 2 名（事務 1 名・学芸員 1 名）・非常勤一般職員 3 名（受付業務 2 名・学芸業務 1 名）

H30 年度：館長 1 名（非常勤特別職員）・副館長 1 名（学芸員）・副主幹 3 名（事務 1 名・学芸員 2 名）・主任主事 1 名（学芸員）・非常勤一般職員 3 名（受付業務 2 名・学芸業務 1 名）

2. 展示活動

（1）常設展は、「金鈴塚の輝き」・「書画の魅力」・「木更津の歴史」・「くらしの技術」で構成。

（2）企画展等

年度	展 示 名 称 ・ 期 間 ・ 観 覧 者 数
29	特別展「木更津の中世～真里谷武田氏とその時代～」10月14日～12月24日（開催62日）3,335人 館蔵資料展「絵画資料に見る明治時代」平成30年3月24日～6月24日（開館80日）4,218人

3. 調査活動

国立歴史民俗博物館との学術研究交流 H22 年度から国立歴史民俗博物館（以下、歴博と表記）と学術研究交流の協定を締結し、H25・28 年に 2 回の延長を実施した。歴博が実施した重要文化財上総木更津金鈴塚古墳出土品の非破壊による理化学的分析結果等を参考に、全国の古墳時代研究者有志と協力して金鈴塚古墳の学術的な再検討を実施、継続中。H29 年度の『金鈴塚古墳研究』6 号に金銅装圭頭大刀、鍔・釘等、銀装鍔、鉄刀・金銅装大刀に関する内容で冊子を刊行した。

文化財調査 H29 年度：H29 年度特別展に伴う資料調査（市内 4 箇所、市外 8 箇所、県外 3 箇所）を実施した。ほかに市内個人所蔵資料 7 箇所、市外所在の郷土関連資料 1 箇所に係る調査を実施した。また市民ボランティア等と協力して旧請西藩主家所蔵資料及び齋藤昌麿関係資料の目録作成を

実施した。

H30 年度：『金鈴塚古墳研究』第 7 号原稿執筆に係る市外資料調査 1 箇所、市内個人所蔵資料 7 箇所、市外関係団体 1 箇所、市外個人 1 箇所の調査を実施した。また市民のボランティア等と協力して旧請西藩主家所蔵資料及び齋藤昌麿関係資料の目録作成を実施し、木更津市史編集部会や博物館ボランティア等の協力を得て継続中。

4. 管理

資料管理

・**収蔵資料管理** 重要文化財「上総木更津金鈴塚古墳出土品」の台帳の作り替え作業を H27 年から文化庁、県教育委員会とともに継続して実施。H29 年度には重要有形民俗文化財「上総掘りの用具」の保存管理について、文化庁担当官から指示を仰いだ。H30 年度には空調設備改修工事に伴う保存管理について、文化庁担当官から指示を仰いだ。

・**寄贈資料の受入** 常時、申請のあった資料を検討の上、適宜受入を実施。

H29 年度：市内個人 3 名から：昭和初期感謝状ほか/医療具/棟札ほか/合計 3 件

H30 年度：市内個人 3 名から：屏風/民具/漁撈具/合計 3 件 市外個人 1 名から：出羽三山信仰関係資料/1 件 市外 1 団体から：農具ほか/1 件

・**寄託資料の受入** 常時申請のあった資料を検討の上、適宜受入を実施。H29・H30 年度ともに新規の受入なし。

環境管理

H29 年度：博物館保存環境調査（6 月 7 日～6 月 20 日、7 月 10 日～7 月 24 日） 昆虫類捕縛用箱型トラップを館内に計 4 週間設置した。捕縛した昆虫類の傾向から、保存環境について調査を実施した。また、館外からの資料受入等に当たっては、適宜、殺虫剤による資料の保全を図っている。

H30 年度：博物館保存環境調査（4 月 1 日～4 月 30 日、7 月 5 日～7 月 22 日） 昆虫類捕縛用箱型トラップを館内に計 6 週間設置した。捕縛した昆虫類の傾向から、保存環境について調査を実施した。また、館外からの資料受入等に当たっては、適宜、殺虫剤による資料の保全を図っている。

5. 教育普及活動

（1）博学連携事業

・**教職員研修受入**：随時教職員の研修を受入れている。

H29 年度：受入れなし

H30 年度：高校 1 校（2 日間 1 名）

・**職場体験受入**：収蔵資料整備、環境整備、勾玉作りなどの体験を行った。

H29 年度：中学校 4 校（3 日間 4 名 2 校・3 名 1 校・1 名 1 校）

H30 年度：中学校 3 校（3 日間 3 名 1 校 2 日間 4 名 1 校・3 名 1 校）

・**講師派遣**：講師として郷土に関する講義を実施した。

H29 年度：小学校 1 校 1 回 H30 年度：小学校 1 校 1 回

- ・**学校見学等受入**：小学校を中心に、昔の暮らし・社会科見学が中心で体験学習等を受け入れた。小学校の「昔の暮らし」体験学習では、「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」の協力により、かまどの火吹き、石臼による黄粉作り、いろり、行灯などの体験を行った。

H29 年度：31 校 36 回（小学校等 28 校 33 回 大学 3 校 3 回）

H30 年度：34 校 36 回（小学校等 29 校 30 回 中学校 1 校 1 回 大学 4 校 5 回）

- ・**博物館実習生受入**：大学の学芸員養成講座に協力し、学芸員資格取得希望者の受け入れを行った。

H29 年度：7 月 22 日～8 月 8 日（15 日間） 3 大学 3 名

H30 年度：7 月 21 日～8 月 7 日（15 日間） 5 大学 5 名

（2）資料貸出等

H29 年度 特別利用（熟覧・撮影等）39 件/計 230 点 貸出 15 件/127 点 借用 13 件/102 点

貸出：金鈴塚古墳出土品（山梨県立考古博物館・群馬県立歴史博物館）等

借用：特別展に伴う中世文書関係資料（国立公文書館ほか）等

H30 年度 特別利用（熟覧・撮影等）16 件/計 88 点 貸出 15 件/計 138 点 借用 4 件 20 点

貸出：金鈴塚古墳出土品関係資料（八戸市博物館・国立歴史民俗博物館）等

（3）講座等（詳細は別表参照）

H29 年度 主催講座等を延べ 27 回実施した。ほかに 9 回講師を派遣した。

H30 年度 12 月末までに主催講座等を延べ 14 回実施した。ほかに 2 回講師を派遣した。

6. 協議会など

郷土博物館金のすず協議会 H29 年度：5/16・11/6 H30 年度：5/30・12/26 年 2 回実施

君津地方公立博物館協議会 木更津市・君津市・袖ヶ浦市の公立博物館による協議会。

H29 年度：理事会（5/19 12/13）担当者会議（5/23 11/8 3/15）第 1・2 回研修会「動画作成研修会」（7/31 8/21）第 3 回研修会「圧痕レプリカ法の講義と実習」（9/25）館外研修会「上高津貝塚ふるさと歴史の広場・国立科学博物館筑波研究施設」（2/20）

H30 年度：理事会（5/18）担当者会議（5/22 11/14）研修会（6/11 8/29）

千葉県博物館協会 県内の博物館の団体。平成 22 年度から協会理事担当。

H29 年度：総会（5/25）役員会（4/26 12/21 2/28）研修委員会（8/29 2/2）研修会（12/4）研究報告会（1/31）

H30 年度：総会（5/24）役員会（4/26）研修委員会（7/23）研修会（12/12）

日本博物館協会 「博物館研究」の年間購読等により今日的な博物館の課題、情報を収集。

H29 年度：全国博物館長会議（7/12） H30 年度：全国博物館長会議（7/4）

その他 君津地方社会教育研究会：社会教育に関する問題解決等のため、君津地方 4 市の職員が集まり、実践および研修を重ねることで、専門職としてのスキルアップを図る。

7. 友の会の活動

H29 年度：会員数 83 名 定期総会 1 回 役員会 7 回 研修会等 2 回 博物館事業協力 4 回

会報 15・16 号発刊 太田山クリーンデー2 回 サークル展開催 生涯学習フェスティバル参加

H30 年度：会員数 85 名 定期総会 1 回 役員会 4 回 研修会等 2 回 博物館事業協力 3 回

会報 17 号発刊 太田山クリーンデー2 回 サークル展開催 生涯学習フェスティバル参加
オーガニックフェスティバル参加

8. きさらづ文化財ガイドボランティアへの委託

旧安西家住宅への来館者に対応するため、任意団体「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」に解説等を委託した。同会は、旧安西家住宅へ来館した小学 3 年生に昔の暮らし体験学習の受け入れも実施した。平成 29 年度の旧安西家住宅開館日数 301 日間、来館者 8,878 人、ガイド延べ 1,417 人、平成 30 年度は 12 月末までに開館 230 日間、来館者 5,012 人、ガイド延べ 1,029 人であった。

H29 年度：定期総会 1 回 臨時定期総会 1 回 役員会 7 回 研修会 4 回 博物館事業協力 4 回
教育普及事業 6 回 いしずえ 19 号発行

H30 年度：定期総会 1 回 役員会 6 回 研修会 2 回 博物館事業協力 5 回 教育普及事業 5 回
いしずえ 20 号発刊

9. 入館者の推移

年度	利用者 総 数	観覧者 総 数	中学生 以 下	一般	65 歳 以 上	その他	主催授業 等参加者	開館 日数
29	13,460 人	10,781 人	3,360 人	3,953 人	2,813 人	655 人	2,679 人	301 日
30	9,468 人	7,171 人	2,590 人	2,561 人	1,584 人	436 人	2,297 人	230 日

(その他とは高校生・大学生など 30 年度については平成 30 年 12 月 31 日現在)

別表 5. 教育普及活動 (3) 講座など
29年度
博物館でお花見を

月	日	曜日	会場	内容	講師等	備考	参加者
4	1	土	桜の広場 旧安西家 集会室	餅つき・甘酒・はたおり・ 作品頒布・畑沢楊枝・さ さポン・人形たちのお話 会	友の会・ガイドボランティア・ ライオンズクラブ・市民まちづく り塾・空とぶくじら・畑沢楊 枝	餅つき180膳・甘酒250杯 畑沢楊枝作り体験20名 4月2日(日)は無料開館。	2,136

郷土文化伝承体験教室

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
6	25	日	保管庫金鈴会館	はたおり講習会	友の会 はたおりサークル	10
12	24	日	集会室	正月飾り作り教室	大鹿幸恵・加瀬隆・原口忠士・長野直幸	19
1	27	土	旧安西家住宅	西上総の味噌作り教室	大鹿幸恵・沼田静代	25

夏休み体験講座

月	日	曜日	会場	タイトル	内容	講師	備考	参加者
7	28	金	集会室	勾玉作り教室	勾玉作り	博物館実習生3名	博物館実習の一環 として事業を実施	20

地域学講座「木更津風土記」

月	日	曜日	会場	内容	講師	参加者
9	2	土	集会室	東京湾のイカ漁について～牛込地区のイカ籠漁 を中心に～	尾上一明 浦安市郷土博物館主任学 芸員	17
11	12	土	集会室	①木更津と戦国大名里見氏ー北条氏との抗争 と「半手」ー ②小田原合戦と木更津ーその後の上総武田氏ー	①細田大樹 千葉県企業土地管理局 ②江澤一樹 一宮町教育委員会	44
11	25	土	集会室	①出土遺物から見た木更津の中世城郭 ②現存遺構から見た木更津の中世城郭	①井上哲朗 千葉県教育振興財団 ②小高春雄 城郭研究者	44
1	20	土	集会室	近世の寺院組織と僧侶～新義真言宗教団を中 心に～	朴澤直秀 日本大学教授	36
2	10	土	集会室	木更津の宝はここにある～市史編集から見えて きた建物の価値	渡邊義孝 木更津市史編集部会委員・ 尾道市立大学非常勤講師	23
3	21	水・祝	集会室	①絵解きの歴史と日本各地の絵解き ②「釈迦涅槃図」の絵解き	①小林一郎 長野郷土史研究会会長・ 絵解き研究者 ②小林玲子 長野郷土史研究会副会 長・絵解き口演家	33

歴史講座

月	日	曜日	月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
7	9	日	・	8	6	日	集会室	古文書入門編	15 13
9	3	日				集会室	古文書入門編	實形裕介 県文書館嘱託	13
1	21	日	・	2	18	日	集会室	古文書中級編	16 14
3	18	日				集会室	古文書中級編	實形裕介 県文書館嘱託	14

きさらづ歳時記

月	日	曜日	～	月	日	曜日	会場	タイトル	内容	参加者
4	25	火	～	5	7	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の端午の節句	節句飾	504
7	1	土	～	7	7	金	旧安西家住宅	旧安西家の七夕	七夕飾り	60
10	3	火	～	10	9	月	旧安西家住宅	旧安西家の十五夜	お月見	119
2	14	水	～	3	4	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の雛祭り	お雛様の飾り付け	382

移動教室

月	日	曜日	会場	タイトル	テーマ	参加者
5	27	土	一般財団法人そごう美術 館・横浜美術館	歴史体験教室「貴人が愛し たもの～ファッションとア ートの世界～」	そごう:「ルドゥーテの『バラ図譜』展」 横浜:「ファッションとアート 麗しき東西 交流」	22
11	19	日	国立西洋美術館 東京都美術館	秋の美術散歩	「北斎とジャポニスム展」「ゴッホ展」	31

講演会

月	日	曜日	会場	タイトル	講師等	参加者
12	2	土	博物館隣接会場	特別展記念講演会「上総武田氏とその時代」	黒田基樹 駿河台大学教授	260

着付け体験(春の企画展関連事業)

月	日	曜日	会場	タイトル	講師等	参加者
4	22	土	集会室	装束着用体験 ～卯月～	青柳隆志 東京成徳大学教授・同校装束班学生	18
5	20	土	集会室	装束着用体験 ～皐月～	青柳隆志 東京成徳大学教授・同校装束班学生	24
6	17	土	集会室	装束着用体験 ～水無月～	青柳隆志 東京成徳大学教授・同校装束班学生	16

講師派遣

月	日	曜日	会場	タイトル等	参加者
6	9	金	請西小学校	6年生社会科学習「地域の環境・歴史について」	99
5	25	木	中央公民館	木更津ユネスコ協会会員研修「博物館との連携について～ユネスコ活動に期待されるもの～」	30
7	11	火	波岡公民館	波岡郷土史講座「古墳時代と木更津 古墳時代の木更津の様子、市内に残る古墳について・金鈴塚古墳について」	28
10	1	日	真舟地区自治会館ほか	文京知ろうと講座「真舟地区歴史散策」	45
10	19	木	中央公民館	郷土史講座 特別展「木更津の中世～真里谷武田氏とその時代」	20
11	16	木	西清川公民館	西清川歴史学級 特別展「木更津の中世～真里谷武田氏とその時代」	27
12	10	日	中央公民館	房総の地域文化講座「西上総における縄文文化の地域性」	未集計
12	13	水	中央公民館	郷土史講座「中世墓について」	20
1	28	日	千葉県立中央博物館	文化財講演会「縄文文化の地域性について」	未集計

30年度

博物館でお花見を

月	日	曜日	会場	内容	講師等	備考	参加者
4	7	土	桜の広場 旧安西家 集会室	お汁粉・甘酒・売店・はたおり・作品頒布・畑沢楊枝・きさぽん・お話し	友の会・ガイドボランティア・ライオンズクラブ・親和商店・一粒舎・市民まちづくり塾・図書館・畑沢楊枝	お汁粉177膳、甘酒200杯 お話し30名、畑沢楊枝作り体験7名 4月1日(日)～4月8日(日)は無料開館。	2,526

フィールドミュージアム

月	日	曜日	会場	タイトル	内容	講師	参加者
5	13	日	旧安西家・太田山公園	フィールドミュージアム「太田山の植物」～春の食べられる植物を探してみよう～	食べられる食材を調べ、食す	木暮文雄	27

郷土文化伝承体験教室

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
7	22	日	保管庫金鈴会館	はたおり講習会	友の会 はたおりサークル	10
12	22	土	集会室	正月飾り作り教室	大鹿幸恵・尾崎進・寺門徳秋・長野直幸	16

夏休み体験講座

月	日	曜日	会場	タイトル	内容	講師	備考	参加者
7	29	日	集会室	夏休み体験講座「勾玉作り教室」	勾玉作り	博物館実習生	博物館実習の一環として事業を実施	30

地域学講座「木更津風土記」

月	日	曜日	会場	内容	講師	参加者
8	23	土	集会室	房総を訪れた外国人宣教師	内藤幹生 県文書館嘱託	22
10	13	土	集会室	2000年前の東アジア世界と房総半島の弥生文化	寺前直人 駒澤大学准教授	28

歴史講座

月	日	曜日	月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
7	15	日	・	8	19	日	集会室	古文書初級編	20 14
9	16	日				集会室	古文書初級編	實形裕介 県文書館嘱託	15

きさらづ歳時記

月	日	曜日	～	月	日	曜日	会場	タイトル	内容	参加者
4	28	土	～	5	10	木	旧安西家住宅	旧安西家住宅の端午の節句	鯉のぼりの飾り付け	451
6	30	土	～	7	8	日	旧安西家住宅	旧安西家の七夕	七夕飾り	49
9	17	月・祝	～	9	24	月・祝	旧安西家住宅	旧安西家住宅の十五夜	お月見	124

講演会

月	日	曜日	会場	タイトル	講師等	参加者
5	26	土	集会室	館蔵資料展記念講演会「明治時代の産業と文化」	鎮目良文 たばこと塩の博物館学芸員	2

講師派遣

月	日	曜日	会場	タイトル等	参加者
6	8	金	請西小学校	6年生社会科学習「地域の環境・歴史について」	93
12	13	木	鎌ヶ谷市立図書館	鎌ヶ谷市郷土資料館セミナー「房総の女性の歴史と民俗」昭和20年の木更津～木更津高等女学校生徒の絵日記を中心に～	43

青少年指導関係

1. 活動方針

家庭、地域、学校、警察署や内房地区少年センター、南房総教育事務所生徒指導班、児童相談所等の関係機関との連携を密に、青少年の非行を防止し、健全育成を図る。

2. 業務内容

(1) 相談活動

①来所相談、電話相談、メール相談等の充実に努める。

相談受理件数（平成31年1月31日現在）

来所相談	電話相談	メール相談	合計
7 件	5 5 件	2 5 件	8 7 件

②関係諸機関との連携を密に、効果的な支援に努める。

(2) 街頭指導

①計画指導 青色灯装着車による街頭パトロールを週1回以上実施する。

②地区指導 青少年補導員による街頭指導を中学校区毎に実施する。

③特別指導 関係諸機関・諸団体と連携し、JR 乗車マナー指導及び花火大会終了後のパトロール等、特別街頭指導を実施する。

実施状況 (平成30年12月31日現在)	実施回数(回)	延従事者(名)	指導少年数(名)
計画指導	3 0	6 0	0
地区指導	1 5 5	4 6 0	4
特別指導(花火・JR)	4	1 2 0	0
合 計	1 8 9	6 4 0	4

(3) 環境浄化活動→情報化社会への対応

①有害ビラ等貼付状況を監視する環境浄化活動を推進する。

②情報化社会を安全に生きるための啓発活動等を推進する。

③県の実施するネットパトロールと連携し、適切な指導・支援を行う。

④危険箇所やたまり場を発見し、その状況把握に努める。

(4) 関係機関・団体との連携

①学校、警察、児童相談所等との協力体制の推進強化を図る。

②各種連絡会議との連携を図る。

(5) 広報活動及び調査・研究→啓発活動

①青少年健全育成のための広報紙等を定期的に発行する。

②未成年による飲酒・喫煙、危険ドラッグ、薬物乱用等の防止・撲滅に関する各種キャンペーンに参加する。

(6) 青少年指導関係運営協議会

青少年の健全な育成及び非行の防止を支援するために、関係行政・教育機関及び団体の代表で構成される青少年指導関係運営協議会を設置している。

委員は市長が委嘱し、任期2年、定数15名以内と定められている。(現員数14名)

(7) 青少年補導員

青少年補導員は、地域における非行状況の情報連絡をするとともに、自主的組織の青少年補導員連絡協議会を組織し、地区活動を中心に主たる業務である街頭補導に従事するほか、地域環境浄化活動にも積極的に従事している。

青少年補導員は、市長が委嘱し、任期2年、定数100名以内と定められている。

(現員数79名 平成31年1月31日現在)

7. 資 料

歴代教育委員及び教育長

年度	教 育 委 員			
	委 員 長	委 員 長 職務代理者	委 員	教 育 長
S 27	大日方惟信	浜名 儀三	加藤 儀助 ・ 梶 良一 ・ 加藤 議祐	斉藤 善治 (助役事務取扱)
28	浜名 儀三	梶 良一	加藤 儀助 ・ 大日方惟信 ・ 伊藤 誠	東條 繁樹
29	浜名 儀三	梶 良一	加藤 儀助 ・ 大日方惟信 ・ 伊藤 誠 平野千之助	東條 繁樹
30	梶 良一	加藤 儀助	浜名 儀三 ・ 大日方惟信 ・ 伊藤 誠 平野千之助 ・ 伊藤 正雄 ・ 渡辺 庄司	東條 繁樹
31	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多 ・ 渡辺 庄司	小山 義雄
32	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多 ・ 鳩飼 茂	小山 義雄
33	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多 ・ 鳩飼 茂	小山 義雄
34	末吉 弥吉	鳩飼 茂	内藤 津多 ・ 堀切 友雄	小山 義雄
35	鳩飼 茂	堀切 友雄	内藤 津多 ・ 末吉 弥吉	小山 義雄
36	堀切 友雄	内藤 津多	安西 忠蔵 ・ 末吉 弥吉	小山 義雄
37	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 末吉 弥吉 ・ 大日方雄三	小山 義雄
38	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 大日方雄三	小山 義雄
39	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 大日方雄三	小山 義雄
40	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
41	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
42	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
43	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
44	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
45	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
46	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
47	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
48	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄 ・ 中村 武雄	小山 義雄
49	堀切 友雄	内藤 津多 榎本 武雄	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
50	堀切 友雄 榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
51	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
52	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄

年度	教 育 委 員			
	委 員 長	委 員 長 職務代理者	委 員	教 育 長
S 53	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
54	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
55	榎本 武雄 佐久間重男	佐久間重男 高橋 裕吉	高橋 裕吉 ・ 中村 武雄 ・ 鈴木 達也	小山 義雄 原 保
56	佐久間重男	高橋 裕吉	中村 武雄 ・ 鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保
57	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保
58	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保
59	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保 栗林 信夫
60	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	栗林 信夫
61	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	栗林 信夫
62	佐久間重男 高橋 裕吉	高橋 裕吉 鈴木 達也	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫 ・ 高橋 せい	栗林 信夫
63	高橋 裕吉	鈴木 達也 鹿間 敏夫	鹿間 敏夫 ・ 高橋 せい ・ 白石 英夫	栗林 信夫
H 1	高橋 裕吉	鹿間 敏夫	高橋 せい ・ 白石 英夫	栗林 信夫
2	高橋 裕吉 高橋 せい	鹿間 敏夫	高橋 せい ・ 白石 英夫 ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
3	高橋 せい	鹿間 敏夫	白石 英夫 ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
4	高橋 せい	鹿間 敏夫	白石 英夫 ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
5	高橋 せい 鹿間 敏夫	鹿間 敏夫 白石 英夫	高橋 せい ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
6	鹿間 敏夫	白石 英夫	高橋 せい ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
7	鹿間 敏夫	白石 英夫	高橋 せい ・ 山本 恭雄 ・ 石川 茂子	栗林 信夫
8	鹿間 敏夫	白石 英夫 石川 茂子	杉井 和夫 ・ 橘田 昭雄	栗林 信夫 西村 堯
9	鹿間 敏夫 杉井 和夫	杉井 和夫 橘田 昭雄	橘田 昭雄 ・ 石川 茂子 ・ 石井 利枝	西村 堯
10	杉井 和夫	橘田 昭雄	大日方惟忠 ・ 石井 利枝	西村 堯
11	杉井 和夫	橘田 昭雄	大日方惟忠 ・ 石井 利枝 ・ 井原 一恵	西村 堯
12	杉井 和夫 橘田 昭雄	橘田 昭雄 大日方惟忠	大日方惟忠 ・ 井原 一恵 ・ 青木 和義	西村 堯
13	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 ・ 青木 和義	西村 堯
14	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 ・ 青木 和義	西村 堯
15	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 ・ 青木 和義 ・ 清崎 光恵	西村 堯
16	橘田 昭雄 青木 和義	大日方惟忠	青木 和義 ・ 清崎 光恵 ・ 石井 英美	西村 堯 初谷 幹夫

年度	教 育 委 員			
	委 員 長	委 員 長 職務代理者	委 員	教 育 長
H 17	青木 和義	大日方惟忠	清崎 光恵 ・ 石井 英美	初谷 幹夫
18	青木 和義	大日方惟忠	清崎 光恵 ・ 石井 英美	初谷 幹夫
19	青木 和義	大日方惟忠	清崎 光恵 ・ 石井 英美	初谷 幹夫
20	青木 和義 石井 英美	大日方惟忠 清崎 光恵	清崎 光恵 ・ 石井 英美 大日方惟忠 ・ 青木 和義	初谷 幹夫
21	石井 英美	清崎 光恵	大日方惟忠 ・ 青木 和義 ・ 武井 紀夫	初谷 幹夫
22	石井 英美	清崎 光恵	青木 和義 ・ 武井 紀夫 ・ 長谷部理絵	初谷 幹夫
23	石井 英美	清崎 光恵 長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 長谷部理絵 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
24	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
25	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
26	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
27	—	石井 英美	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄 ・ 長谷部理絵	高澤 茂夫
28	—	武井 紀夫	吉田 一雄 ・ 長谷部理絵 ・ 渡部 佳子	高澤 茂夫
29	—	武井 紀夫	吉田 一雄 ・ 長谷部理絵 ・ 渡部 佳子	高澤 茂夫
30	—	武井 紀夫	吉田 一雄 ・ 渡部 佳子 ・ 豊田 雅之	高澤 茂夫

教育功勞被表彰者一覧

年度	氏 名（団 体 名）
S 28	山崎 直 ・ 榎本 武治 ・ 時田 新蔵 ・ 中村 平吉 ・ 石渡健三郎 ・ 堀切 友雄 ・ 君塚 嘉夫 ・ 佐久間重男 ・ 栗原 金司
29	石井 幹夫 ・ 小熊 君子 ・ 三枝 重蔵 ・ 市川 清茂 ・ 高橋 卓一 ・ 河田 陽 ・ 藤倉 信雄
30	近藤 音松 ・ 松本菊治郎 ・ 鈴木 和子 ・ 安田 静一 ・ 小野 秀三 ・ 藤倉 信雄 ・ 望月 湊 ・ 嶋田 廣吉
31	浅井 泰治 ・ 内海 茂 ・ 飯塚 しづ ・ 浪久 丈雄 ・ 榎本 武雄 ・ 細井子之助 ・ 林 好雄
32	宮本 寿吉 ・ 古屋 昇 ・ 篠崎 弘 ・ 服部 てい ・ 藤倉 かね ・ 山田 金吾 ・ 若鍋千代吉 ・ 山崎 ふさ
33	北見 日吉 ・ 大日方雄三 ・ 竹内 隆 ・ 白木 光郎 ・ 内藤百合子
34	杉山 聞多 ・ 平野 要 ・ 鈴木 康夫 ・ 鈴木利三郎 ・ 神子 仁明 ・ 飯塚 信明
35	鈴木 保 ・ 山田 千鶴 ・ 佐藤 富士 ・ 石渡 真一 ・ 黒田 清 ・ 鈴木 一平 ・ 松 美佐雄 ・ 植松 仁子 ・ 泉水 潔 ・ （点字奉仕会）
36	花崎農夫寿 ・ 古藤田茂雄 ・ 内木 みち ・ 山田精五郎 ・ 三沢 英夫 ・ 北見 定吉 ・ 鈴木 静夫 ・ （西上総文化会木更津支部）
37	大日方惟信 ・ 藤代善次郎 ・ 唯野 寿雄 ・ 北村つめよ ・ 多田 一夫 ・ 神頭 千代 ・ 根本 安代 ・ 石川 寛 ・ 伊藤 俊栄
38	竹内正太郎 ・ 高橋 まつ ・ 青柳 三郎 ・ 鳥海ゆき江 ・ 高橋 せい ・ 細野 鹿蔵 ・ 在原 定雄 ・ 柴崎 みつ
39	畑野 敏 ・ 三枝 正夫 ・ 細井 美和 ・ 山口 祐正 ・ 伊草 光次 ・ 桐谷 清 ・ 林 英樹
40	栗原 正美 ・ 関口 清二 ・ 斉藤 新蔵 ・ 磯辺 快子 ・ 桑田 馨二 ・ 梶川 環 ・ 山本 恭雄
41	田村 きよ ・ 小倉 重成 ・ 青木 秀 ・ 内藤賀寿夫 ・ 関口 義雄 ・ 小島 寿子 ・ （武道連盟）
42	田村 芳美 ・ 岩瀬 すみ ・ 落合 均 ・ 杉浦 和平 ・ 安田 智堂 ・ 高橋 省己 ・ 千代倉 胖
43	竹内金兵衛 ・ 渡辺 達雄 ・ 本多 光子 ・ 斉藤 藤江 ・ 森 美代子 ・ 本吉 雄吉 ・ 高木 茂男
44	吉川 金一 ・ 根本 隆之 ・ 鶴岡 清子 ・ 高崎 繁雄 ・ 秋楽 幸子 ・ 嶋野 一雄 ・ 鈴木 安雄
45	積田 博 ・ 佐藤美代子 ・ 重田 まさ ・ 榎本 功 ・ 鈴木 文子 ・ 鈴木 重雄 ・ 赤川 徹男
46	若林 隆 ・ 安西 輝子 ・ 小梶 和子 ・ 八剣 澄子 ・ 村上 香 ・ 田村きみ江 ・ 山口 健一
47	原 保 ・ 和田 裕之 ・ 武長 瑾英 ・ 刈込 淑子 ・ 相沢 雪 ・ 飯田 哲夫 ・ 石井 堅一 ・ 宇野 六夫 ・ 守 智雄 ・ 勝呂 国利 ・ 羽瀬 玲子
48	石橋 郁夫 ・ 分目 茂 ・ 石井 富子 ・ 大久保 進 ・ 小林 きく ・ 渡辺 和彦 ・ 横須賀 孝
49	前田 弘次 ・ 近藤 禮治 ・ 磯貝 ツヤ ・ 森本 俊 ・ 小林 いつ ・ 国分 貞子 ・ 西山 六郎
50	大河原三夫 ・ 平野 勉 ・ 平戸 襄 ・ 立石智恵子 ・ 高橋 巴子 ・ 鳥飼 誠 ・ 手島 宏晴 ・ 小原 三郎 ・ 楠田伝次郎
51	石川 俊夫 ・ 榎沢 竹夫 ・ 磯崎 愛子 ・ 水野 章男 ・ 下室 高治 ・ 安達 武夫 ・ 大岩 徳 ・ 川名寿美恵 ・ 曾根 和男
52	柳瀬 秀雄 ・ 白石 三郎 ・ 筑紫 栄徳 ・ 荒居善次郎 ・ 鶴岡 つね ・ 池田 幹男 ・ 庄司 邦夫 ・ 鈴木 健之 ・ 佐久間さく
53	天羽 隆雄 ・ 浅井 昭 ・ 相川 良二 ・ 三枝 園子 ・ 山口 敏子 ・ 鈴木 恒子 ・ 小籠 定長 ・ 鈴木 音彌 ・ 花輪 正好

年度	氏 名 (団 体 名)									
S 54	齋藤武次郎・田浦壽太郎・藤里 玲子・景山喜久子・斉藤 誠・山口 栄治・吉川智恵子・福島 健次・鳥飼明二郎									
55	片山 好實・鈴木 騎兵・安田 敬・林 秀雄・牛島登志子・土屋 清子・石川 明・庄司 肇									
56	重田 吉彦・渡辺 敏夫・中島 京・桑田 芳枝・萱野 敏彦・井上 亮三・辻田 昇・八剣 昭雄									
57	谷萩 武雄・青柳 文夫・榎本しづえ・早田 芳子・瀬戸 正嗣・森山 弘大・渡辺 弘己・稲垣 新清・大溝 晴史・重城 良造									
58	増田 治男・刈込 仁・嶋田伊富子・鈴木 恵子・松本 祐子・東 秀和・館脇 きよ・山田 弘・富澤 一枝									
59	山口 清次・竹内 秀夫・安田 祿彌・小林 セツ・和地 妙子・市東 良子・安藤 小平・伊藤 満									
60	大沢 雅一・星野 享永・渡辺 博・尾棹 正夫・鈴木 郁夫・曾根美代子・藤寄百合子・山本 茂子・白石 博裕									
61	鈴木 隆・萩原 一郎・三枝 公一・高橋 君子・八剣 茂・富澤 義夫・渡辺 朱美・山本 良治・吉田 明									
62	石渡 三郎・山田 重昭・藤里 公一・細谷 竹松・和地 恵實・山口 かの・安藤 はま・篠辺 正和・塩塚 重雄・大野 進									
63	郷津 信賢・鈴木 泰明・山口 満夫・花澤 重男・山口 義雄・鈴木 昇・小川 弘子・古宮 玲子・川口 純・関 正輪									
H 1	重田 勲・米澤 安夫・曾根 英範・岡田 良平・岸 守・松永 和夫・鈴木 久子・地曳 岩夫・高木 厚行・壇谷 洋									
2	榎本 秀夫・須藤 英夫・藤寄 啓好・林 務・鈴木 和郎・鈴木 敏男・箱守 和子・川本 勉・飯田厚三郎・大日方 洋・高橋 竹乃・石井美佐子・磯辺 明・和泉 禮明・飯島 咲子									
3	竹内 哲也・前田 昇・牛島 新治・小川 郁夫・石渡 重彦・山田 文子・池田 昭・荻野 敬次・鳥海 郁二									
4	東條 章夫・鶴野 光雄・鈴木 勝江・茂田 政睦・宇渡 明巳・高浦早智子・藤倉 貞子・武井 重雄・仲田 一・磯貝 良・影山 乾一・篠田 一恵									
5	石井 恭雄・川名 伸夫・和田 公喜・宮森 文郎・柴崎 明子・能星みち子・菅野恵美子・勝呂 至孝・鈴木 寛・桑田きみ子・宮崎 祐致・石井 久喜・鳥飼 政枝									
6	関口 敏夫・中山 寿弘・中村 督民・平野 勲・古谷 鉄男・羽山 豊春・谷澤那美江・庄司安兵衛・大野 英二・本吉 松博・平瀬雄二郎									
7	野口 芳宏・石川仁一郎・小川 昇・鈴木 貞雄・松江 俊昭・渡辺美智子・岡庭カツ子・大塚 淳・村山 康太・伊草 文代・桐谷 新三・杉井 和夫・芳野 眞任									
8	茂田 才治・福本 清治・錦織 正道・金子 馨・景山 正之・吉田 重夫・鈴木 良彰・三木美代子・磯貝 昇・今井 香樹・萱野 文雄・馬場 昭夫									
9	鈴木 義明・木村 智行・能星 晃・長谷川久治・柳川 秀雄・酒井 正雄・前田 宏・鈴木 房子・小磯 利夫・赤川 宣子・岡田 正剛・高橋 一美・安部トシ子・(木更津市美術連盟)									
10	木田 繁・青柳 敬子・伊藤 淑江・小池 和夫・君塚 桂子・板倉美代子・安藤 智子・江野沢眞弓・鹿間 敏夫・小泉ヨシ子・石井 芳夫・瀬能 正一・榛沢 敦子・(こあら会)									
11	齋藤 福一・福原 功・高橋 恵子・吉田 恵子・廣部 尚子・伊藤 三子・山田 勝巳・安達 弦太・藤井 一夫・山口 延善・石井 久子・田村 幸雄・吉野 郁子・加藤 房江・永島 貞二									
12	押野見邦彦・三上 勝彦・浦部紘一郎・石邑祐一郎・平野紀美子・勝又 節子・平野 弘子・佐久間道子・安積美智子・藤井 昭夫・市川 昇・鈴木 芳則・青木 和義・網中 和子・(木更津ばやし保存会)									
13	飯島 公一・村松 和久・安藤 昭之・御園 信弘・須貝 和子・川名 好枝・中村 和成・大日方惟忠・佐藤 敏彦・細井系太郎・齊藤 昭平・山田 節義・(木更津市子ども会育成連絡協議会)									

年度	氏 名 (団 体 名)
H 14	鈴木 克彦 ・ 根本榮治郎 ・ 山口 正明 ・ 奈良輪 索 ・ 柳生 直宣 ・ 園田 陽子 ・ 松沢 廣子 ・ 宮本 紀子 ・ 鳥海 照代 ・ 鳥海ひろみ ・ 齊藤 英子 ・ 水野 信義 ・ 飛澤 彰 ・ 筑紫 敏夫
15	鴻池 敦 ・ 鵜田 憲司 ・ 横内 規明 ・ 磐井美千代 ・ 吉元 玲子 ・ 横内きよ子 ・ 石渡 宏 ・ 吉田 敬 ・ 小竹 和己 ・ 櫻井 満 ・ 吉田 光代 ・ 鈴木 克巳 ・ 蘇我 芳章 ・ (木更津市体育協会) ・ (木更津市文化協会)
16	藤沢きよ子 ・ 平野 寛 ・ 勝畑 利光 ・ 磯貝 修一 ・ 大塚 典夫 ・ 川名眞木子 ・ 功刀 和子 ・ 八角 泰男 ・ 勝呂 文恵 ・ 磯貝 節子 ・ 地曳 貞二 ・ 原 初恵 ・ 廣部 一 ・ (千葉県自転車軽自動車商協同組合木更津支部)
17	林 俊之 ・ 實形勢津子 ・ 関口 一眞 ・ 高橋 博光 ・ 渡邊 啓子 ・ 露寄 信子 ・ 村野はるみ ・ 鈴木 俊子 ・ 門田 秀夫 ・ 磯貝 隆久 ・ 鈴木 敏子 ・ (岩根西地区青少年健全育成振興会) ・ (木更津新能の会)
18	長島 眞 ・ 齋藤 勇 ・ 磯崎 正利 ・ 川名 和夫 ・ 長谷川貢一 ・ 武田 敏子 ・ 上田 光代 ・ 松清 央 ・ 小関 洋男 ・ 石村 元章 ・ 島田登美夫 ・ 桑田 光正
19	磯貝 章 ・ 鈴木 健治 ・ 田村 博 ・ 平野えい子 ・ 宇野 裕子 ・ 中山 立子 ・ 長尾 幸子 ・ 綾野美登里 ・ 上田 誠治 ・ 橋爪 洋平 ・ 市東 良子 ・ 山口 一郎 ・ 鵜田 隆一 ・ 武藤 義彦
20	鈴木 順一 ・ 鎌田 実 ・ 藤森けい子 ・ 鈴木 節子 ・ 今井 裕文 ・ 古泉美根子 ・ 石井 禎一 ・ 相沢枝里子 ・ 飯田 勉 ・ 吉崎 治美 ・ 溝口五百子 ・ 筑紫 敏夫
21	小原 俊郎 ・ 内藤 健一 ・ 塩田 耕司 ・ 鈴木 正美 ・ 永寫 博文 ・ 高橋 純子 ・ 嶋田 敏恵 ・ 山田ゆり子 ・ 鈴木喜代江 ・ 杉山 公夫 ・ 鈴木 勝也 ・ 渡辺 和彦
22	高村 直道 ・ 土井 淳治 ・ 多田 元樹 ・ 石井 春久 ・ 古閑 晃一 ・ 玉川 剛 ・ 鈴木 雄子 ・ 内海 晃 ・ 齋藤眞理子 ・ 平山 政彦 ・ 山下 博 ・ 佐々木幸生 ・ 李 程英
23	林 正巳 ・ 明石 知幸 ・ 白石 修一 ・ 多田 芳明 ・ 石井 吉明 ・ 宮城三津子 ・ 内藤 成人 ・ 柳澤 裕子 ・ 森 孝子 ・ 鈴木 克己 ・ 水野 幸子
24	栗原 正志 ・ 桐谷 和美 ・ 古泉 忠之 ・ 小尾 哲郎 ・ 齋藤 幸子 ・ 大岩 静江 ・ 長谷川文子 ・ 平野 洋子 ・ 八代 時江 ・ 宮崎 恵子 ・ (木更津市婦人会連絡協議会)
25	田口 哲郎 ・ 渡辺 正悟 ・ 高澤 茂夫 ・ 池田 武 ・ 神子 由之 ・ 堤 千枝子 ・ 鹿島 都子 ・ 佐久間 薫 ・ 久我 京子 ・ 泉水 桂子
26	小高已喜男 ・ 篠原 和行 ・ 伊東 晶一 ・ 安川 公子 ・ 荒井 幸江 ・ 加藤 則子 ・ 仲野 憲治 ・ 杉本 正美 ・ 山口 治彦 ・ 石井 典子 ・ 佐久間ひさい ・ 志保沢博央 ・ 山田 治子
27	石井 章 ・ 関口 明 ・ 小川 善彦 ・ 大胡 利一 ・ 萱野 弘之 ・ 伊藤 俊樹 ・ 渡邊 義明 ・ 原田 智子 ・ 岩崎 淳
28	加藤 高明 ・ 竹内 淑子 ・ 江田 欣弘 ・ 積田 一重 ・ 永嶋 偉子 ・ 上田 順次 ・ 中村 吉朗 ・ 関 和一 ・ 竹重 厚志 ・ 若海 和広 ・ 大久保尚子
29	山本 卓人 ・ 藤平 慶子 ・ 鈴木 修一 ・ 額賀 敏行 ・ 平野千津子 ・ 武田 重雄 ・ 横田由起子 ・ 宮下 育夫 ・ 小宮 邦夫 ・ 齋藤 裕子
30	米澤 雅史 ・ 積田 等 ・ 安田 正幸 ・ 佐々木洋子 ・ 桑田 清行 ・ 縄谷 尚志 ・ 宮崎 眞司 ・ 伊藤結実子 ・ 小尾みどり ・ 高品 律子 ・ 吉田 裕子 ・ 地曳 昭裕 ・ 青木美津子

市内指定等文化財一覧

平成31年1月1日現在

番 号	種 別	名 称	現所在地	所有者	指定年月日	員数	備考
国指定	1	重要有形文化財 (考古資料)	上総木更津金鈴塚古墳出土品	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S34. 6. 27	一括
	2	重要有形民俗文化財 (生産、生活に用いられるもの)	上総掘りの用具	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S35. 6. 9 H 7. 12. 26	258点 追加
国選択	1	記録選択 (無形民俗文化財)	木更津市中島の梵天立て	中島 (神事会場は金田漁業協同組合裏の水神宮付近の海)	中島区文化財保存会	H 4. 2. 25	
国登録	1	登録文化財 (建造物)	選擇寺の本堂	中央1-5-6	選擇寺	H12. 2. 15	1棟
	2	登録文化財 (建造物)	下郡郵便局旧局舎	下郡	個人所有	H16. 7. 23	1棟
	3	登録文化財 (建造物)	ヤマニ綱島商店店舗	中央2-5-9	個人所有	H23. 7. 25	1棟
県指定	1	記念物 (史跡)	金鈴塚古墳	長須賀430	木更津市	S25. 11. 3	251㎡
	2	有形文化財 (彫刻)	銅造阿弥陀如来立像	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木野根沢区	S29. 3. 31	1躯 寄託
	3	有形文化財 (彫刻)	木造薬師如来立像	桜井1450	東光院	S30. 12. 15	1躯
	4	有形文化財 (彫刻)	木造薬師如来坐像	請西	法人所有	S35. 6. 3	1躯
	5	有形文化財 (工芸品)	金銅孔雀文磬	請西	法人所有	S35. 6. 3	1面
	6	有形文化財 (工芸品)	金銅五鈷鈴	請西	個人所有	S35. 6. 3	1点
	7	民俗文化財 (無形民俗文化財)	木更津ばやし	中央 (旧仲片町)	木更津ばやし保存会	S38. 5. 4	
	8	有形文化財 (工芸品)	梵鐘 (長禄三年在銘)	真里谷1760	妙泉寺	S39. 4. 28	1口
	9	有形文化財 (古文書)	制札	請西	法人所有	S39. 4. 28	1枚
	10	有形文化財 (考古資料)	黄瀬戸灰釉木の葉文瓶 附 常滑不識壺	永井作1-4-66	善光寺	S40. 4. 27	各1口
	11	有形文化財 (建造物)	須賀神社本殿	祇園524	須賀神社	S54. 3. 21	1棟
	12	民俗文化財 (有形民俗文化財)	東京湾のり生産用具	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S54. 3. 2	一括
	13	有形文化財 (古文書)	天正検地帳 (上総国望陀郡菅生庄請西之郷御縄打水帳)	文京2-6-51 木更津市立図書館	木更津市	S57. 4. 6	16冊
	14	有形文化財 (絵画)	板絵著色富士の巻狩図絵馬	長須賀2444	日枝神社	H 5. 2. 26	1面
	15	有形文化財 (考古資料)	上総大寺廃寺露盤	大寺1029	熊野神社	H13. 3. 30	1点
	16	有形文化財 (歴史資料)	至徳堂関係資料	文京2-6-51 木更津市立図書館	木更津市	H14. 3. 29 H20. 3. 18	220点 追加
市指定	1	記念物 (史跡)	斎藤昌磨の墓	小浜	個人所有	S39. 3. 25	1基
	2	記念物 (史跡)	鳥海酔車の墓	長須賀1668 福寿寺内	個人所有	S39. 3. 25	1基
	3	記念物 (史跡)	鋳匠大野五郎右衛門遺跡	矢那	個人所有	S40. 2. 20	30㎡
	4	有形文化財 (書跡)	橘守部遺墨	小浜	個人所有	S40. 2. 20	23点
	5	有形文化財 (古文書)	鈴木三郎家蔵古文書	文京2-6-51 木更津市立図書館	木更津市	S40. 6. 17	一括
	6	有形文化財 (工芸品)	徳川家より下賜された獅子頭	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	中央 (旧北片町)	S40. 9. 6	1体
	7	有形文化財 (古文書)	木更津船之由緒書	中央	個人所有	S40. 9. 6	1点
	8	有形文化財 (彫刻)	長楽寺の五輪塔	請西	法人所有	S41. 4. 22	1基
	9	記念物 (史跡)	真武根陣屋遺址	請西1139-33	木更津市	S41. 4. 22	39㎡
	10	記念物 (史跡)	貝渕木更津県史蹟	貝渕3-10-1	木更津市	S41. 4. 22	960.53㎡
	12	有形文化財 (彫刻)	嶺田楓江寿碑	富士見1-6-4	八剱八幡神社	S44. 7. 1	1基
	13	有形文化財 (彫刻)	加藤家の板碑・五輪塔	矢那	個人所有	S45. 6. 11	4基
	14	有形文化財 (絵画)	江戸期の風俗図屏風六曲一隻	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S51. 2. 17	1隻

市指定	15	有形文化財 (古文書)	小倉家文書	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	個人所有	S51. 2. 17	2点	寄託
	16	有形文化財 (書跡)	寛平御時后宮歌合断簡「春」	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S51. 2. 17	1幅	
	18	有形文化財 (彫刻)	木造聖観音立像	万石176	金勝寺	S52. 6. 6	1軀	
	19	記念物 (天然記念物)	安西家のキササギ (キササゲ)	草敷	個人所有	S56. 4. 23	1樹	
	20	有形文化財 (建造物)	旧安西家住宅	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S56. 4. 23	1棟	
	21	有形文化財 (歴史資料)	五大力船絵馬	富士見1-6-4	八剱八幡神社	S59. 2. 23	1面	
	22	記念物 (天然記念物)	松本家のグミ	大稲	個人所有	S60. 12. 12	1樹	
	23	有形文化財 (絵画)	八剱八幡神社の格天井装飾画	富士見1-6-4	八剱八幡神社	S61. 9. 12	162面	
	24	記念物 (天然記念物)	根本家の椎	真里谷	個人所有	S63. 1. 20	1樹	
	26	有形文化財 (歴史資料)	上総鋳物師大野家関係資料	太田2-16-2 郷土博物館金のすず	個人所有	H14. 1. 4	一括	寄託
	27	有形文化財 (考古資料)	高部30号墳・32号墳出土資料	太田2-16-2 郷土博物館金のすず	木更津市	H15. 3. 26	27点	
	28	記念物 (天然記念物)	「鎌足桜」祖株	矢那1245 高蔵寺内	木更津市	H17. 2. 25	1株	
	29	有形文化財 (彫刻)	木造釈迦如来坐像	曾根96	釋蔵寺	H19. 2. 5	1軀	
	30	民俗文化財 (無形民俗文化財)	桜井の獅子舞	桜井	桜井獅子舞 保存会	H22. 6. 2		
	31	有形文化財 (彫刻)	富士見厳島神社の社殿彫刻	富士見1-7-10	厳島神社	H23. 6. 29	3点	
	32	有形文化財 (歴史資料)	銅造聖観世音菩薩立像	茅野683-1	善雄寺	H25. 8. 20	1軀	
	33	有形文化財 (考古資料)	灰釉双耳壺	太田2-16-2 郷土博物館金のすず	木更津市	H27. 4. 24	1口	

(1) 番号：市の指定文化財については指定書の番号を用いているが、その他の指定等文化財については木更津市において次の文化財指定等区分ごとに通し番号を付した。

文化財指定等区分

国指定＝国の重要文化財 県指定＝千葉県が指定した文化財 市指定＝木更津市が指定した文化財

国選択＝「記録選択制度」によって記録を残すべく選択された文化財（指定文化財とは異なる）

国登録＝「文化財登録制度」によって文部科学大臣が文化財登録原簿に登録する文化財（指定文化財とは異なる）

(2) 指定年月日：国選択および国登録に区分された文化財については、選択年月日および登録年月日にそれぞれ読み替えるものとする。

(3) 欠番：市指定11号「板絵著色富士の巻狩図絵馬」、同25号「至徳堂関係資料」は、県指定文化財へ移行したことで欠番とした。市指定17号「高蔵寺本堂・山門・鐘楼」は、指定解除により欠番とした。

(4) 追加指定：国指定2の「上総掘りの用具」と県指定16の「至徳堂関係資料」については、当初指定後に追加指定が有った物件であるため、追加指定年月日を下段に併記した。

学 校 施 設 等

○ 小 学 校			校 舎				特 別 教 室										校 地				屋 内 運 動 場							
No.	学 校 名	創 立 年 月 日	鉄 筋 ア ー ロ ッ ク	鉄 骨 ア ー ロ ッ ク	木 造	計	普 通 教 室	理 科	生 活	音 楽	図 画 工 作	(美 術)	(技 術)	家 庭	(外 国 語)	視 聴 覚	コ ン プ ュ ー タ	図 書 室	特 別 活 動	教 育 相 談		(進 路 指 導 資 料)	計	建 物 敷 地	運 動 場 敷 地	そ の 他	計	
1	第 一 小	M 6.	5,811			5,811	16	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3	2	13	7,082	5,062	1,090	13,234	1042	
2	第 二 小	M 6. 2.	4,783	12	33	4,828	18	1		1	1	1	1	1	1	1		1	1	4	1	11	9,318	10,520		19,838	831	
3	東 清 小	M20. 5. 20	2,509	152	33	2,694	7	1		1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	8	7,980	8,081	4,467	20,528	1,024	
4	西 清 小	M 6. 5. 4	3,107		19	3,126	13	1		1	1	1	1	1	1	1		1	1		1	7	4,736	2,757	940	8,433	1,118	
5	南 清 小	M 6. 4.	4,977	348	46	5,371	20	1		1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	8	7,178	10,276	3,952	21,406	954	
6	岩 根 小	M 6.	5,394	19	20	5,433	15	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	6	1	14	9,807	8,851	482	19,140	950	
7	波 岡 小	M41. 4.	3,686	62		3,748	11	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		8	5,379	7,037	4,447	16,863	703	
8	鎌 足 小	M 6. 7.	2,233	32		2,265	8	1		1		1	1	1	1	1		1	1	1		6	6,875	6,520	2,285	15,680	600	
9	金 田 小	M26. 8.	2,545	67	62	2,674	9	1		1		1	1	1	1	1		1	1	1		6	10,011	11,893		21,904	658	
10	中 郷 小	M 6.	33	24	1429	1,486	8					1	1	1		1		1				1	5,907	4,923	104	10,934	624	
11	清見台小	S45. 4. 6	5,880	102	53	6,035	21	1		1	1	1	1	1	1	1		1	2	4	1	12	8,283	6,381	7,616	22,280	1,201	
12	高 柳 小	S46. 4. 5	5,983	132	67	6,182	16	1		1	1	1	1	1	1	1		1	1	7	1	14	13,812	13,359		27,171	808	
13	馬来田小	M 5. 8. 1	2,413	508	78	2,999	8	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1		1	8	8,869	3,727		12,596	603	
14	富 岡 小	M 6.	2,242		75	2,317	6	1		1		1	1	1	1	1		1	1	3	1	9	7,779	8,166		15,945	401	
15	祇 園 小	S49. 4. 5	6,691	132		6,823	22	2	1	2	1	1	1	1	1	1		1	2	4	1	15	12,362	7,625	2,289	22,276	1,273	
16	畑 沢 小	S53. 4. 5	5,881	207	33	6,121	22	1		1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	9	10,515	10,425	5,768	26,708	900	
17	請 西 小	S54. 4. 3	4,901	1,023		5,924	19	1		1	1	1	1	1	1	1		1	1	7	1	14	10,354	7,438		17,792	900	
18	八幡台小	S56. 4. 3	3,873	1,720		5,593	31	1		1	1	1	1	1	1	1		1	1			6	26,444	6,696		33,140	900	
19	真 舟 小	H26. 4. 1		8,120		8,120	31	1		1		1	1	1	1	1		1	1	1	1	6	20,237	15,548		35,785	1,110	
計			72,942	12,660	1,948	87,550	301	19	3	19	14	0	0	0	18	0	3	19	21	44	15	0	175	192,928	155,285	33,440	381,653	16,600

平成30年5月1日現在

平成30年5月1日現在

○ 中 学 校

No.	学校名	創 立 年月日	校 舎			特 別 教 室										校 地				内 屋 運 動 場							
			鉄筋	鉄骨 ﾌﾛｯｸ	木造	計	普通教室	理 科	(生 活)	音 楽	(図 画 工 作)	美 術	技 術	家 庭	外 国 語	視 聴 覚	コ ン プ ュ ー タ	図 書 室	特 別 活 動		教 育 相 談	進 路 指 導 料	計	建 物 敷 地	運 動 場 敷 地	そ の 他	計
1	第 一 中	S22. 4. 22	4,157		41	4,198	12	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	2	14	10,956	11,404		22,360	1,065
2	第 二 中	S22. 5. 10	4,206	98		4,304	17	2	1	1	1	1	2		1	1	1	2	2	1	14	7,702	9,327	1,268	18,297	1,051	
3	第 三 中	S22. 4. 1	181	4,978		5,159	12	2	1	1	1	1	2		1	1	1	3	1	1	14	6,746	8,404		15,150	1,029	
4	岩 根 中	S22. 4. 30	4,382	54	36	4,472	8	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	4	3		16	11,335	17,811		29,146	1,067	
5	鎌 足 中	S22. 5. 10	1,866		76	1,942	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		9	8,727	13,272	935	22,934	875	
6	金 田 中	S22. 5. 10	1,672	340	92	2,104	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1		10	5,950	10,443		16,393	967	
7	中 郷 中	S22. 4. 30	1,948	107		2,055	3	1	1	1	1	1	1	1	1			1	1	1	7	12,619	10,258		22,877	1,138	
8	富来田中	S22. 5. 10	3,220	23	100	3,343	7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1		13	7,607	25,086		32,693	843	
9	太 田 中	S52. 4. 5	4,537	352	26	4,915	19	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2		13	14,095	13,459	4,109	31,663	997	
10	畑 沢 中	S55. 4. 5	3,679	243	76	3,998	15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2		11	13,949	18,971		32,920	1,018	
11	岩根西中	S57. 4. 1	3,871	162	66	4,099	8	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		11	10,392	12,659	2,352	25,403	1,000	
12	波 岡 中	S58. 4. 1	4,564		76	4,640	13	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	1	1	16	8,430	17,322	2,512	28,264	1,040	
13	清 川 中	S60. 4. 1	3,751		43	3,794	14	1	1	1	1	1	1	1	1				2		9	10,884	11,208	721	22,813	990	
計			42,034	6,357	632	49,023	136	20	0	14	0	12	13	15	1	2	12	13	28	21	6	157	129,392	179,624	11,897	320,913	13,080
小中学校 合計			114,976	19,017	2,580	136,573	437	39	3	33	14	12	13	33	1	5	31	34	72	36	6	332	322,320	334,909	45,337	702,566	29,680

○ 木更津市学校給食センター

開設年月日	所在地	構造階層	敷地面積	延床面積
平成21年4月1日	潮見二丁目13番地1	鉄骨造2階建	5,474.00㎡	2,524.08㎡

○ 木更津市まなび支援センター

開設年月日	所在地	構造階層	敷地面積	延床面積
昭和55年4月1日	朝日一丁目8番17号	鉄筋コンクリート造2階建て	2,314.45㎡	778.61㎡

社会教育施設

施設名	設置年月日	所在地	構造階層	部 屋 名	敷地面積 ㎡	建築延面積 ㎡	備 考
中央公民館	S38. 4. 1	富士見1-2-1	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階・ 地上9階建て（一部3階建て）	スパークルシティ木更津6階/第1～7会議室 アクア木更津B館3階/多目的ホール	972.89 376.00	972.89 376.00	移転新築 S51. 2. 1 移転（賃借）H30. 7. 1 青年の家廃止H30. 6. 30
富来田公民館	S42. 4. 1	真里谷110	鉄筋コンクリート造 一部木造2階建て	展示ホール、多目的ホール、ラウンジ、図書室、保育室、体育室、和室、 来室、調理実習室、工芸実習室、会議室、研修室第1・2、学習相 談室、グループ交流スペース、更衣室、印刷室	6,082.60	2,318.90	改築 H14. 1. 1
岩根公民館	S32.10. 1	高柳3-2-1	鉄筋コンクリート造2階建て	学習室1・2・3・4、集会室、休養室、保育室	582.21	564.08	改築 S51. 4. 1
鎌足公民館	S32.10. 1	矢那899-1	鉄筋コンクリート造2階建て	研修室、学習室、調理実習室、和室、工作室、図書室	4,108.36	514.17	改築 S55. 4. 1
金田公民館 （畔戸分館）	S32.10. 1 (S50. 3. 28)	中島1,985 (畔戸230)	鉄筋コンクリート造2階建て (木造平屋)	学習室1・2・3・4、集会室、休養室、保育室 (集会室3、和室)	722.48	561.26 (95.58)	改築 S52. 4. 1
中郷公民館	S32.10. 1	井尻789-1	鉄筋コンクリート造2階建て	児童図書室、和室、視聴覚室、研修室1・2、調理実習室	1,260.62	563.56	改築 S55.10. 1
富岡公民館	S42. 4. 1	下郡1770-1	鉄筋コンクリート造平屋建て	集会室2、会議室、研修室、和室、資料室	1,090.89	265.23	一部改築 S63. 3. 31
文京公民館	S55. 4. 1	文京2-6-54	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、学習室、休養室、保育室、オーディウム	1,388.88	549.92	
八幡台公民館	S55.12. 1	八幡台4-2-1	鉄骨造平屋建て	図書室、和室1・2、実習室、学習室1・2、集会室	6,002.48	635.24	
東清公民館	S57. 4. 1	笹子469-1	鉄筋コンクリート造2階建て 一部木造平屋建て	研修室1・2・3、調理実習室、図書室	1,861.35	572.14	
清見台公民館	S58. 4. 1	清見台南5-1-29	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、図書ホール、和室、研修室1・2、調理実習室	3,307.71	748.63	
清見台コミュニティ センター附属体育館	S58. 7. 1	清見台南5-1-29	鉄骨造2階建て	アリーナ、ミッドコート室2、更衣室2	1,870.06	1,402.74	
畑沢公民館	S59. 4. 1	畑沢1,053-12	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2、調理実習室	2,871.49	658.51	
岩根西公民館	S61. 4. 1	江川1934-1	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2・3、調理実習室	2,392.60	663.62	
西清川公民館	H 2. 4. 1	永井作2-11-12	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2・3、調理実習室	2,207.47	733.58	
波岡公民館	H 5. 4. 1	大久保5-7-1	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、学習室1・2・3、調理実習室、図書室、休養室	3,192.81	773.134	
桜井公民館	H14. 4. 1	桜井新町4-2	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2、学習室3、調理実習室	2,997.60	1,045.49	
図書館	S 4. 3. 25	文京2-6-51	鉄筋コンクリート造2階建て	貸出室（一般・児童）、会議室、和室、郷土資料室、参考調査室、 書庫1・2、館長室、事務作業室、別棟恵奉庵	5,071.53	1,994.11	移転新築 S49. 7. 31
郷土博物館 金のすず	H20. 4. 1	太田2-16-2	鉄筋コンクリート造3階建て ほか	本館（展示室9、収蔵庫2）、新収蔵庫、旧安西家住宅、保管庫 （旧金鈴塚遺物保存館）	2,638.92	2603.11	旧 県立 上総博物館
少年自然の家 キャンプ場	S60. 4. 1	真里谷5343-8	プレハブ平屋建て （管理棟）	管理棟、キャンプ場、テニスコート14、炊事場2（4m×20m）、便所2、物見 台、屋根付広場、自由広場、シャワー室	114,809 共用30,000	875.82	

平成30年度 木更津市の教育

発 行 日 平 成 3 1 年 3 月
編集・発行 木更津市教育委員会
教育部 教育総務課

〒292-8501 木更津市朝日三丁目10番19号

電 話 0438(23)5243

F A X 0438(25)3991

E-mail kyo-soumu@city.kisarazu.lg.jp

HPアドレス <http://www.city.kisarazu.lg.jp/1.html>